

年会報

2014

変革

～新たな時代の創造 に向けた挑戦～

公益社団法人一宮青年会議所

「一年間を振り返って」

理事長

野杵 晃充



【はじめに】

1年間を振り返るにあたり、まずは、本年1年間、活動をとみにした一宮青年会議所のすべてのメンバーの皆様にかかる御礼を申し上げます。一宮の明るい豊かな未来を築くため、あるいは同じ青年会議所の仲間のために、多くの時間とお金・エネルギーを費やし、JC 運動に力を注いでくださった皆様の存在がなければ、今年の一宮青年会議所は成り立ちませんでした。皆様のお力添えと友情に心からの敬意と感謝を表したいと思います。

本年の一宮青年会議所は、2013 年度木村憲彦理事長が掲げられた「すべてはこの地域(まち)のために」という想いを引き継ぎ、「変革 ～新たな時代の創造に向けた挑戦～」をスローガンに、様々な活動を展開いたしました。そんな 2014 年度の活動を振り返ってみたいと思います。

【専務室】

本年の専務室は、事務局の運営に特化していただき、専務理事として野田一郎君にご担当をいただきました。野田専務が青年会議所に入会してから今日に至るまでの真摯な姿勢と血のにじむような努力は誰もが認めるところであります。もちろん、本年は専務理事としての全体指揮や、議案で苦勞している委員長たちへの気配りやフォローアップなど、わたしの知らないところで大変な苦勞をされたことと思います。今や一宮青年会議所にとって欠かせない人財となりました。次年度は理事長という大きな担いを受け持つていただきますが、メンバーの絆を信じて、一宮青年会議所を引っ張っていただきたいと思います。1年間、本当にありがとうございました。事務局長をつとめていただいた浅田佳寿優君には、2 年度理事としての役割を十分に理解していただき、しっかりとした理事会運営にご尽力いただきました。また1年間を通して、すべての公式行事にアテンドしていただきましたこと心より感謝しております。本年の経験をぜひ次年度以降の青年会議所活動に活かしていただきたいと思います。また事務局次長をつとめていただいた大野陽平君には

膨大な理事会議事録の作成や理事会の準備、各種送迎などで大変お世話になりました。1年間、本当にありがとうございました。

【総務室】

本年の総務室は、例年とは異なり、総務局・財務局・広報局という3 局体制をとりました。その意図としては総務委員長一人に負担がかかりすぎるため役割を分散させたいという点と、本年度中の公益社団法人格取得を睨み、専門部署として財務局を設置したい、という点が大きくありました。

総務室の担当副理事長として、加藤貴恭君にその運営を委ねました。加藤副理事長には、「総務のプロフェッショナル」として今までの知識・経験をフルに活用していただき、また持ち前の緻密さや後輩の面倒見の良さから、この新しい組織を本当に上手くまとめてくださいました。人には言えないくらいの苦勞がおりだったと思いますが、昨年を引き続き、わたしの様々な注文や要望をしっかりと受け止め、「変革」を下支えしていただいた真の功勞者であります。1 年間、本当にありがとうございました。

総務局の局長を務めていただいた野田敏弘君には、次長と二人で多くの総務の担いを担当していただきました。1 月の賀詞交歓例会や 8 月の西尾張 6JC 正副理事長会議、そして4 回の総会など、少ない人数で素晴らしい設営をしていただきました。また葬儀の受付手伝いなど、メンバーの見えないところで LOM の活動を下支えして頂きましたね。「変革」の目玉として、LOM 基本資料のデータベース化に取り組んでいただきましたが、将来の運営改善に向けた大きな一歩につながったと信じております。1 年間、本当にありがとうございました。財務局の局長を務めていただいた今井拓也君には、卒業年度にも関わらず、その担いを完璧に全うしていただきました。言うまでもなく、その最大の功績は「公益法人格の取得」であります。2008 年以来の念願であった公益社団法人格を取得するために、多くの時間を費やし愛知県の担当者と折衝を重ね、他 LOM へのヒアリングも積極的に

行っていただきました。そしてメールマガジンや全体説明会を通して公益社団法人格を取得する意義をメンバーに伝え、その意識を「変革」していただきました。ここからが一宮青年会議所の真価が問われることになると思います。1年間、本当にありがとうございました。

広報局の局長を務めていただいた坂井田純子君には、持ち前の行動力と女性ならではの心配りで、今まで弱点とされてきた青年会議所活動の広報分野に関して新たな可能性を切り拓いていただきました。新聞社やケーブルテレビ局など広報機関との折衝窓口を受け持っていただき、また「JC だより」を対内向け・対外向けに分けて作成するなど、様々な「変革」を試みていただきました。2年度理事として、理事会で積極的に発言されたり、事業系の委員長に対してポスターや広報手法に関するアドバイスをしていただくなど、本年の一宮青年会議所に欠かせない大活躍だったと思います。本当にありがとうございました。

【活力あふれる LOM 創造室】

活力あふれる LOM 創造室は、拡大・交流委員会および渉外委員会の2委員会という形で構成し、副理事長兼活力あふれる LOM 創造室長として、尾上宜正君にご担当をいただきました。4つの例会、そして年間を通して活動が続く2委員会を受け持っていただいた尾上副理事長には気の休まることのない1年間であったと思います。昼夜を問わず現場に赴くそのバイタリティと、常におだやかで、その場の雰囲気とを和ませてくれる稀有なキャラクターの持ち主である尾上副理事長。会員拡大を語る際に見せる真剣な表情が、青年会議所活動に対する情熱を表していましたね。1年間、本当にありがとうございました。

拡大・交流委員会の委員長を務めていただいた眞野尚人君には、会員拡大の分野で特筆すべき成果を挙げて頂きました。1月2月はスローな出だしでしたが、会員拡大をテーマにした3月例会を皮切りに、上期だけで20名を入会に導いたことは近年稀にみる大成功であったと思います。愛知ブロック大会や全国大会松山大会で、会員拡大部門で登壇・表彰されたことは LOM にとって大変な名誉でした。また6月例会やクリスマス家族会などを通して LOM メンバー同士の絆を深めていただき、大韓民国テグカング JC との国際交流事業でも大変なご苦勞をおかけしました。1年間、本当にありがとうございました。渉外委員会の委員長を務めていただいた野村一磨君には、卒業年度にも関わらず、大変重い担いを引き受けてくださったこと、あらためて御礼を申し上げます。ご自身の出向に対する強い思い入れもあつてか、2月度例会そして11月度例会

では、出向者支援という視点で素晴らしい例会を企画・実行していただきました。また各種大会・会議の支援に関しましても、多くの LOM メンバーに参加呼びかけをしていただき、また開催地現地では委員長自らが先頭に立って献身的に活動されているのが非常に印象的でありました。1年間、本当にありがとうございました。

【社会開発室】

社会開発室は、活気あふれる郷土創造委員会の1委員会という形で構成し、副理事長兼社会開発室長として、野田周平君にご担当をいただきました。ゼロベースで企画立案しなければならない社会開発系の委員会の難しさ故に、野田副理事長には、室長として委員会を全力で後方支援していただきました。自分が動いた方が早いと思われることでも、委員長の成長を信じてグッと我慢し、スタッフや委員会メンバーをどのように巻き込んでいくかという点に関しても大いに葛藤があったと推察いたします。1年間のご苦勞に心から感謝しております。本当にありがとうございました。

活気あふれる郷土創造委員会の委員長をつとめていただいた高月英昭君には、わたし自身も大変思い入れのある2つのメイン事業・例会をご担当いただきました。7月度公開例会では、中心市街地の活性化をテーマに、岡崎市などで成功実績のある「まちゼミ」をご紹介いただきました。残念ながら、中心市街地の人々の無関心を関心に、そして行動に移すという点までは至りませんでしたが、講師の松井先生による「人が変われば、地域が変わる」というお話は大変印象的でありました。そして本年で3回目となる継続事業「第3回ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ」では、7月の事業説明会、8月の出品発表・試食会を経て、10月度公開例会当日には、15店舗に出店いただき、5000名を超える来場者にお越しいただくことができました。間違いなく、地域ブランドの確立に一步近づいたと確信しております。理事長所信を読み解き、例会・事業として企画をまとめあげること、そしてそれを実行し、良かった点・反省点を決算報告にまとめる。本年1年間を通して苦勞が絶えなかったとは思いますが、この経験がきっとこの後の人生の糧になるはずです。1年間、本当にありがとうございました。

【青少年共育室】

青少年共育室は、生きる力に満ちた青少年共育委員会の1委員会という形で構成し、副理事長兼青少年共育室長として、安井祥人君にご担当をいただきました。安井副理事長には、正副理事長会議での的確なご意見や各種公式行事への参加など、筆頭副理事長としての役割を十二分に果たしていただきました。また室長としても、議案の作り方や委員会運営

など、委員長を厳しくも愛情をもって育てられているのがとても印象的でありました。卒業年度にも関わらず、全力で青年会議所活動に向き合っていたこと心から感謝しております。本当にありがとうございました。生きる力に満ちた青少年共有委員会の委員長をつとめていただいた土川功介君には、8 月度公開例会をふくむ公開事業「サマーアドベンチャー～夜空にえがく！ 僕らのシンボル・僕らの想い～」を企画立案・実施していただきました。ボーイスカウトでの経験から、屋外キャンプという手法や多くの子供を引率することは慣れていたものの、青年会議所の事業としてどうあるべきか、安井副理事長と何度も何度も議論を重ねていましたね。早い段階から理事会にも議案上程していただき、最終的には大変密度の濃い事業に仕上げていただきました。わたし自身にとっても一生の思い出に残る「サマーアドベンチャー」になりました。また委員会運営にも気を配り、1年間を通して委員会メンバーの出席率が高かったことは特筆すべきことだと思います。素晴らしい委員会でした。1 年間、本当にありがとうございました。

【研修室】

研修室は、経営資質向上委員会およびアカデミー委員会の 2 委員会という形で構成し、副理事長兼研修室長として、服部良太君にご担当をいただきました。一昨年、昨年と理事会構成メンバーとして共に活動した経験から、服部副理事長には全幅の信頼を寄せておりました。2 委員会を担当していただき、室長としてかなりの負荷があったにも関わらず、副理事長としての役割もしっかり全うしていただきました。理路整然とした発言やご挨拶、青年会議所活動に対するひたむきな姿勢は、若手メンバーにとって理想のお手本になったのではないのでしょうか。1 年間、本当にありがとうございました。経営資質向上委員会の委員長を務めていただいた森一彦君には、2 つの公開例会を担当していただきました。これからの時代を生き残るために、経営者にとって必要なチャレンジスピリットをメンバーに養ってもらいたいという命題にしっかりと応えていただきました。松井証券の松井社長を講師としてお招きした 4 月度公開例会。そして 9 月度公開例会では、西尾張 6JC 合同例会という様々な制約条件の中で、ダイソーの矢野社長をお招きして事業を開催していただきました。飄々とした態度から誤解されがちでしたが、実際は相当の努力をされていたのでしょう。1 年間、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。アカデミー委員会の委員長を務めていただいた久保辰也君には、1 年を通して非常に多くの担いを全うしていただきました。上・下のオリエンテーションでは、例年になく非常に大人数の正会員予定者でありましたが、持ち前のリーダーシップと

男気でメンバーの絆を強め、多くの予定者を正会員へと導いていただきました。これからの一宮青年会議所を担う若い世代の育成に心から感謝いたします。5 月度例会では、三ツ井ヘッドトレーナーをお迎えして日本 JC 公認プログラム「Visual Future」を開催し、メンバーのリーダーシップ向上に寄与していただきました。そして 12 月度卒業例会では、本年卒業される 11 名のメンバーの功績をたたえ、そのご卒業を多くの現役メンバーでお祝いする素晴らしい設営をしていただきました。1 年間、本当にありがとうございました。

【監事】

本年は、2 年度監事(外部監事)の小川勝之君と尾関栄司君に加え、木村亮一君と横田公一君のお二人に監事を引き受けていただきました。経験年数の短い正副理事長・委員長で構成される理事会構成メンバーの中で、これまで何度も要職を担われた経験豊富な監事の皆様からいただけるご助言やご指摘があったからこそ、なんとか本年度の活動が成立したと言っても過言ではありません。木村監事ならびに横田監事におかれましては 2015 年度につきましても引き続きのご指導のほど宜しくお願い申し上げます。1 年間、本当にありがとうございました。

【結びに】

「伝統とは革新の連続によって作られる。」創業 480 年を超える和菓子の老舗「虎屋」の黒川社長のお言葉です。守るべきものは守り、変えるべきものは時代に合わせて変えていく。青年会議所活動に置き換えるのであれば、創始の精神は受け継ぎ、組織の在り方や活動内容については時代の変化に応じて変えていく。その積み重ねが、「ナンバー 8」という伝統につながっていくのだと信じております。

最後に、第 62 代の理事長職を託した野田一郎君率いる 2015 年度の一宮青年会議所が、魅力あふれる地域の創造に向けて、未来へつなぐ新たな 1 歩を踏み出すことを祈念するとともに、歴代理事長として力強くお支えをいただきました木村亮一君と木村憲彦先輩に心より感謝を申し上げ、1 年の振り返りとさせていただきます。1 年間、本当にありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長理事兼総務室長

加藤 貴恭



野杵理事長よりお声がけをいただき2014年度は副理事長兼総務室長という貴重な経験をさせていただくことができました。先ずもちまして御礼申し上げます。

私自身、今回で3回目の総務となりましたが、副理事長という立場で総務を担当させていただくのは初めての経験であり戸惑うところもありました。今まで経験をしてくれているが故に出来て当たり前と思われる事も各局長は初めて理事を経験するメンバーであるため、室長としてメンバーを導いて行くのではなく自分自身で行動してしまい任せきれていけるのかという不安がありました。特に本年は公益社団法人格取得に向けた具体的な行動に移すこともあり例年にならぬ組織図となったため総務委員会ではなく、総務室の中に総務局、財務局、広報局がある局制度となり委員会メンバーがいないこともあり各局長自信も不安の中でのスタートになったと思います。その為、表立った活動が少ない総務の中でも例年にならぬ非常に多くの努力をしていただきました。

総務局に関して2014年度は財務関係を切り離し負担が軽くなったとはいえ、特別会員、メンバーの慶弔関係の対応、少ない室メンバーの中での賀詞交歓例会の設営、そして定款諸規定の理解の促進、事務局で管理している会員基本台帳の精査、データベースの作成と例年行っていること以上に事業を行っていただきました。野田局長には、初年度理事ということで不安を多く抱える中で非常に努力していただきました。予定者期間からの約1年4ヵ月で学んでいただいたことは2015年度以降、無駄になることなく活躍していただけると確信しております。財務局に関しては、2010年代での公益社団法人格移行も目的のもと、公益社団法人格移行の道筋を付けいくことが2015年度の目標でした。予算に関しても有給財産の使

用を最小限に抑え公益事業比率50%を超える予算の作成には非常に多くの苦労がありましたが、今井局長の努力と副理事長、理事の皆様のご理解もあり作成することが出来ました。

当初の目標である道筋を付けいくことから目的である公益社団法人格の取得に変わった時には非常に大きな不安もありましたが、今井局長と山岡次長が何度も愛知県の担当者のもとを訪問し資料作成を行なうとともに、他の公益社団法人格を取得している青年会議所へ意欲的に訪問し課題等の洗い出しを行いそして、メールマガジン、説明会という形で一宮青年会議所メンバーへの公益社団法人格取得の意義を伝えていただくことでメンバーの気持ちをひとつにまとめ臨時総会にて出席者全員の賛成で公益社団法人格移行の決議をいただくことができました。その努力により2015年度より一宮青年会議所は公益社団法人一宮青年会議所と新しく活動することになりました。卒業年度にもかかわらず、この大役を全うしていただいた今井局長、山岡次長には感謝しております。

広報局長に関しては、青年会議所という広報活動が決して上手いとはいえない団体の非常に難しい部分を担っていただきました。ホームページ、フェイスブックといった例年と同じではありますが、更新をタイムリーに行い、見ていただいている方々に新しい情報を提供できるように一宮青年会議所の情報だけではなく愛知ブロック協議会等の情報を掲載させていただくといった工夫させていただきました。また、公開例会、公開事業を行なう委員長の皆様と一緒に広報の立場でチラシ、ポスターのデザイン、広報媒体、広報先の提案を行なわせていただきました。年初より局長1人となってしまいましたが、これら多くの担いを局長1人で全うできたのも2年度理事としてこれまでの経験を活かして活動していただいた結果であると

感じております。

総務・広報というのは青年会議所活動の中で往々にして陽の目を浴びない地味な委員会というイメージがあります。私自身も3回の総務を経験させていただきそう感じてきました。年初より私自身が心がけてきたことは、行なう内容は地味であるかもしれないが、活動は楽しみながら行なうということでした。2014年度は局制度となり少ないメンバーだからこそ強く感じました。総務室のメンバーには、私が感じたことを受け止めていただき、一人ひとりが自分の持っている能力を発揮するとともに足りない部分は補いながら活動をしていただきました。その故に団結力は非常に強く例会、事業、各種大会の出席率の非常に高かったですし、この1年の活動は辛い時が多かったと思いますが、楽しく活動していただいたと思います。改めて、このすばらしいメンバーと貴重な経験をさせていただきました野杵理事長をはじめメンバーの皆様に感謝しております。ありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長理事兼活力あふれる LOM 創造室長

尾上 宜正



2014 年度、野杵理事長のもと「変革～新たな時代の創造に向けた挑戦～」をスローガンに、副理事長兼活力あふれる LOM 創造室室長という大役を 1 年間務めさせて頂きました。このような機会を頂きました野杵理事長をはじめとする全メンバーの皆様に深く感謝申し上げます。

私が担当いたしました活力あふれる LOM 創造室では、拡大・交流委員会と渉外委員会のふたつの委員会で構成されておりました。

まずは眞野委員長率いる拡大・交流委員会では、拡大達成率 33% を目標に 1 年間拡大活動に取り組んで頂きました。予定者期間では拡大が成功している LOM を調査し、各地で行われている拡大セミナーにも多数参加をして、拡大活動についてしっかりと学んでいました。その中で、ある講師(先輩)の話を聞き感銘を受け、眞野委員長自身も変わっていくのを間近で見えてわかりました。あまり拡大活動に前向きではなかったメンバーが拡大活動について熱く語れるメンバーになってくれたことは、拡大が成功した時にも負けないくらいの喜びを感じました。

実際の拡大活動では野杵理事長の強いリーダーシップもあり上半期は 22 名の拡大を成功することが出来ました。また、3 月度例会で拡大活動の大切さをメンバーに伝え、毎月拡大会議を行うことにより全メンバーでの拡大活動が出来たのではないかと考えています。ただ、下半期は手法を変え拡大会議ではなく拡大懇親会という場を設営して頂きましたが、次年度との重なる過密なスケジュールの中、日程を調整するのが困難でなかなかメンバーを巻き込むことが出来ませんでした。また、反動なのか人数的にも下半期は 6 人という少し淋しい結果となってしまいました。私も眞野委員長もこの経験や反省点を生かし今後の拡大活動にしっかりと引き継がせて頂きます。交流事業では、会員同士の友情や絆をより一層強める為に 1 年間様々な交流事業を展開して頂きました。6 月度例会では仲間の声を信じて行うブラインドワーク・ブラインドサッカーを通して会員同士の

交流を行いました。会員だけでの交流事業ということもあり 100%出席を目指し設営をしていましたが、残念ながら結果は達成することが出来ませんでした。しかし、参加したメンバーには会員同士の友情や絆を強くして頂けたのではないかと感じております。また姉妹 JC であります大邱江北青年会議所との交流では、来日して頂く件での話が二転三転してしまい皆様を困惑させてしまいましたが、8 月 22 日～24 日の 3 日間大邱江北青年会議所のメンバーを迎え入れ、楽しい交流をすることが出来ました。私たちが訪問した際にも、大邱江北青年会議所のメンバーは温かく迎えて頂きました。また、前年度からの交流も続いており、プライベートでも野々垣委員、石川副委員長がお互いの地を訪れて交流を交わしていました。これこそ、真の友情や絆ではないかと改めて感じております。クリスマス家族会ではメンバーや家族が参加しやすいようにと、一宮の会場で設営をして頂きました。少ない人数での設営は本当に大変ではありましたが、しっかりと最後まで設営してくれました。ただ、運営上に不備や不手際があった事に関しては、私が事前に細かい点やチェックが出来ていなかった為に起きてしまった事と反省しております。眞野委員長をはじめ拡大・交流委員会メンバーの皆様本当に一年間ありがとうございました。渉外委員会では、野村委員長筆頭に熱い背中であつ強く LOM を牽引すべく全ての渉外活動に取り組んで頂きました。初めの頃は、出向者側の思いが強すぎて出向者支援に関しての戸惑いがあったかのように感じましたが、1 月の京都会議を皮切りに野村委員長の独自のユーモアとリーダーシップを発揮してくれました。2 月度例会では LOM が一丸となって出向者を支援する為の例会を開催致しました。また、とうかい号では一般乗船者の募集から乗船者の支援と委員長を中心に委員会メンバーが分担し、役目を果たしてくれました。

豊一会・名豊一会・ASPAC・サマーコンファレンス・ブロック大会・東海フォーラム・全国大会・各月会員会議所会議その他諸々と年中動き回っていた記憶しかありません。時には空回りして、ひとりでテンパリ設営の最中でも委員会スタッフに強くあたってしまう事もあり、委員会メンバーの気持ちも少し離れて行きそうな時もありました。しかし、委員会メンバーも野村委員長のひたむきな姿勢を見て、最後までしっかりと支えてくれたと思います。また、私自身出向経験も少なく渉外委員会に関しては全くの未経験ということもあり、野村委員長には的確な指示やアドバイスをしあがられた事は殆どなかったように思います。わからない事だからこそ不安に思い、しあがられることはただ一緒に行動を共にするだけでした。本当に長い時間と苦楽を共にして頂きました野村委員長、見捨てずに最後までついてきてくださいました渉外委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

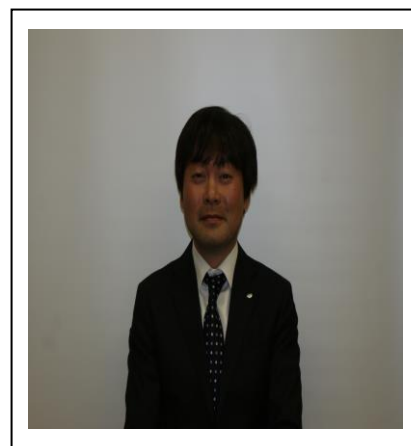
最後に、この 2014 年という年は私が生きてきた 38 年の中で一番多忙極まりない年であったに違いないでしょう。けして社業も疎かにした事ありませんでした。むしろ業績は前年度よりも良かったくらいです。ふたつの委員会の担当副理事長という大役を頂いた時、初めは出来るかどうか不安でたまりませんでした。しかし、覚悟を決めた時に私の中で何かが吹っ切れました。今思えばそれは結果を恐れていた自分、言い訳ばかりしていた自分だったのではなかったのかと思います。「結果がすべてではない、やれるだけやってみろよ」と誰かに支えながらここまで来ることが出来ました。今ではそんな支えてくれる仲間も沢山います。最高の仲間に出会って本当に最高の 1 年でした。

野杵理事長をはじめ LOM の全てのメンバーの皆様に心から感謝します。本当に 1 年間ありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長理事兼社会開発室長

野田 周平



皆様のおかげをもちまして2014年度野杵理事長のもと、「変革～新たな時代の創造に向けた挑戦～」をスローガンに社会開発室長兼副理事長という大役を務めさせていただきました。このような機会を与えて頂いた野杵理事長をはじめとする全メンバーの皆様深く感謝申し上げます。

さて、私が担当しました活気あふれる郷土創造委員会は高月委員長のもと、中心市街地の活性化事業と2012年度からの継続事業でもあります ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの2本柱で事業を展開して頂きました。

7月度公開例会として、様々な地域でも取り上げられている中心市街地の活性化のきっかけづくりにすべく事業構築をし、公開例会を開催させていただきました。ここでは、市民の方々や行政、各種団体の意見交換などを通じて、市民の意識を「無関心」から「関心」へ、そして「行動」へと変革することを目的としました。委員会として、行政、商店街、市内で活動されている団体へ出向き、人が集まる、人が行きかう地域にするためには、どのように考え、行動を起こしていくことが必要なのかを聞き取りを行いました。行政としても、商店街の活性化に向けて様々な行動をおこしているのですが、なかなか、その行動が根付かないのが現状です。そこで、委員会で打ち出したのは、一宮市と類似した他の地域の市街地の活性化が成功している地域の事例を取り上げました。岡崎市商店街の取り組み「まちゼミ」を紹介しました。まちゼミの代表である、講師の方と、実際に商店街にてまちゼミを行われている店主をお招きし活動を紹介いたしました。まちゼミを紹介する前に、委員会として本町商店街を調査した結果や、今まで活性化の為に取り組んできた事例が何故やめてしまったのかななどを、まとめあげ商店街の過去と今の状況を報告させていただきました。委員会として、どれだけ地域のことを調査し学んだのかなど多々反省をしなければいけないことがありました。また、一般参加者の来場者数が少なかったこと、どんな呼び掛けを行い、どれだけ委員会として必死に動いたのか反省をしなければなりませんでした。

参加者の動員については、今後の課題ともなり、しっかりと検証していかななくてはいけない問題でありました。公開例会後、一般来場者の方や、市内で活動されている団体の方に「まちゼミ」や、中心市街地の活性化に向けた私たち委員会の活動に興味を持っていただき、例会後もまちづくりについてお話をさせていただくことができ大変嬉しく思いました。このように1人でも多くの市民の方が私たちの活動に賛同していただける人が増えることにより、市民意識の変革、そして行動へと移していくことができ地域は活気づいてくるのではないかと考えました。

もう1本の柱であります、2012年度からの継続事業として一宮の産品をもとに一宮ブランドを確立し発信することで、活気あふれる郷土を創造することを目的とし「第3回 ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ」を開催させていただきました。今回のグルメグランプリでは、地域の産物を多くの市民の方々に知っていただき、また出店していただく作品としては、地域の産物を使用し、一宮市にゆかりのある伝統や歴史をイメージしていただき創作していただきました。まずは、7月の事業説明会に出展者の方々を募集するべく委員会として市内を走り回りました。市内からの参加していただく出店者の方が、特定の地域に偏りすぎないように募集をかけていくことが非常に苦労しました。委員会で、市内の店舗リストをあげ様々なジャンルの店舗に声をかけさせていただきました。また、出店者募集に際しまして多くの LOM メンバーに情報の提供や、募集に動いていただいたこと感謝申し上げます。出店者の募集以外にも、ステージを利用し市内で活躍されている団体の皆さんに日頃の活動の成果をPRしていただく時間を設けました。こちらの催事に関しても、出店者の募集と同様に参加していただくための呼び掛けに大変委員会メンバーが苦労しました。10月公開例会当日は、出店者15店舗の方々に創作した商品を販売していただくことができました。開催前から、非常に多くの来場者の方々に来ていただくことができました。

また、多くの方に来場していただき本当に嬉しかったのですが、今後さらに市民の方々にグルメグランプリを広く周知していくためには、設営準備の段階から様々な課題があることが見えてきました。多くの LOM メンバー皆様方のご協力、ご支援の賜物だったと深く感謝申し上げます。このように 1 年間活動してまいりましたが、最後に何よりもスタッフ、委員会メンバーの活躍や支えがなければ、委員会として、事業として活動することはできませんでした。途中様々なことがありましたが、高月委員長、最後までお疲れ様でした。委員長を、支えてくれて例会の司会で大活躍してくれた平松副委員長、本当にありがとうございました。また、なかなか上手く委員会運営ができない中でも駆けつけてくれた委員の皆様、本当にありがとうございました。最後に、自分の一年間を振り返って、改めてメンバーの皆様の支え、ご協力があったからこそ、この活動ができたのだと思います。副理事長というのは、理事長を補佐し、対外的にも LOM を代表として会議などにも参加し、委員会の事業を遂行していく担いの中で、どれだけ自分が副理事長として職務を全うできたのか分かりません。きっと自分自身を見つめ直してみると、できていないことが多くを占めているのだと感じます。この一年間で本当に多くのことを勉強させていただき、また副理事長の役割が LOM においていかに重要であるのか学ばせていただきました。次年度は、これまでの経験と更なる努力をもって、愛知ブロック協議会委員長として精一杯頑張る所存でございます。LOM メンバーの皆様一年間本当にありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長理事兼青少年共育室長

安井 祥人



私は、青年会議所の活動は地域の発展のみならず会員の資質や人間力向上も重要な課題であると考えています。所謂ボランティア団体等とは異なり、自分の所属する会社の看板を掲げてこの団体に入会しており、会員各々がリーダー又はそれに準ずる存在です。だからこそその責務は、会社は勿論のこと、地域社会へこの団体で得たことを還元する必要があります。そのためにも、様々な運動を通し、自らを律し、生きる力や実践で役に立つ知識・知恵を身につけなければならない、いわば賢慮型のリーダーとなる必要があります。青年会議所はそれらを習得できる学舎である一面をもつ存在です。

また創始の志でもある「明るい豊かな社会の実現」のためには、手段を限定せず、時代に合わせた運動をすることが必要です。しかし、その手法を通し会員が何も得るものが無ければ意味は無く、自分たちの都合を優先することや、独りよがりであっては地域への貢献はできません。ともすればイベント屋という見方をされてしまう場合もあります。そうならないためにも絶えず地域社会に対しアンテナを立て、関わる人々と助けあい、思いやり、尊敬し、感謝しあい、学び教えあいながら青年会議所ならではの手法をもってその運動を展開していけば、必ず未来へ繋がると信じています。副理事長として心残りといえ、その立場に関わらず、全体を指導することに欠落していたかもしれません。担当は自分の委員会のことをしっかりと把握をし、導く担いをもっていますが、副理事長の役目というのは自分の担当委員会のみでなく、他の委員会、局であってもそれが正しいのかどうか？をチェック、判断をして導くことが必要です。それに関わらず、私自身の力不足でそれがうまくいかず、結果として理事会を混乱させてしまうことがあったりしたことは猛省しております。また委員会においても最終最後まで走り切ることができなかったこと、つまり拡大活動や委員会メンバーのLOM事業への積極的な参加を促すことができなかったことは、自分の委員会の事業が終わり慢心してしまったことや私

の薄志弱行を露呈するものであり、遺憾千万であります。部会運営に関しても担当である部会を、忙しさにかまけ緊張感を失ってしまったことは、自分自身が卒業しOBとして参加する立場になったらどうだ？という目線に立てなかったことは、歴史ある部会に対し面目次第ありません。必要なもの、不必要なものが多々ある青年会議所ではあります。いらないもの、意義や志がないものは切り捨てることも必要となるかもしれませんが、やるからにはやるという気持ちが大切だと痛感しています。

何度も監事に正副は何をやっているのか？と叱咤されましたが、全くその通りであり、歴の浅いメンバーが増えていく中、表の要は委員会スタッフだとするならば、影の要となるのは執行部であるという自覚が足りなかったのかもしれません。

リーダー養成学校として副理事長を拝命したにも関わらずこのような有様なので、許されるのであれば、この失敗を学び次に活かしたいと考えますが、卒業年度でもあるので、この思いは次世代へ託したいと思います。そんな中やってよかったと思うことは、委員会を担当させてもらったことです。冒頭述べさせていただいたことに加え、変わらないために、何を変え、何を守るか？生きる力とは？共育とは？地域のため、子どもたちのため我々がやるべきこと、できることとは？それを副理事長として自分自身考えながら担当委員会である生きる力に満ちた青少年共育委員会のメンバーへ伝えようと接していました。公益という流れの中、予算ありきでなくJCメンバーが学び創り上げること、またJC目線ではなく、一般目線で事業を組み立てることなど、ひょっとすると私のエゴであるようなことを、土川委員長をはじめとするスタッフそして委員会メンバーは私の期待以上に答えてくれました。特に厳しく委員長には接しましたが、今考えれば彼はそんなことは分かっていたのかもしれません。お蔭でメンバーをはじめとする参加者の皆様からは、ありがたいお言葉をいただくことができました。そんな委員会メンバーが次年度

の役職を担うことは担当として誉に思います。

最後に、最終年度で力不足にも関わらず副理事長に選んでいただいた野杵晃充理事長、あまり貢献はできませんでした。が、リーダーとは何かを学びました。そして 2014 年度理事会構成メンバーの皆さん、みんなと一緒にやれてよかったです。みんなを見ていると今後も JC は安心です。

そして私が担当をさせていただいた生きる力に満ちた青少年共育委員会のみんな。功介、かこちゃん、真一郎、くらちゃん、青ちゃん、いわみつつマンガローブ、ゆうき、ななこ、功一郎、やっさん、ザッキー、ゆりちゃん、頼りない担当だったけど、みんなのお蔭で最高の最終年度を過ごすことができました。今後それぞれの道があると思いますが、楽しみにしています。

ありがとうございました。

「一年間を振り返って」

副理事長理事兼研修室長

服部 良太



まずは副理事長という大役に任命いただきました野杵理事長に感謝を申し上げます。また、メンバーの皆様には様々な面でご協力をいただきましたことにも重ねて感謝申し上げます。

一昨年は総務委員長、昨年は事務局長として副理事長兼室長の役割というものを少しばかりかは理解しているつもりでした。引き受けることを決断した際も漠然と自分のやらなければいけないことをイメージしておりました。室長としては 8 月ごろから 2 人の委員長・それぞれの副委員長と協議を進めてまいりましたが、想像と理想と現実のギャップに悩まされました。どこまで踏み込んでいいのか、理事長所信を具現化するために委員長の思いと融合させるようどのように説明すべきか、どういう表現を使うべきか、自分の言葉・私情を挟んでいないか、そのバランスを取るのに苦労しました。見るのとやるのでは大きな違いがありました。特に 2 委員会を受け持ちましたのでそれぞれのやり方があり、どちらがよいということはないのですが、どうしても時期によっては偏ってしまったり、それぞれを比べてみてしまったり、両委員長・委員会には注力できず中途半端な対応となってしまう申し訳なかったと反省しております。それでもそのことを理解いただき、委員会を進めてくださった委員会スタッフの皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。副理事長としては、1 年 4 か月正副が 12 時前に終わることはほとんどありませんでした。協議を脱線していたわけではないのですがそれぐらいの時間を費やして議案に向き合ってきたつもりでした。ただ、理事会の場において何度も休憩動議により、修正を行ったり、監事から質問・意見が多かったりと中身に関してはしっかりと正副で確認できていないというのが現実でした。副理事長としてみなければいけないポイントの不足や考え方の甘さが出ていたと痛感いたしました。何度も正副にでてわかったつもりでしたが全然足りないことを教えていただいたと思っております。

経営資質向上委員会ですが、自分自身初めて携わる委員会でしたので不安の中からスタートしました。難しい委員会だろうとは予想していましたが予想以上でした。公益の観点から公開例会となるため、どうしても外部に頼らざるを得ないと考え、2 例会ございましたが講師をお招きする形を取りました。そのうちの 1 つが西尾張 6JC 合同例会でしたので 1 年の流れを作りづらい部分もありました。候補者段階に理事長所信から実績のある経営者に焦点を絞って検討を始めました。どれだけ早く準備をするかにこだわって指示をして活動しておりましたが、月日が流れるのは早いものであつという間に本年に入っていました。4 月と 9 月です。期間は開いておりましたが、前述のように 9 月が 6JC 合同例会でしたので性質上 5 月には審議をとらないといけませんでしたので、同時並行で考えなければなりませんでした。時間が経つにつれもっと早く決めておけば良かったなど早期準備の大切さを痛感しました。また、それぞれに課題もありました。例会で講師をお招きしご講演いただく際に委員会メンバーの役割に関してよく問われます。9 月が 6JC 例会ということもあってどうしても 4 月例会で委員会メンバーの活躍する場を設けた事業を考えなければなりませんでした。とってつけたようなものではなく事業として一貫性のあるものを委員会で話し合いました。結果 1 部とフォローを委員会メンバーで行うことになりましたが、ここに至るまでに時間を要してしまい、しっかりと準備ができず、中途半端なものとなってしまいました。フォローにも関して 9 月例会と重なってきて役割が 4 月のフォローと 9 月の準備と似たような感じになってしまい、どちらかというとこれからの事業のほうが大事という気持ちもでてしまったと思いますがしっかりとフォローができずに終わってしまいました。例会当日は 4 月も 9 月も事前準備を委員会メンバーで何度も集まり役割分担や進行など滞りなく行えたのではないかと感じております。スタッフがしっかりと行えておらず、委員会メンバーの皆様にはご苦勞とご心配をおかけいたしました。森委員長を支えていただきまして本当にあり

がとうございました。副委員長・幹事の皆様にも、何をやっていいのかわからない時もあったと思いますし、例会当日やフォローそしてインタビューなどなかなか見えないところで活動して委員長を助けていただきました。本当にありがとうございました。そして森一彦委員長、色々ありましたが最終的にはしっかりと議案を作成してくれましたし、実行してくれました。本来であればもっと助けなければいけないこともたくさんあったと思いますが、ポテンシャルの高い委員長ならやってくれるだろうと甘えてしまうこともたくさんありました。最後までけつを割らずに事業を成し遂げていただきまして本当にありがとうございました。

アカデミー委員会に関してましては、私は何もやっておりません。すべては久保委員長・スタッフ・数少ない委員会メンバーが行ってくれました。こちらも初めて携わる委員会でしたので不安はありましたが頼もしい委員会でしたので安心してお任せしてしまいました。本来であればもっと深く関わらなければいけなかったと申し訳なく思っております。本年は入会予定者が多かったのとは逆に委員会メンバーが少なかったのが本当に大変だったと思います。影の動きは計り知れないものがありました。ただ 2014 年度入会メンバーの意識の高さにも助けられたと思います。これまでになく各種大会への参加率が高かったですし、例会や事業にも自分達で意識を高め合い参加してくれました。これからの活躍が本当に楽しみです。いつか 14 入会は黄金世代と言われる日がくるでしょう。そうやって意識を引き上げてくれたのは、2 人しかいないため、必ず委員会には出席して質の高い質問や意見をいただき、例会や事業・懇親会にも積極的に参加して予定者とコミュニケーションをとっていただいた委員会メンバー、取りまとめだけでなくオリエンテーションの構築からすべてを委員長の黒子となって支え、委員長が大変な時は自分事と捉え行動していただいた副委員長・幹事、そして本当に最後の最後まで予定者メンバーの面倒をみて久保委員長のためにと言わせるだけの深い関係を築いてこられた久保委員長、皆様のお力のおかげだと思います。本当にありがとうございました。

最後にまだまだ 4 年JC活動ができる期間が残されておりますのでこの経験を活かすとともに伝える立場として活動に邁進していきたいと思います。1年 4 か月本当にありがとうございました。

「一年間を振り返って」

専務理事

野田 一郎



2014 年度 一般社団法人一宮青年会議所 第 61 代理
事長 野杵晃充君のもと、専務理事という大役を仰せつ
かり一年間活動させていただきました。理事長とともに
専務理事も毎年一人しか選ばれないという誇りと責任
感を常にもち、LOM の要となり野杵理事長の相談役とな
り活動してきました。しかし、私の力不足により円滑に
すすめられない部分があったことについてはお詫びを
申し上げます。

専務理事職とともに、事務局を担当させていただきました。
事務局長、事務局次長とともにスピード感のある段
取りを行っていただき、心より感謝申し上げます。一年
間本当にありがとうございました。浅田事務局長は二年度
理事ということもあり責任感と男気により一年間、休
むことなく常に理事長や私の傍にいて円滑にサポート
してくれました。大野事務局長次長は入会間もないにも
関わらず、理事会設営だけでなく、各種大会への参加、
そして拡大活動にも積極的に取り組んでいただきました。
2014 年度は二人のおかげで無事終えることができた
と思います。

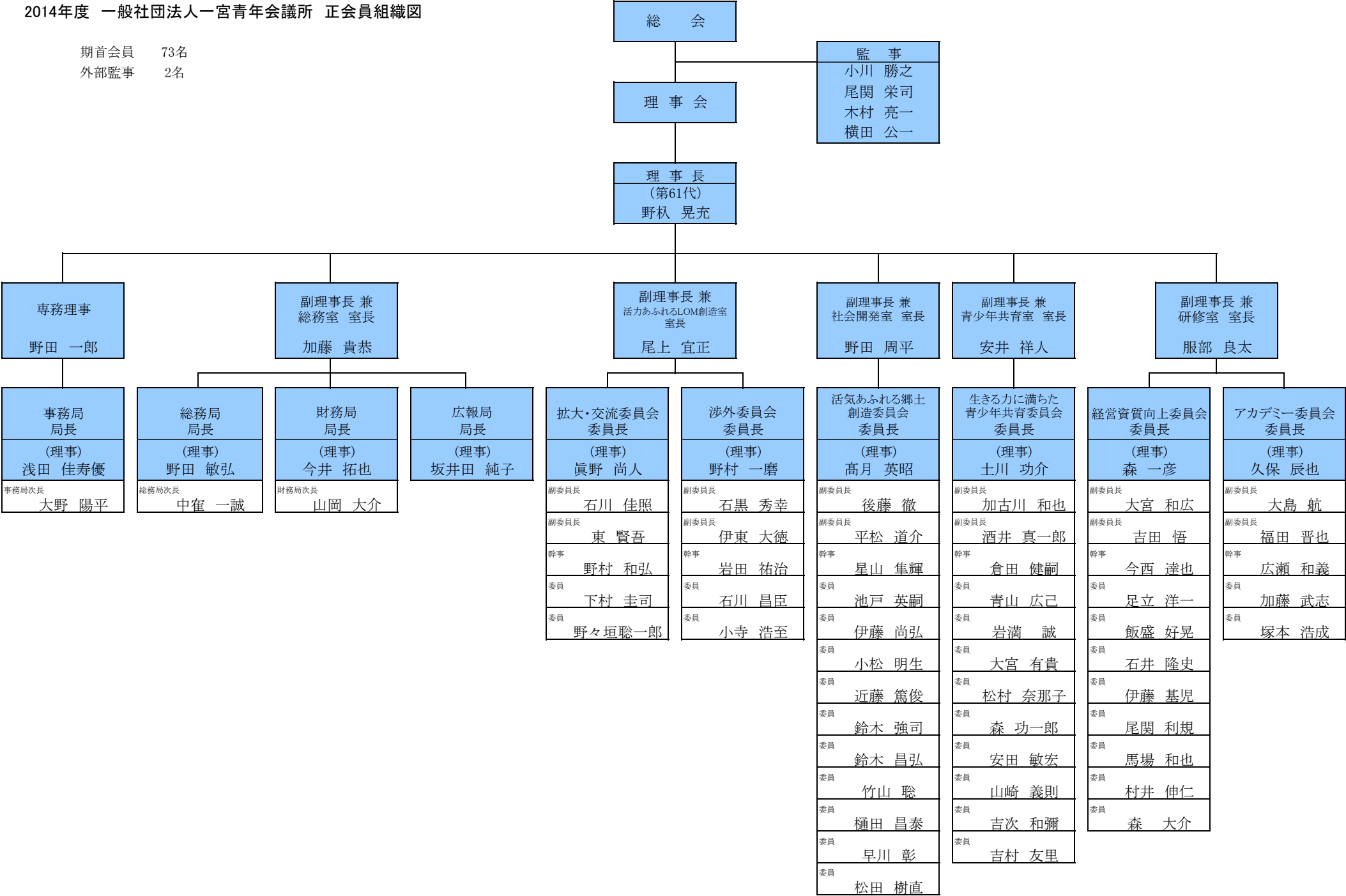
誕生から 63 年という長い歴史と伝統をもつ一宮青年
会議所も時代に即した変化が求められています。「明る
い豊かな地域づくり」という創始の志を受け継ぎつつ
も、組織の形態や活動の内容は時代に合う形へと見直し
が必要だと思います。公益社団法人格取得に向け、さら
にステップアップしていくためにも組織の変革を 2014
年度野杵理事長の大きな目標の一つとして掲げていた
ので、今年度中に組織改造及び公益社団法人格移行がス
ムーズに進むことができ私も安堵の気持ちを感じて
おります。野杵理事長の確固たる信念を持ち、何事にも
動じない強い思いのもと、執行部の一員として活動でき
たことを心よりうれしく思いますし、組織のリーダーと
しての資質を一年間学ぶことができました。

専務理事という役職は経験者にしか分からない大変
な役職かもしれません。副理事長とも委員長とも全く異
なる役職でした。全ての責任は専務にあり、全ての段取
り・スケジュールを把握していないといけません。内外
に向けたしっかりとした発信力や決断力が必要であり、
組織としてのリーダーシップも必要な役職です。また、
西尾張エリア 5 青年会議所や愛知ブロック協議会 31 会
員会議所など対外的な部分での立ち振る舞いも非常に
重要であり、ナンバー8の専務理事と
しての顔も必要です。常に先を見据えたスケジューリン
グと設営していく上での連絡調整が大切であり、このよ
うな専務理事としての資質は社業にも非常に役立つも
のだと感じております。

結びとなりますが、2014 年度専務理事として野杵理事
長の熱い思いを具現化するため、LOM の円滑な運営を心
がけて一年間活動してきました。野杵理事長を中心に副
理事長・理事のメンバーは一致団結し、同じベクトルの
方向を向いて一年間事業に取り組むことができたと思
います。また、多くの場面で木村監事・横田監事にご指
導を仰ぎ、無事一年間大きなトラブルもなく、終えるこ
とができました。2015 年度は理事長として組織のリーダ
ーとして一年間活動していきます。また、公益社団法人
として新たな一歩を踏み出していくことになります。今
までと変わらぬ公益性の高い事業やメンバー資質を高
めていく活動を行っていくためにはやはり専務理事の
存在が大きく関係してきます。本年度経験したことを次
年度専務理事にしっかりと引き継ぎ、ともに一宮青年会
議所のリーダーとしてしっかりとまとめ上げ、65 周年
70 周年に向けて歩みを止めることなく邁進していきたい
と思います。本年度関わった全ての方に感謝するとと
もに、2015 年度の活動に対しましても心よりご支援ご協
力をお願い申し上げます。

2014年度 一般社団法人一宮青年会議所 正会員組織図

期首会員 73名
外部監事 2名



2014 年度理事会

第 1 回理事会 1 月 21 日(火)

愛知県一宮勤労福祉会館第 6 会議室

①2013 年度一般社団法人一宮青年会議所決算報告書の承認に関する件②2014 年度正会員及び正会員予定者の確認に関する件③2014 年度正会員組織図の修正に関する件④2014 年度委員会・局の構成員・事業計画・事業予算の変更に関する件⑤2014 年度日本・地区・ブロックへの出向の変更及び追加に関する件⑥2014 年度正味財産増減予算書の修正に関する件⑦2014 年度定時総会に関する件⑧例会の開催(2 月)に関する件⑨トレビーズフェア後援名義使用に関する件⑩市民公開対話集会後援名義使用に関する件

第 2 回理事会 2 月 12 日(水)

愛知県一宮勤労福祉会館第 6 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②賀詞交歓例会(1 月)の事業報告に関する件③2013 年度年会報及び 2014 年度 LOM 基本資料の発行・発送(3 月)に関する件④例会の開催(3 月)に関する件⑤未来の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成(4 月～8 月)に関する件⑥2014 年度日本・地区・ブロックへの出向の変更及び追加に関する件

第 3 回理事会 3 月 11 日(火)

愛知県一宮勤労福祉会館第 6 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②例会の開催(2 月)の事業報告に関する件③第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」の支援・協力(4 月～8 月)に関する件④生きる力に満ちた青少年の共育(6 月～8 月)に関する件⑤2014 年度理事長候補者・監事候補者選考委員会決定に関する件

第 4 理事会 4 月 10 日(木)

一宮市民会館第 1 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②例会の開催(5 月)に関する件③生きる力に満ちた青少年の共育(6 月～8 月)に関する件④LOM の基盤となる情報の整備(6 月～12 月)に関する件⑤一宮商工会議所会館建設の負担金に関する件⑥2014 年度選挙管理委員会の委員の指名に関する件⑦2014 年度日本・地区・ブロックへの出向者の変更及び追加に関する件

第 1 回臨時理事会 4 月 30 日(水)

一宮スポーツ文化センター第 4 会議室

①ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)に関する件

第 5 回理事会 5 月 7 日(水)

一宮市民会館第 4 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②2013 年度年会報及び 2014 年度 LOM の基本資料の発行・発送(3 月)の事業報告に関する件③例会の開催(6 月)に関する件④ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)に関する件⑤例会の開催(7 月)に関する件⑥一宮商工会議所会館建設の負担金に関する件⑦2014 年度選挙管理委員会の委員の指名に関する件

第 2 回臨時理事会 5 月 30 日(金)

一宮市民会館第 4 会議室

①例会の開催(7 月)に関する件

第 6 回理事会 6 月 10 日(火)

一宮市民会館第 4 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者募集(1 月～3 月)の事業報告に関する件③2013 年度年会報及び 2014 年度 LOM 基本資料の発行・発送(3 月)の事業報告に関する件④例会の開催(7 月)に関する件⑤西尾張 6JC 合同オリエンテーションの開催(7 月)に関する件⑥下期オリエンテーションの開催(7 月～12 月)に関する件⑦西尾張 6JC 合同例会(式典の部)の開催(9 月)に関する件⑧西尾張 6JC 合同例会(講演会の部)の開催(9 月)に関する件⑨上期正会員予定者の正会員承認に関する件⑩上期正会員予定者の委員会配属に関する件⑪おりもの感謝祭一宮七夕まつり協賛に関する件⑫一宮商工会議所会館建設の負担金に関する件⑬教育再生民間タウンミーティング IN 名古屋共催依頼に関する件

第 3 回臨時理事会 6 月 30 日(月)

一宮市民会館第 4 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②上期正会員予定者の正会員承認に関する件③上期正会員予定者の委員会配属に関する件④第 59 回おりもの感謝祭一宮七夕まつり写真コンテストへの後援及び協賛に関する件⑤2014 濃尾大花火の協賛に関する件

第 7 回理事会 7 月 8 日(火)

一宮市民会館第 4 会議室

①第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者募集(1 月～3 月)の事業報告に関する件②例会の開催(3 月)の事業報告に関する件

③JC だよりの発行(9 月)に関する件④公益社団法人格取得の承認に関する件⑤公益社団法人一宮青年会議所定款(案)に関する件⑥事務局夏季休暇に関する件 第 8 回理事会 8 月 6 日(水) 一宮市民会館第 4 会議室 ①上期オリエンテーションの開催(1 月～6 月)の事業報告に関する件 ②例会の開催(5 月)の事業報告に関する件③ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)の変更修正に関する件④2015 年度 LOM 基本資料の作成(9 月)に関する件⑤公益社団法人格取得の承認に関する件⑥一般社団法人一宮青年会議所定款の変更(案)に関する件⑦一般社団法人一宮青年会議所運営規程の変更(案)に関する件⑧一般社団法人一宮青年会議所会員資格規程の変更(案)に関する件⑨一般社団法人一宮青年会議所役員選出規程の変更(案)に関する件⑩一般社団法人一宮青年会議所経理規程の変更(案)に関する件⑪一般社団法人一宮青年会議所会計細則の変更(案)に関する件⑫一般社団法人一宮青年会議所個人情報保護規程の変更(案)に関する件⑬一般社団法人一宮青年会議所情報公開規程の変更(案)に関する件⑭一般社団法人一宮青年会議所理事会議事運用規程の変更(案)に関する件⑮特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程(案)に関する件⑯公益目的保有財産及び特定準備資金に関する件⑰2015 年度一般社団法人一宮青年会議所理事及び監事の選任に関する件⑱一般社団法人一宮青年会議所 2014 年度第 1 回臨時総会の開催に関する件	変更(案)に関する件⑥一般社団法人一宮青年会議所会員資格規程の変更(案)に関する件⑦一般社団法人一宮青年会議所役員選出規程の変更(案)に関する件⑧一般社団法人一宮青年会議所経理規程の変更(案)に関する件⑨一般社団法人一宮青年会議所会計細則の変更(案)に関する件⑩一般社団法人一宮青年会議所個人情報保護規程の変更(案)に関する件⑪一般社団法人一宮青年会議所情報公開規程の変更(案)に関する件⑫一般社団法人一宮青年会議所理事会議事運用規程の変更(案)に関する件⑬特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程(案)に関する件⑭公益目的保有財産及び特定準備資金に関する件⑮一宮だいたいフェスタ大集合 for Halloween 参画のお願いに関する件⑯水と芸術のまちトレビーズフェア後援名義使用のお願いに関する件⑰第 13 回いちのみやタワーパークマラソン後援名義使用のお願いに関する件
第 4 回臨時理事会 8 月 18 日(月) 一宮商工会議所 202 会議室 ①2015 年度一般社団法人一宮青年会議所理事及び監事の選任に関する件②一般社団法人一宮青年会議所 2014 年度第 1 回臨時総会の開催に関する件③西尾張 6JC 合同例会(式典の部)の開催(9 月)の変更修正に関する件④西尾張 6JC 合同例会(講演会の部)の開催(9 月)の変更修正に関する件 第 9 回理事会 9 月 9 日(火) 一宮市民会館第 4 会議室 ①例会の開催(6 月)の事業報告に関する件②西尾張 6JC 合同オリエンテーションの開催(7 月)の事業報告に関する件③公益社団法人格取得の承認に関する件④一般社団法人一宮青年会議所定款の変更(案)に関する件⑤一般社団法人一宮青年会議所運営規程の	第 10 回理事会 10 月 7 日(火) 株式会社のいり 西館 3 階会議室 ①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②例会の開催(11 月)に関する件③生きる力に満ちた青少年の共育(6 月～8 月)の事業報告に関する件④西尾張 6JC 合同例会(式典の部)の開催(9 月)の事業報告に関する件⑤西尾張 6JC 合同例会(講演会の部)の開催(9 月)の事業報告に関する件⑥公益社団法人格取得の承認に関する件⑦規程の廃止に関する件⑧一般社団法人一宮青年会議所定款の変更(案)に関する件⑨一般社団法人一宮青年会議所運営規程の変更(案)に関する件⑩一般社団法人一宮青年会議所会員資格規程の変更(案)に関する件⑪一般社団法人一宮青年会議所役員選出規程の変更(案)に関する件⑫一般社団法人一宮青年会議所経理規程の変更(案)に関する件⑬一般社団法人一宮青年会議所会計細則の変更(案)に関する件⑭一般社団法人一宮青年会議所個人情報保護規程の変更(案)に関する件⑮一般社団法人一宮青年会議所情報公開規程の変更(案)に関する件⑯一般社団法人一宮青年会議所理事会議事運用規程の変更(案)に関する件⑰特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程(案)に関する件⑱公益目的保有財産及び特定準備資金に関する件⑲一般社団法人一宮青年会議所 2014 年度第 2 回臨時総会の開催に関する件⑳理事長代行者の承認に関する件㉑大江川クリーン作戦後援名義使用のお願いに関する件

第 11 回理事会 11 月 11 日(火)

一宮市民会館第 4 会議室

①第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者支援(4 月～8 月)の事業報告に関する件②未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成(4 月～8 月)の事業報告に関する件③生きる力に満ちた青少年の共育(6 月～8 月)の事業報告に関する件④JC だよりの発行(9 月)の事業報告に関する件⑤西尾張 6JC 合同例会(講演会の部)の開催(9 月)の事業報告に関する件⑥出席率 100%及び優秀会員の表彰(12 月)に関する件⑦2014 年度年会報の作成(12 月)に関する件⑧卒業例会の開催(12 月)に関する件⑨一般社団法人一宮青年会議所 2014 年度役員選出総会の開催に関する件⑩事務局冬期休暇に関する件⑪特別会員の承認に関する件

第 5 回臨時理事会 11 月 26 日(水)

株式会社土川油田 4 階会議室

①愛知 9 区公開討論会共催依頼に関する件

第 12 回理事会 12 月 9 日(火)

一宮市民会館第 4 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者支援(4 月～8 月)の事業報告に関する件③未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成(4 月～8 月)の事業報告に関する件④ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)の事業報告に関する件⑤例会の開催(7 月)の事業報告に関する件⑥例会の開催(11 月)の事業報告に関する件⑦会員の休会に関する件⑧2015 年度一般社団法人一宮青年会議所正会員組織図(案)に関する件⑨2015 年度一般社団法人一宮青年会議所委員会・局の基本方針(案)・事業計画(案)・予算(案)に関する件⑩2015 年度一般社団法人一宮青年会議所入会金・会費(案)に関する件⑪2015 年度一般社団法人一宮青年会議所正味財産増減予算書(案)に関する件⑫2015 年度一般社団法人一宮青年会議所事業及び予算の執行に関する件⑬2015 年度一般社団法人一宮青年会議所資産の管理方法(案)に関する件⑭2015 年度一般社団法人一宮青年会議所顧問・相談役の承認に関する件⑮2015 年度一般社団法人一宮青年会議所名誉会員の承認に関する件⑯2015 年度一般社団法人一宮青年会議所賛助会員の承認に関する件

第 6 回臨時理事会 12 月 26 日(金)

一宮商工会議所 202 会議室

①会員の拡大(1 月～12 月)に関する件②ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)の事業報告に関する件③下期正会員予定者の正会員承認に関する件④会員の休会に関する件

決算理事会 1 月 6 日(火)

一宮スポーツ文化センター第 4 会議室

①第 3 回 ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ開催案内チラシ増刷に伴う予算修正の件②定款諸規程の理解の促進(1 月～12 月)の事業報告に関する件③公益法人格取得の仕組みづくり(1 月～12 月)の事業報告に関する件④公益法人格取得に関する会員の知識と理解の向上(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑤未来につながる広報基盤の構築(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑥ホームページ及び Facebook の管理・更新(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑦拡大活動の支援(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑧各種大会・事業・会議への案内及び参加の促進(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑨出向者の支援(1 月～12 月)の事業報告に関する件⑩ ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの調査研究(4 月～12 月)の事業報告に関する件⑪ LOM の基盤となる情報の整備(6 月～12 月)の事業報告に関する件⑫ ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリの開催(6 月～10 月)の事業報告に関する件⑬下期オリエンテーションの開催(7 月～12 月)の事業報告に関する件⑭2015 年度 LOM 基本資料の作成(9 月～12 月)の事業報告に関する件⑮出席率 100%及び優秀会員の表彰(12 月)の事業報告に関する件⑯2014 年度年会報の作成(12 月)の事業報告に関する件⑰卒業例会の開催(12 月)の事業報告に関する件⑱2014 年度一般社団法人一宮青年会議所決算報告書の承認に関する件



定時総会

日時・場所 2014 年 1 月 31 日(金) 一宮スポーツ文化センター 3 階小ホール

出席者 50 名

- | | | |
|----|---------|--|
| 議案 | 第 1 号議案 | 2013 年度一般社団法人一宮青年会議所事業報告の承認に関する件 |
| | 第 2 号議案 | 2013 年度一般社団法人一宮青年会議所収支決算の承認に関する件 |
| | 第 3 号議案 | 2013 年度一般社団法人一宮青年会議所正会員組織図の修正に関する件 |
| | 第 4 号議案 | 2014 年度一般社団法人一宮青年会議所委員会・局の構成・事業計画・事業予算の変更に関する件 |
| | 第 5 号議案 | 2014 年度一般社団法人一宮青年会議所正味財産増減予算の修正の承認に関する件 |

第 1 回臨時総会

日時・場所 2014 年 8 月 28 日(木) 一宮市民会館 大会議室

出席者 61 名

- | | | |
|----|---------|----------------------|
| 議案 | 第 1 号議案 | 2015 年度役員候補者の承認に関する件 |
|----|---------|----------------------|

第 2 回臨時総会

日時・場所 2014 年 10 月 21 日(火) 一宮商工会議所 3 階ホール

出席者 68 名

- | | | |
|----|---------|-----------------------------|
| 議案 | 第 1 号議案 | 公益社団法人格取得の承認に関する件 |
| | 第 2 号議案 | 一般社団法人一宮青年会議所定款の変更に関する件 |
| | 第 3 号議案 | 一般社団法人一宮青年会議所会員資格規程の変更に関する件 |
| | 第 4 号議案 | 特定資金準備資金及び資産取得金の取扱規程に関する件 |
| | 第 5 号議案 | 公益目的保有財産及び特定準備資金に関する件 |

役員選出総会

日時・場所 2014 年 12 月 19 日(金) 一宮商工会議所 3 階ホール

出席者 51 名

- | | | |
|----|---------|--|
| 議案 | 第 1 号議案 | 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所組織図及び委員会・局の構成に関する件 |
|----|---------|--|

- 第 2 号議案 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所委員会・局の基本方針(案)・事業計画(案)・予算(案)に関する件
- 第 3 号議案 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所入会金及び会費に関する件
- 第 4 号議案 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所正味財産増減予算書(案)に関する件
- 第 5 号議案 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所資金の管理方法に関する件
- 第 6 号議案 2015 年度一般社団法人一宮青年会議所顧問・相談役の承認に関する件

1 月度例会	総務局
	1 月 10 日 (金) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 賀 詞 交 歓 例 会
2 月度例会	渉外委員会
	2 月 8 日 (土) ホテル サンプラザシーズンズ 「心一つに 伝えよ熱き想いを」
3 月度例会	拡大・交流委員会
	3 月 3 日 (月) 一宮市総合体育館 多目的室 「なぜ拡大が必要なのか？」
4 月度例会	活気あふれる郷土委員会
	4 月 17 日 (木) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 「未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成」
5 月度例会	アカデミー委員会
	5 月 10 日 (木) スポーツ文化センター 「人々を惹きつけ牽引するために～Visual future 決断力の向上～」
6 月度例会	拡大・交流委員会
	6 月 19 日 (土) 一宮総合体育館 いちい信金アリーナ B 「迷わず閉じろ！閉じれば開くさ心の目！」

7 月度例会	活気あふれる郷土創造委員会
	7 月 11 日 (金) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 「ひとの集う街 一宮～中心市街地 地域活性化の鍵へ～」
8 月度例会	生きる力に満ちた青少年共育委員会
	8 月 2 日 (土)～3 日 (日) 定光寺キャンプ場 「サマーアドベンチャー～夜空にえがく！」
西尾張 6JC 合同例会	経営資質向上委員会
	9 月 23 日 (火・祝) 尾張一宮駅前ビル i-ビル シビックホール 「不安と努力、挑戦そして発展へ」
10 月度例会	活気あふれる郷土創造委員会
	10 月 20 日 (土) 138 タワーパーク 「第 3 回 ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ」
11 月度例会	渉外委員会
	11 月 8 日 (木) 尾西生涯学習センター 2014 年度出向者報告会
12 月度例会	アカデミー委員会
	12 月 11 日 (木) 一宮商工会議所 ホール 卒 業 例 会

事務局

1. 事務局構成メンバー

専務理事 野田 一郎
事務局 長 浅田 佳寿優
事務局 次 長 大野 陽平



2. 理事会開催報告

内容	月日	場所	内容
理事オリエンテーション	9月1日	ぎふ長良川温泉ホテルパーク会議室	内容につきましては、理事会報告をご覧ください。
第1回理事候補者会議	9月5日	愛知県一宮勤労福祉会館第6会議室	
第2回理事候補者会議	9月26日	株式会社のいり西館1階会議室	
第3回理事候補者会議	10月10日	株式会社のいり西館1階会議室	
第4回理事候補者会議	11月1日	株式会社のいり西館1階会議室	
第5回理事候補者会議	11月28日	株式会社のいり西館1階会議室	
第6回理事候補者会議	12月18日	株式会社のいり西館1階会議室	
第1回理事会	1月21日	愛知県一宮勤労福祉会館第6会議室	
第2回理事会	2月12日	愛知県一宮勤労福祉会館第6会議室	
第3回理事会	3月11日	愛知県一宮勤労福祉会館第6会議室	
第4回理事会	4月10日	一宮市民会館第1会議室	
第1回臨時理事会	4月30日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	
第5回理事会	5月7日	一宮市民会館第4会議室	
第2回臨時理事会	5月30日	一宮市民会館第4会議室	
第6回理事会	6月10日	一宮市民会館第4会議室	
第3回臨時理事会	6月30日	一宮市民会館第4会議室	
第7回理事会	7月8日	一宮市民会館第4会議室	
第8回理事会	8月6日	一宮市民会館第4会議室	
第4回臨時理事会	8月18日	一宮商工会議所202会議室	
第9回理事会	9月9日	一宮市民会館第4会議室	
第10回理事会	10月7日	株式会社のいり西館3階会議室	
第11回理事会	11月11日	一宮市民会館第4会議室	
第5回臨時理事会	11月26日	株式会社土川油店4階会議室	
第12回理事会	12月9日	一宮市民会館第4会議室	
第6回臨時理事会	12月26日	一宮商工会議所202会議室	
決算理事会	1月6日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	

3. 他LOMとの交流 公益社団法人名古屋青年会議所・公益社団法人豊橋青年 会議所・社団法人豊田青年会議所・大韓民国社団法人大邱 江北(テグカング)青年会議所が相互に発展する為、情報交 換を目的に開催される会議です。 「名豊一会」 開 催 日:2014年2月27日(木) 開 催 場 所:一宮市総合体育館(いちい信金アリーナ) 参加 LOM: 公益社団法人名古屋青年会議所 公益社団法人豊橋青年会議所 一般社団法人一宮青年会議所 会 議 内 容:2014 年度年間事業計画説明並びに質疑応答 「豊一会」 開 催 日:2013年12月5日(木) 開 催 場 所:セントクリーゴルフクラブ 参加 LOM:一般社団法人豊田青年会議所 一般社団法人一宮青年会議所 会 議 内 容:2014 年度年間事業計画説明並びに質疑応答 「姉妹会議」 開 催 日:2014年8月24日(日) 開 催 場 所:一宮駅前クラシックホテル会議室 参加 LOM:大韓民国 社団法人大邱江北(テグカング) 青年会議所 一般社団法人一宮青年会議所 会 議 内 容:2014 年度年間事業計画説明並びに質疑応答		<table><tr><td>第4回</td><td>2014年6月17日 大口町ほほえみプラザ ほほえみホール</td></tr><tr><td>第5回</td><td>2014年8月26日 一宮地場産業ファッションデザインセンター 第1会議室</td></tr><tr><td>第6回</td><td>2014年10月23日 名古屋ガーデンパレス</td></tr></table>	第4回	2014年6月17日 大口町ほほえみプラザ ほほえみホール	第5回	2014年8月26日 一宮地場産業ファッションデザインセンター 第1会議室	第6回	2014年10月23日 名古屋ガーデンパレス										
第4回	2014年6月17日 大口町ほほえみプラザ ほほえみホール																	
第5回	2014年8月26日 一宮地場産業ファッションデザインセンター 第1会議室																	
第6回	2014年10月23日 名古屋ガーデンパレス																	
4. 公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会 会員会議所会議 愛知ブロック協議会と愛知ブロック32LOMの理事長で行わ れる会議です。		6. 最後に まず始めに、事務局長という大役を無事に務めることが できましたのは、野杵晃充理事長を始めとする理事会構 成メンバーの皆様、そしてメンバーの皆様のおかげである と心より御礼申し上げます。 昨年に引き続き、二年度理事として事務局長を務めさ せていただきましたが、理事経験者として求められている ものは何か、どうすれば他の理事の皆様様の模範となれるの か、色々考えた一年でもありました。実際、今年は理事会 が時間内に終了したのは数回しかなく、決算議案におい ても一回で審議されるケースも少なかったと思います。理 事の皆様から事前に意見を頂いたり、正副理事長会議で 上がった意見を伝えたり、サポートしたりすることができな かった私の責任でもあったと感じております。 しかしながら、各種大会や事業、その他の会議におい ては、野杵理事長と野田専務理事の支えも頂き、すべて に同行できたことは事務局長としての担いを達成できたの ではないかと感じております。 また、理事会を滞りなく開催できましたのは事務局次長 の大野陽平君のおかげであると感謝しています。特に会 場に関しては、例年の愛知県一宮勤労福祉会館が改修 工事の関係で使用ができなくなり、会場の予約には気を 遣って頂きました。議事録においても、理事会終了後、数 日で作成して頂き、理事会のスムーズな運営に繋げるこ とができました。本当にありがとうございました。																
<table><tr><td>第1回予定者会議</td><td>2013年11月2日 名古屋サンスカイルームA室</td></tr><tr><td>第2回予定者会議</td><td>2013年11月23日 ダイテックサカエ7階</td></tr><tr><td>第1回会員会議所会議</td><td>2014年2月2日 アイリス愛知大会議室</td></tr><tr><td>第2回会員会議所会議</td><td>2014年3月22日 名古屋サンスカイルームA室</td></tr><tr><td>第3回会員会議所会議</td><td>2014年5月10日 ダイテックサカエ6階</td></tr><tr><td>第4回会員会議所会議</td><td>2014年7月26日 三河湾リゾートリンクス</td></tr><tr><td>第5回会員会議所会議</td><td>2014年9月27日 名古屋サンスカイルームA室</td></tr><tr><td>第6回会員会議所会議</td><td>2014年11月15日 名古屋サンスカイルームA室</td></tr></table>	第1回予定者会議	2013年11月2日 名古屋サンスカイルームA室	第2回予定者会議	2013年11月23日 ダイテックサカエ7階	第1回会員会議所会議	2014年2月2日 アイリス愛知大会議室	第2回会員会議所会議	2014年3月22日 名古屋サンスカイルームA室	第3回会員会議所会議	2014年5月10日 ダイテックサカエ6階	第4回会員会議所会議	2014年7月26日 三河湾リゾートリンクス	第5回会員会議所会議	2014年9月27日 名古屋サンスカイルームA室	第6回会員会議所会議	2014年11月15日 名古屋サンスカイルームA室	<table><tr><td>候補者期間を含め1年4ヶ月間、野杵理事長と野田専 務理事には本当にお世話になりました。野杵理事長には 一宮青年会議所の理事長としての姿、人への心配り、器 の大きさ、色々なものを学ばせて頂きました。JC 活動だけ ではなく、一人の人間として成長させて頂いたと感じてい ます。野田専務理事には理事会や会議へ向かう姿勢、常 に先を見て行動することの大切さ、内外との折衝方法、ど れも今後の活動の糧となるものばかりであり、非常に多くを 吸収させて頂きました。 最後になりますが、改めて 2014 年度の理事会構成メン バーの皆様様に御礼申し上げます。また、いつも無理を聞 いてくださり、事務局員として迅速なサポートをして頂いた 長谷川さんにも感謝申し上げます。 1年4か月間本当にありがとうございました。</td></tr></table>	候補者期間を含め1年4ヶ月間、野杵理事長と野田専 務理事には本当にお世話になりました。野杵理事長には 一宮青年会議所の理事長としての姿、人への心配り、器 の大きさ、色々なものを学ばせて頂きました。JC 活動だけ ではなく、一人の人間として成長させて頂いたと感じてい ます。野田専務理事には理事会や会議へ向かう姿勢、常 に先を見て行動することの大切さ、内外との折衝方法、ど れも今後の活動の糧となるものばかりであり、非常に多くを 吸収させて頂きました。 最後になりますが、改めて 2014 年度の理事会構成メン バーの皆様様に御礼申し上げます。また、いつも無理を聞 いてくださり、事務局員として迅速なサポートをして頂いた 長谷川さんにも感謝申し上げます。 1年4か月間本当にありがとうございました。
第1回予定者会議	2013年11月2日 名古屋サンスカイルームA室																	
第2回予定者会議	2013年11月23日 ダイテックサカエ7階																	
第1回会員会議所会議	2014年2月2日 アイリス愛知大会議室																	
第2回会員会議所会議	2014年3月22日 名古屋サンスカイルームA室																	
第3回会員会議所会議	2014年5月10日 ダイテックサカエ6階																	
第4回会員会議所会議	2014年7月26日 三河湾リゾートリンクス																	
第5回会員会議所会議	2014年9月27日 名古屋サンスカイルームA室																	
第6回会員会議所会議	2014年11月15日 名古屋サンスカイルームA室																	
候補者期間を含め1年4ヶ月間、野杵理事長と野田専 務理事には本当にお世話になりました。野杵理事長には 一宮青年会議所の理事長としての姿、人への心配り、器 の大きさ、色々なものを学ばせて頂きました。JC 活動だけ ではなく、一人の人間として成長させて頂いたと感じてい ます。野田専務理事には理事会や会議へ向かう姿勢、常 に先を見て行動することの大切さ、内外との折衝方法、ど れも今後の活動の糧となるものばかりであり、非常に多くを 吸収させて頂きました。 最後になりますが、改めて 2014 年度の理事会構成メン バーの皆様様に御礼申し上げます。また、いつも無理を聞 いてくださり、事務局員として迅速なサポートをして頂いた 長谷川さんにも感謝申し上げます。 1年4か月間本当にありがとうございました。																		
5. 西尾張6JC正副理事長会議 西尾張6JCの正副理事長で行われる会議です。																		
<table><tr><td>第1回</td><td>2013年12月9日 江南商工会館 大会議室</td></tr><tr><td>第2回</td><td>2014年2月25日 犬山市福祉会館 4階中ホール</td></tr><tr><td>第3回</td><td>2014年4月22日 稲沢市産業会館 大会議室</td></tr></table>	第1回	2013年12月9日 江南商工会館 大会議室	第2回	2014年2月25日 犬山市福祉会館 4階中ホール	第3回	2014年4月22日 稲沢市産業会館 大会議室												
第1回	2013年12月9日 江南商工会館 大会議室																	
第2回	2014年2月25日 犬山市福祉会館 4階中ホール																	
第3回	2014年4月22日 稲沢市産業会館 大会議室																	

総務局

1. (総務・財務・広報)局構成メンバー

担当副理事長 加藤 貴恭
局 長 野田 敏弘
局 次 長 中俣 一誠



2. 室会議開催報告

内容	月日	場所	
第1回候補者室会議	9月 20日	菊 水 会 議 室	①基本方針(案)について
第2回候補者室会議	10月 1日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について
第3回候補者室会議	10月21日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第4回候補者室会議	11月13日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第5回候補者室会議	12月 3日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第 1 回 室 会 議	1月 6日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①組織図について ②事業計画 1 について ③事業計画 2 について ④事業計画 3 について ⑤事業計 4 について ⑥事業計画 5(案)について ⑦事業計画 6(案)について ⑧事業計画 7(案)について
第 2 回 室 会 議	1月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 2 の事業報告に ついて ③事業計画 3 について ④事業計画 4 について ⑤事業計画 5(案)について ⑥事業計画 6(案)について ⑦事業計画 7(案)について
第 3 回 室 会 議	2月26日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 について ⑤事業計画 6(案)について ⑥事業計画 7(案)について
第 4 回 室 会 議	3月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 について ⑤事業計画 6(案)について ⑥事業計画 7(案)について
第 5 回 室 会 議	4月16日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 の事業報告に ついて ⑤事業計画 6 について ⑥事業計画 7(案)について
第 6 回 室 会 議	5月22日	ノダックスコーポレーション会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 の事業報告に ついて ⑤事業計画 6 について ⑥事業計画 7(案)について ⑦事業計画 8(案)について
第 7 回 室 会 議	6月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 6 について ⑤事業計画 7 について ⑥事業計画 8(案)について
第 8 回 室 会 議	7月22日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 決算について ②事業計画 3 について

第 9 回 室 会 議	8月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	③事業計画 4 について ⑤事業計画 7 について	④事業計画 6 について ⑥事業計画 8(案)について
第 1 0 回 室 会 議	9月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 7 について ⑦事業計画 9(案)について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 8 について ⑧事業計画 10 について
第 1 1 回 室 会 議	10月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 8 について ⑦事業計画 10(案)について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 9(案)について
第 1 2 回 室 会 議	11月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 8 について ⑦事業計画 10 について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 9 について
第 1 3 回 室 会 議	12月22日	ノダックスコーポレーション会議室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 の事業報告について ⑤事業計画 8 の事業報告について ⑦事業計画 10 の事業報告について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 の事業報告について ⑥事業計画 9 の事業報告について

3. 事業報告 ①事業計画 1 会員の拡大(1月～12月) 本年度、総務局として 1 名は必ず拡大するという目標を持ち活動してきました、1年を通して2名を拡大することができました。会員拡大は、LOM の存続にかかわる重要な議案であり今後も拡大は一人一人重要な責務と捉え、活動していかなければならないと感じました。また、拡大をするだけではなく拡大して入会して頂いた予定者に対してのフォローも大切な担いと捉え今後も活動していきたいと思えます。 ②事業計画 2 賀詞交歓例会の開催(1月) 賀詞交歓例会は、毎年その年度の最初の例会として、また理事長所信をもってその年度の一宮青年会議所がどのように活動していくかということを発表する場であるということで予定者段階から準備を進めてまいりました。まずは、ご参集賜ります関係諸団体の皆様への配慮、そして理事長が気持ちよく所信を関係諸団体の皆様へ発信できるような設営を心がけました。 当日まで様々な諸問題はございましたが、朝の早い時間からお集まりいただきました LOM メンバーの皆様や室メンバー、事務局メンバーのおかげで大きなトラブルもなく会を進めることができました。 また、理事長所信と LOM メンバーの皆様の温かいおもてなしの心で関係諸団体の皆様に接していただいたことで 2014 年度の活動と一宮青年会議所の存在意義を発信することができたと思います。 すべての皆様のお力添えあつてのことと感謝しております。本当にありがとうございます。 ③事業計画 3 総務の管理運営 本年度は、局制度ということで総務単独での初めての活動でした。総務の動きとしては、個人情報管理、書類管理や訃報連絡、文章チェックにより他局・委員会へのサポートがあり、それを肅々とこなしていくということで本年度活動していきました。本年度気づいたことや気をつけないといけないことをしっかりと次年度へ伝えて、より適正かつスムーズな運営に貢献したいと考えております。 ④事業計画 4 定款諸規程の理解の促進(1月～12月) 本年、現役メンバーの大半が入会の浅いメンバーとなっており定款諸規程は、今後の JC 活動を適正に行うに当たり必要なものであり、LOM 基本資料には記載されていますが読む機会がないものということもあり今回、メールマガジンと小テストという形で 1 年間皆様に配信させていただきました小テストを行い返信していただきました。これにより少なからず今まで以上に定款諸規程が身近なものになっていただけたのではないかと感じております。最後になりますが、1 年間ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。 ⑤事業計画 5 2013 年度年会報及び 2014 年度 LOM 基本資料の発行・発送(3月) 本年、LOM 基本資料に関しては冊子で発行し、年会報に関してはホームページでの公開をさせていただきました。 LOM 基本資料は対外の方にもお渡しする資料ですのであくまでも総務局中心でやるべきではありますが副理事長、各局長・委員長の皆様にもご協力いただき印刷前の校正データの確認をしていただくとより良いものができると感じました。	年会報に関しては、より多くの人に見ていただくことを考えると引き続きホームページでの公開をしていただくと良いと感じました。 最後になりますが LOM 基本資料に関してご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。 ⑥事業計画 6 LOM の基盤となる会員情報の整備(6月～12月) 本事業は、LOM の核となる会員情報を今後の LOM の活動に支障がないようにデータ化し常に最新の状態にする事業となります。会員情報は用途により情報の整合性に欠けておりましたので本年よりデータ化を行い、その情報が正とすることで整合性をとり、今後、変更等が発生した場合でも変更・修正が容易にでき、情報の抜き取りもスムーズになります。今後は、データベースを活用していただくことにより、次年度以降の総務の作業が簡略化され、その他の作業に注力していただけるのではないかと思います。最後になりますが本事業においてご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。 ⑦事業計画 7 西尾張 6JC 合同例会(式典)の開催(9月) 祝日のご多用の中、多くのメンバーの皆様にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。総務局は、理事長会・式典を担当させていただきました、本年度理事長が次年度理事長候補者を紹介し、次年度の活動とメンバーの意識を高め、西尾張 6JC のメンバーの更なる友情と連帯感を育むことができたと感じました。 7 年ぶりに夢エリア合同事業から各 LOM 主管の合同例会ということ、そして次年度理事長候補者及び役員候補者の紹介と非常に重要な例会でありました。 最後になりますが、メンバー一人一人の支えがあり無事終えることができました。メンバーの皆様にご出席いただきましたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。 ⑧事業計画 8 2015 年度 LOM 基本資料の作成(9月～12月) 本事業は、LOM の活動を円滑に行うために必要な情報が記載された資料を作成する重要な事業となります。その中でも会員情報は変更点が多く会員の皆様のご協力が必要不可欠な記載事項に関して、本年度はメンバーの方々及び特別会員の皆様には、本年より会員台帳を基に作成しましたデータベースのフォーマットを使用し行いました。これにより記載事項の変更が発生した場合でも変更点の修正の負担は少し軽減できたのではないかと考えております。また本年は特別会員の皆様に関して、訃報・例会開催案内の要否の確認も一緒に行いました。多くに返信をいただく事ができましたので、次年度以降も引き続きお願いしたいと思います。本事業は、次年度が発行を行うための情報収集になりますが少しでも早く変更事項を収集すれば次年度の発行も円滑にすすめることができると感じました。 最後に記載事項確認の返信をいただき LOM 基本資料の作成にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
--	--

⑨事業計画 9 出席率 100%及び優秀会員の表彰(12 月)

まずは投票にご協力いただきましたメンバーの皆様には本当にありがとうございました。本年度は、メールでの投票でしたが、委員会訪問を行い委員会の時間を少し頂戴しまして投票を行い、また卒業例会の受付の場を利用させていただき投票をお済みでない方に最終の声掛けをさせて頂き投票をして頂きました。皆様のご協力により7割を超えるメンバーの方々に投票をして頂くことができました。一般社団法人一宮青年会議所として 2014 年度の優秀会員を選ぶことになるので次年度以降も 1 人でも多くの方に投票して頂ける方法を検討していただければとおもいます。また、今回も昨年同様優秀会員を部門別にさせていただきましたが対内、対外につきましては、各委員長が委員会から 1 人選抜をしていただき、なぜ選んだかという理由も明確に書いていただき投票をしてくださった皆様にも委員長の思いも感じながら選んでいただけたのではないかと感じました。また新人部門としまして 2014 年 7 月より正会員になり活動をされているメンバーの方にもスポットライトが当たったのではないかと思います。部門数等もあるとは思いますが部門別で行っていくことも検討しつつ部門及び選考基準等も検討していただければと思います。受賞された皆様には挨拶を頂戴しありがとうございました。挨拶を聞かれたメンバーの皆様は次年度以降の活動の励みになったかと思います。最後になりますが役員選出総会の中ではありますが 2014 年度最後の事業を行なわせていただきましたことに感謝申し上げます。

⑩事業計画 10 2014 年度年会報の作成(12 月)

年会報の原稿を作成する事は日々の活動では時間に追われ振り返ることが難しい状況の中で 1 年を総括することが出来る貴重な時間だと考えます。原稿を作成されていないメンバーの皆様に関しましても年会報を読んでいただき次年度の活動に繋げていただければと思います。
最後に年会報の作成にあたり、年末の大変ご多用の中、ご協力いただきましたメンバーの皆様には感謝申し上げます。
ありがとうございました。

4. 最後に

本年は、総務局は、局長の私、次長、副理事長の 3 名で活動させていただきました。

第 1 回初顔合わせの時に初めて挨拶をした時は非常に緊張したことを今でも覚えております。また例年、総務委員会という形を本年は、局として総務局・財務局・広報局と 3 つに分かれました。局長を拝命してから局としてなにをしたらより青年会議所はよくなるのか、2014 年度理事長が掲げる変革という言葉に対し総務局としてどうしたらよいのかということを非常に考えて活動しました。また、本来であれば委員会ですが総務・財務・広報の 3 局で室会議という会議を行い、初年度理事でどうして良いかわからない不安、力不足等ありましたが、室メンバーに恵まれ 1 年間活動することができました。

楽しいとき、辛いときもありました、そしてなにをやるにしてもどんな地味な作業でもどんな膨大な量の情報整理でも笑顔で楽しく活動できたのは室メンバーの皆様のお力添えがあったおかげであると感謝申し上げます。

また、総務は、青年会議所全体を見ることができるので初めての理事が総務で良かったと感じております。担当副理事長、私を選んでご苦労が非常に多かったかとは存じますが本当にありがとうございました。

この貴重な経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。

財務局

1. 財務局構成メンバー

担当副理事長 加藤貴恭
局 長 今井拓也
局 次 長 山岡大介



2. 室会議開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者室会議	9月 20日	菊 水 会 議 室	①基本方針(案)について
第2回候補者室会議	10月 1日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について
第3回候補者室会議	10月21日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第4回候補者室会議	11月13日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第5回候補者室会議	12月 3日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計 4(案)について ⑥事業計画 5(案)について
第 1 回 室 会 議	1月 6日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①組織図について ②事業計画 1 について ③事業計画 2 について ④事業計画 3 について ⑤事業計 4 について ⑥事業計画 5(案)について ⑦事業計画 6(案)について ⑧事業計画 7(案)について
第 2 回 室 会 議	1月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 2 の事業報告に ついて ③事業計画 3 について ④事業計画 4 について ⑤事業計画 5(案)について ⑥事業計画 6(案)について ⑦事業計画 7(案)について
第 3 回 室 会 議	2月26日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 について ⑤事業計画 6(案)について ⑥事業計画 7(案)について
第 4 回 室 会 議	3月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 について ⑤事業計画 6(案)について ⑥事業計画 7(案)について
第 5 回 室 会 議	4月16日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 の事業報告に ついて ⑤事業計画 6 について ⑥事業計画 7(案)について
第 6 回 室 会 議	5月22日	ノダックスコーポレーション会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 5 の事業報告に ついて ⑤事業計画 6 について ⑥事業計画 7(案)について ⑦事業計画 8(案)について
第 7 回 室 会 議	6月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 について ④事業計画 6 について ⑤事業計画 7 について ⑥事業計画 8(案)について
第 8 回 室 会 議	7月22日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 決算について ②事業計画 3 について

第 9 回 室 会 議	8月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	③事業計画 4 について ⑤事業計画 7 について	④事業計画 6 について ⑥事業計画 8(案)について
第 1 0 回 室 会 議	9月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 7 について ⑦事業計画 9(案)について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 8 について ⑧事業計画 10 について
第 1 1 回 室 会 議	10月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 8 について ⑦事業計画 10(案)について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 9(案)について
第 1 2 回 室 会 議	11月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 について ⑤事業計画 8 について ⑦事業計画 10 について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 について ⑥事業計画 9 について
第 1 3 回 室 会 議	12月22日	ノダックスコーポレーション会議室	①事業計画 1 について ③事業計画 4 の事業報告について ⑤事業計画 8 の事業報告について ⑦事業計画 10 の事業報告について	②事業計画 3 について ④事業計画 6 の事業報告について ⑥事業計画 9 の事業報告について

3. 事業報告

①事業計画 1 会員の拡大(1 月～12 月)

私たちの地域に対する活動を広く伝播していくためには会員の拡大は非常に重要な事業です。会員の拡大は、一宮青年会議所全体の事業だと捉え一年間活動して参りました。今後も拡大の意義を忘れることなく、活動を行ってまいりたいと思います。

②事業計画 2 財務の管理運営(1 月～12 月)

本年度は、財務局単独での初めての活動でした。財務の動きとしては、資金管理とその管理を通しての他局・委員会へのサポートがあります。本年度は、事業資金についてはネットによる送金により各局・委員会の口座での事業資金の管理となりました。管理方法が一部変更になったこともあり、各局長・委員長にはわかりにくい点もあったかと思えます。そのあたりをできるだけスムーズに運営することが求められるものでありましたが、うまくいかない部分もあり、反省しております。次年度に本年度の状況を伝えて、より適正かつスムーズな運営に貢献したいと考えております。

③事業計画 3 公益法人格取得の仕組みづくり(1 月～12 月)

本年、公益法人格の取得を現実にするという方針を打ち立て、活動してまいりました。10 月に愛知県に申請を行い 11 月に県の審議会にて審議され、翌年 1 月 5 日からの公益法人への移行が決まりました。申請に先立ち、臨時総会にて公益法人関連議案をすべて可決承認いただきました。ありがとうございます。公益申請に関しては、財務局として、取得の意義から考え、そして、実際の申請に至るまで、いろいろな方々とお話をし、資料を集め、1 年間考えてきました。この内容なら進められる、というだけでなく、実際には県に対しての書類作成や青年会議所内におけるコンセンサスや審議などが必要であり、そのあたりを複合的に進めていくなかで、スケジュールとして大丈夫なのかという局面が多々あったのが実情でした。また、公益法人格取得に関する説明会には多くのメンバーに出席をしていただき、理解を深めていただきました。

公益法人へと移行するという選択は、未来に向けて一宮青年会議所が地域のため、人のためによりよい活動をしていくという決意表明です。新たなスタートラインに立った一宮青年会議所がこれから行う事業が素晴らしいものとなるために、本年度の財務局の活動をしっかりと次年度に伝えていきます。多くの方たちにいろいろと助けていただき、公益法人格取得の活動をさせていただくことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

④事業計画 4 公益法人格取得に関する会員の知識と理解の向上(1 月～12 月)

事業計画 3 と連動し、公益法人へと移行するということがどういったことかを知る機会、理解する機会ということで事業計画 4 においてメールマガジンを 1 年間発行させていただきました。公益法人制度の理解や公益事業費率などの実際の公益法人を維持するための要素などを知る機会としてのメールマガジン、というだけでなく、取得についての意義についても重要なことであると考え、全 12 回を発行しました。理事長インタビューでは、

取得に関する意義を自らの経験なども踏まえて語っていただきました。その後、公益に関する理解を深めるために、公益に関する知識を多く持つ飯盛君にお話をさせていただきました。実際に事業を行う委員長と担当副理事長とも座談会を開催し、その視点からの質問や、公益に関する考えをお話いただきました。他 LOM のお話しも座談会として盛り込み、色々な視点からの公益を考えていただき内容とさせていただきました。メンバーの皆さんに知っていただくものとしてのメールマガジンでありましたが、私自身がいろいろと考えさせられ、そしていろいろな経験をさせていただきました。多くの方に時間をいただき、メールマガジンを毎月発行させていただくことができました。感謝申し上げます。

4. 最後に

本年、財務局は、財務の面において適正な管理運営を行いながら、公益法人格取得に向け書類の作成や今後の運営に関して調査等を行ったうえで申請をし、そして、その理解を向上させる活動も併せて行って参りました。どの事業においてもメンバーが無くては成立しません。財務局の事業は、ある意味裏方的な活動であり、表に見えないことが多々ある事業でした。ひとつひとつの事業を行うに当たって、何のために、ということが日々頭をよぎり、日々考える日々でありました。ただ公益法人になるということで解決するのだろうか、果たしてよりよい青年会議所の活動とはなんだろうか、いろいろなことをいろいろな場面で考えました。私が考えるところは、一宮青年会議所は一宮青年会議所たるべきである、それは、この地域をそして西尾張を牽引する LOM であるということ。いままでもそしてこれからも、そしてより良い活動をしていくためには、公益法人になるという選択は非常に重要な選択です。特に報告書類の面で大変な部分があるのも実情です。けれども、これまでの歴史と伝統を礎に公益性の高い事業を推し進めていくのは、これからの未来において重要な選択です。10 年後 20 年後の一宮青年会議所の活動が、これから先、この 2014 年を起点にして、より素晴らしく、そして地域から必要とされる存在になっている姿を期待します。

本年度、財務局の活動は多くの方の支えにより、任期を全うすることができました。山岡次長には多くの時間を財務局の事業に費やしていただき、そして、一緒に財務と公益について考えていただきました。本当にありがとうございました。また、総務室の方々にもいろいろな面から助けていただきました。御礼申し上げます。最後に、一宮青年会議所メンバーの皆様には一年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

広報局

1. (総務・財務・広報)局構成メンバー

担当副理事長 加藤 貴恭
局 長 坂井田純子



2. 室会議開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者室会議	9月 20日	菊 水 会 議 室	①基本方針(案)について
第2回候補者室会議	10月 1日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について
第3回候補者室会議	10月21日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 3(案)について
第4回候補者室会議	11月13日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計画 4(案)について
第5回候補者室会議	12月 3日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①基本方針(案)について ②事業計画(案)について ③予算(案)について ④事業計画 2(案)について ⑤事業計 4(案)について
第 1 回 室 会 議	1月 6日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①組織図について ②事業計画 1 について ③事業計画 2 について ④事業計画 3 について
第 2 回 室 会 議	1月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	① 事業計画 1 について ②事業計画 2 について ③事業計画 3 について
第 3 回 室 会 議	2月26日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ② 事業計画 2 について ③ 事業計画 3 について
第 4 回 室 会 議	3月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 2 について ③事業計画 3 について
第 5 回 室 会 議	4月16日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 2 について ③事業計画 3 について ④事業計画 4(案)について
第 6 回 室 会 議	5月22日	ノダックスコーポレーション会議室	③ 事業計画 1 について ②事業計画 2 について ② 事業計画 3 について ④事業計画 4(案)について
第 7 回 室 会 議	6月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	① 事業計画 1 について ⑤ 事業計画 2 について ② 事業計画 3 について ④事業計画 4(案)について
第 8 回 室 会 議	7月22日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ① 事業計画 2 について ③事業計画 3 について ② 事業計画 4 について
第 9 回 室 会 議	8月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	③ 事業計画 1 について ②事業計画 2 について ③ 事業計画 3 について ③ 事業計画 4 について
第 1 0 回 室 会 議	9月25日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	③ 事業計画 1 について ②事業計画 2 について ④ 事業計画 3 について ③ 事業計画 4 について
第 1 1 回 室 会 議	10月29日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	③ 事業計画 1 について ②事業計画 2 について ③ 事業計画 3 について ④ 事業計画 4 の事業報 告について
第 1 2 回 室 会 議	11月20日	セ ル フ サ ポ ー ト 会 議 室	①事業計画 1 について ②事業計画 2 について

第 1 3 回 室 会 議

12月22日

ノダックスコーポレーション会議室

④ 事業計画 3 について

① 事業計画 1 について ②事業計画2の事業報告に
③事業計画3の事業報告に ついて
ついて

3. 事業報告

①事業計画 1

拡大に関しまして、一年間を通して広報局だけでなく、総務室全体で最大限努力してまいりました。事務局を含め、4 曲で 4 名の拡大に成功し努力が実ったのではないかと思います。拡大活動は青年会議所活動を行っていく上で最大の課題ではないでしょうか。常に拡大活動に関わっていく気持ちが大切だと思います。

今後もアンテナを張り続け、拡大活動を積極的に行ってまいりたいと思います。

ありがとうございました。

②事業計画 2

『未来につながる広報基盤の構築』

これまで総務等の委員会に付帯してきた広報ですが、本年度は単独の局となり広報の専門で活動させていただき、事業を担当する委員会の方に事業に集中できるよう広報の支援を行う事が私の一番の担いでした。

広報媒体に関しては、各委員会の皆様にアンケート用紙の作成の段階でどの媒体で各例会・事業に参加して頂いたかを盛り込んで頂きました。事業の内容によりチラシが効果のある場合、メンバーの皆様の声掛けが効果がある場合と色々ありますが、ポスターを制作して配付、そして、貼り付けて終わる方法では参加者の増加は見込めません。また、第3回郷土グルメグランプリ等、広報費に予算を多く当てられるような予算を多く取れる事業に関しては、これまでの広報媒体だけではなく、より効果の出る媒体を模索するべきだと思います。また、アンケート用紙の作成方法や、記載の仕方で違う結果になったのではと感じました。本年度残してしまった問題点とともに、広報媒体、そして本年度新たにつながりのできた各メディア様とのつながりを次年度にしっかりつなげていくことが私のできる最後の使命だと考えます。

最後になりますが、広報活動ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。

②事業計画 3

『ホームページ及び Facebook の管理・更新』

昨年の引き続き、ホームページに加え Facebook も活用し、私たちの活動を地域へ伝えてまいりました。一般の市民の皆様も公開するということで掲載する写真や文章の表現で悩むことも多々あり、広報の難しさを改めて感じました。ホームページのアクセス数に関しては例年伸び悩んでおります。残念ながらバナーの貼り付け等だけではアクセス数の大幅な向上には繋がりませんでした。ですが、ホームページは私たちの活動を広く伝えることできる広報手段です。本年度できなかった大幅なアクセス数向上のために、広報局長としての任務を終了しても引き続きお手伝いできればと思います。

Facebook に関しまして、大幅に「いいね！」数を伸ばすことができませんでした。しかし、一例を上げさせていただけば、8 月度公開例会で子供たちの様子をこまめに掲載させて頂きましたところ、保護者の皆様からのコメントや「いいね！」を頂くことができました。宿泊を伴う例会でしたので、掲載をみて少しでも心配が取り除けたのではと思います。こういった取り組みが出来たのも、局となり単独で広報活動を専門に行えた結果だと思います。また、ホームページ上に一宮青年会議所ブログのバナー貼り付けを行い、野杵理事長、渉外委員会と協力しブログを行いました。ご協力頂きましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

ブログの更新もホームページのアクセス数に大きく影響していると思います。是非とも今後も Facebook とブログを活用し、私たちの地域への想いを伝えていただき、存在感の向上を目指し続けていただきたいと思います。

最後になりますが、ホームページの更新、Facebook ページの「いいね！」、シェア等ご協力いただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

②事業計画 4

『JC だよりの発行』

野杵理事長、野田理事長候補者を始めとする委員長の皆様には原稿のご協力をいただき誠にありがとうございました。皆様のご協力により期限通りに発行することが出来ました。

本年度の JC だよりでは、よりわかりやすく一宮青年会議所の活動を知って頂くために対内向け、対外向けと二つに分けさせていただきました。原稿をご提出いただいた皆様にはご負担をおかけしましたが、最大限、私たちの活動と地域(まち)への想いを伝えることができたと思います。ホームページ、Facebook 以外で私たちの活動を多くの方に知っていただくためには JC だよりのような配付物は必要ではありますが、広報の難しさ、そして、もっと工夫が出来たのではないかと反省が残る結果となってしまいました。その反省も含め、次年度へしっかりと引き継いでまいりたいと思います。

ありがとうございました。

4. 最後に

広報が単独で局となり、広報に関する事にアドバイスをしていく。自分の担いを理解したときは大きなプレッシャーを感じました。局として広報のスペシャリストでなければならない。各委員長の広報に関する負担を軽くする。その点に気をつけて一年間活動してまいりました。

実際に広報の難しさを事業ごとに感じ、行き詰っていきとき、そばにいてくれたのは総務室のメンバーでした。残念ながら広報局のメンバーは一人きりでしたが、支えてくれる総務室メンバーの優しさ、そして、少人数で必死に設営を行い無事に終了した時の達成感が私を成長させてくれたと思います。

各メディアとの繋がりは決して一年ではできません。私が広報局長でいられるのは本年だけですが、一宮青年会議所の存在感の向上、そして私たちの活動と地域(まち)への想いを伝えるために次年度以降も自分が出来る限りの協力をしてまいりたいと思います。

本当にありがとうございました。

拡大・交流委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長 尾上 宜正
 委員長 眞野 尚人
 副委員長 石川 佳照
 副委員長 東 賢吾
 幹事 野村 和弘
 委員 野々垣聡一郎
 委員 下村 圭司



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回予定者委員会	9月18日	菊 水 会 議 室	①基本方針案について
第2回予定者委員会	10月1日	株式会社アポロ 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について
第3回予定者委員会	10月22日	メディカルプロモーション(株) 会議室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第4回予定者委員会	11月16日	有限会社 桂林 会議室	①基本方針案について ②事業計画2案について ③予算案について
第5回予定者委員会	12月7日	有限会社 桂林 会議室	①基本方針案について ②事業計画2案について ③予算案について ④事業計画4案について
第 1 回 委 員 会	1月10日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 4 について
第 2 回 委 員 会	1月30日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 4 について ③事業計画 5 について
第 3 回 委 員 会	2月17日	有限会社 テル 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 5 について
第 4 回 委 員 会	3月26日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について
第 5 回 委 員 会	4月18日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 4 について ③事業計画 5 について
第 6 回 委 員 会	5月22日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 決算について
第 7 回 委 員 会	6月25日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 4 決算について
第 8 回 委 員 会	6月30日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について
第 9 回 委 員 会	7月23日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 5 決算について
第 1 0 回 委 員 会	8月20日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について ③事業計画 5 決算について
第 1 1 回 委 員 会	9月16日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について
第 1 2 回 委 員 会	10月28日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について
第 1 3 回 委 員 会	11月28日	株式会社アポロ 会議室	①事業計画 1 について ②事業計画 3 について
第 1 4 回 委 員 会	12月24日	有限会社 桂林 会議室	①事業計画 1 について

3. 事業報告

①事業計画 1

会員の拡大(1月～12月)

本年度の拡大目標を24名以上とし、100人LOMにする事と設定しました。また、LOM全員での拡大活動を推進すべく、全委員会の事業計画1に会員の拡大を入れていただく事を依頼させて頂きました。

年初に野杵理事長により一人目の拡大を挙げて頂いた事を皮切りに、定期的な拡大リストの更新・拡大会議を行った事で、上半期だけで20人という、ここ数年で最大となる大きな数字を積み上げることができました。年間を通じて26人という実績を残すことができ、年初に掲げた目標を達成する事ができました。野杵理事長を始め、全メンバーの皆様にご感謝申し上げます。しかしながら拡大活動は単年度で終わるものではなく継続して活動していかなければ意味がありません。本年度学んだ事を次年度以降にしっかりと引き継ぎ、これからも拡大活動に邁進して参りたいと思います。本当にありがとうございました。

②事業計画 2

拡大活動の支援(1月～12月)

一般社団法人一宮青年会議所の会員数は近年増減を繰り返し横ばい傾向にあります。青年会議所活動が地域へ与える影響を更に大きくするためにも、仲間を増やすことこそが最も重要な手段であると言えます。会員の拡大という全ての局・委員会共通の事業計画があり、拡大活動をする事は全会員の共通認識ではありますが、まだまだ全会員の拡大意識が高いとは言いきれない状況にあります。それを実現するためにも、年間を通したより適切な支援・管理・運営方法が必要であり、活動状況の情報を更新・共有する事で拡大活動の取り組みに対する意識が保たれるとともに、実行における問題点の明確化・現状把握をする事で、達成に向けて対応を図る事ができると考えました。拡大ツールとして、既存のパンフレットデザインを改善し、より説明しやすく分かり易い構成としました。またFaceBookのグループページを作成し、現役メンバーだけではなく、OBにも閲覧していただく事で、より多くの拡大情報の発信・共有をする事が出来るようになりました。そして、拡大リストを作成し具体的に拡大候補者の発見から、面談、申込に至る経緯を進捗情報として管理した事で、LOM全体を巻き込んだ拡大活動へと導くことができました。この趣旨にご賛同頂き活動して頂きました全メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

③事業計画 3

姉妹JCとの交流(1月～12月)

姉妹JCである大邱江北青年会議所との交流活動を行いました。今年は8月に来日して頂き、知多半島にて地引網体験とバーベキューを行い、共同作業を通じて親睦を深めました。また、11月には大邱江北青年会議所の記念式典に合わせて訪韓させて頂き、私も含めて、初めての訪韓経験をした新しいメンバーも多く、今後の大邱交流活動に繋がる友情を築く事ができたのではないかと思います。JCを通じて、異文化交流もできる非常に貴重な交流事業だと感じました。この交流がこれから更に発展していく事を願っています。事業にご参加頂いた現役だけでなく、OBの皆様にご場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

④事業計画 4

例会の開催(3月)

「なぜ今拡大が必要なのか？」

日時：3月3日(月)

場所：一宮市総合体育館 多目的室

一宮市青年会議所の会員数は近年70人程度で推移していますが、3月度例会では、全会員が青年会議所活動の意義、拡大活動の大切さを改めて学ぶ事で、自分達の活動に自信を持ち、拡大対象者に自信をもってJC活動を伝える事が出来るようになる事を目的とした例会を開催しました。例会を三部構成とし、第一部では、当委員会よりプレゼンテーションを行い、一宮青年会議所の現状を知り、改めて2015年に100人LOMにするという目標を掲げました。第二部では、公益社団法人日本青年会議所2013年度未来グループ拡大委員会委員長 杉浦卓君を講師にお招きし、日本全国の会員状況・拡大活動について学びました。第三部では林輝暢先輩にご参加頂き、杉浦講師と共にパネルディスカッションを行いました。一宮青年会議所としてどう拡大活動を実践して行けば100人LOMに成れるのかを会場を巻き込んで議論しました。

設営にあたっては時間不足・不備や反省点が少々ございましたが、皆様の御支援、御協力のおかげで何とか無事に例会を終えることができました。心よりお詫び申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

⑤事業計画 5

例会の開催(6月)

「迷わず閉じろ！閉じれば開くさ心の目！ありがとう」

日時：6月19日(木)

場所：一宮市総合体育館 いちい信金アリーナB

現在の一宮青年会議所は、過半数が3年未満会員で成り立っています。LOMメンバー同志の交流や繋がりや委員会単位、入会同期などの繋がりや、深く築かれていますと感じますが、まだ交流の浅い会員も多く、全員が決して強い絆で結ばれているとは言いきれません。活力あふれるLOMの創造を実現するためには、今まで以上にお互いを知り、円滑なコミュニケーションを取る事ができる様に成る事で、一宮青年会議所全会員が、一つのチームとして機能するように成ると考えました。

日頃情報の8割を得ていると言われている視覚。この例会では参加者は全員アイマスクをし、その感覚を敢えて奪う事で、メンバー同士が声を掛け合い、それを信じて行動し目的を達成していく事を通じて今までにないメンバー間の交流が生まれ、最後に全員の力で一つの物を完成させる事により、更なる友情や絆を育む事ができました。当日はリハーサルでは想定できなかった事態も発生しご迷惑をおかけする場面もあり、深く反省しております。しかしながら大きなけがもなく、大変盛り上がり、ご参加頂いたメンバーが本当に笑顔を見せて一生懸命プレーしている姿には感動しました。この例会で一層深まった、LOMメンバー同志の友情と絆が間違いなく2014年下半期の一宮青年会議所の活動へ繋がった事と思います。ご参加頂きましたメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

4. 最後に

本年、拡大・交流委員会は、活力あふれるLOMの創造を実現するために、100人LOMの達成という拡大目標と、LOMの過半数が入会3年未満となっている現状の中で、仲間の友情や絆を深くする交流事業の2つの柱を掲げ活動して参りました。候補者段階では、手探りの中、他LOMの拡大セミナーに何度も足を運び手法を学び、日本青年会議所のHPより全国で拡大が成功しているLOMの拡大ツールを参考に、取り入れるべきものは全て取り入れ、誰にでもでき、且つ永続性のある拡大方法を目指し、2014年に臨ませて頂きました。その結果は事業計画1で述させて頂いた通り、大変嬉しい結果となり、微力ながら私なりにLOMに貢献できたことを誇りに思います。ご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。

また、交流事業においては、6月の交流例会だけではなく、8月、11月の大邱江北青年会議所との交流事業への準備もあり、一年を通して、気の休まる時は無く、非常に忙しかったと感じていた半面、振り返りをする今となっては、溢れ出てくる思い出が留まる事が無く、非常に濃い時間を過ごしていたのだと改めて感慨深く感じております。こういった交流の場を通じて、皆様の友情や絆が深くなっていく様子を拝見させていただく事ができ、設営を通じて大変多くの学びと経験をさせていただく事ができました。ありがとうございました。

最後になりますが、拡大経験も無く、入会よりこれといった活躍もしていない私に声を掛けて頂き、このような貴重な経験を通じて成長させて頂いた尾上担当副理事長には、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、一年間、私の未熟なリーダーシップにも拘らず、委員会運営を支えて頂いた委員会メンバーの皆様本当にありがとうございました。そして、今年一年間お願いばかりではございましたが、ご参加・ご協力いただきました一宮青年会議所の皆様本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

渉外委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	尾上宜正
委員長	野村一磨
副委員長	石黒秀幸
副委員長	伊東大徳
幹事	岩田祐治
委員	石川昌臣
委員	小寺浩至



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回候補者委員会	9月24日	菊水会議室	① 基本方針（案）に関する件
第2回候補者委員会	10月2日	株式会社 アポロ 会議室	① 基本方針（案）・事業計画（案）・予算（案）に関する件 ② 事業計画2（案）に関する件 ③ 事業計画3（案）に関する件 ④ 事業計画4（案）に関する件
第3回 候補者委員会	10月22日	株式会社 アイライフ 会議室	① 基本方針（案）・事業計画（案）・予算（案）に関する件 ② 事業計画2（案）に関する件 ③ 事業計画3（案）に関する件 ④ 事業計画4（案）に関する件 ⑤ 事業計画5（案）に関する件
第4回 候補者委員会	11月16日	株式会社 アイライフ 会議室	① 基本方針（案）・事業計画（案）・予算（案）に関する件 ② 事業計画2（案）に関する件 ③ 事業計画3（案）に関する件 ④ 事業計画4（案）に関する件 ⑤ 事業計画5（案）に関する件
第5回 候補者委員会	12月2日	株式会社 アイライフ 会議室	① 基本方針（案）・事業計画（案）・予算（案）に関する件 ② 事業計画3（案）に関する件 ③ 事業計画4（案）に関する件 ④ 事業計画5（案）に関する件
第1回 委員会	1月6日	株式会社 アイライフ 会議室	① 2014年度組織図に関する件 ② 事業計画1に関する件 ③ 事業計画2に関する件 ④ 事業計画3に関する件 ⑤ 事業計画4に関する件 ⑥ 事業計画5（案）に関する件 ⑦ 事業計画6（案）に関する件
第2回 委員会	1月27日	一宮スポーツ文化センター 会議室	① 事業計画1に関する件 ② 事業計画2に関する件 ③ 事業計画3に関する件 ④ 事業計画4に関する件 ⑤ 事業計画6（案）に関する件
第3回 委員会	2月17日	株式会社 アイライフ 会議室	① 事業計画1に関する件 ② 事業計画2に関する件 ③ 事業計画3に関する件 ④ 事業計画4に関する件 ⑤ 事業計画6（案）に関する件 ⑥ 事業計画5の事業報告に関する件
第4回 委員会	3月25日	株式会社 アイライフ 会議室	① 事業計画1に関する件 ② 事業計画2に関する件 ③ 事業計画3に関する件 ④ 事業計画4に関する件
第5回 委員会	4月23日	株式会社 アイライフ 会議室	① 事業計画1に関する件 ② 事業計画3に関する件 ③ 事業計画4に関する件 ④ 事業計画6に関する件 ⑤ 事業計画2の事業報告に関する件
第6回 委員会	5月29日	一宮総合法律事務所 会議室	① 事業計画1に関する件

第 7 回 委 員 会	6 月 25 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 に関する件 ⑤ 事業計画 2 の事業報告に関する件 ① 事業計画 1 に関する件
第 8 回 委 員 会	7 月 23 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 に関する件 ⑤ 事業計画 7（案）に関する件 ⑥ 事業計画 2 の事業報告に関する件 ① 事業計画 1 に関する件
第 9 回 委 員 会	8 月 25 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 に関する件 ⑤ 事業計画 7（案）に関する件 ① 事業計画 1 に関する件
第 10 回 委 員 会	9 月 22 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 に関する件 ⑤ 事業計画 7（案）に関する件 ① 事業計画 1 に関する件
第 11 回 委 員 会	10 月 20 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 の事業報告に関する件 ⑤ 事業計画 1 に関する件
第 12 回 委 員 会	11 月 24 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 の事業報告に関する件 ⑤ 事業計画 7 の事業報告に関する件 ① 事業計画 1 に関する件
第 13 回 委 員 会	12 月 18 日	一宮総合法律事務所	会 議 室	② 事業計画 3 に関する件 ③ 事業計画 4 に関する件 ④ 事業計画 6 の事業報告に関する件 ⑤ 事業計画 7 の事業報告に関する件 ① 事業計画 1 に関する件

3. 事業報告

①事業計画 1 会員の拡大(1 月～12 月)

笑顔と活力にあふれた一宮青年会議所を維持するためには会員の拡大が不可欠であると考え、一年間、会員拡大活動を行ってきました。しかしながら、渉外委員会として目標人数に達しなかったことを深く反省しお詫び申し上げます。最後の最後まで情報提供を含め、拡大活動を積極的に行って下さいました委員会メンバーの皆様にご心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

②事業計画 2 第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者募集 (1 月～3 月)

第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」の乗船者募集を行わせて頂きました。本年は、ロータリークラブやライオンズクラブ等の他団体の例会に参加させて頂き PR 活動を行わせて頂く等、広く一般市民の方へ向けて情報発信をさせて頂きました。最終的に一宮青年会議所より 4 名の一般乗船者を輩出することができました。野杵理事長を始めとする多くの会員の皆様よりご協力いただきましたことにつき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

③事業計画 3 各種大会・事業・会議への案内及び参加の促進(1 月～12 月)

本年度、渉外委員会は、会員の皆様に対して、各種大会・事業・会議へ参加する目的意識を高め参加率の向上を図るため、積極的な参加を促しました。入会年度の浅い会員が多数を占める LOM の現状に鑑みて、大会等の開催趣旨や意義、その魅力を知ってもらえるような情報発信の方法を試みました。また、参加したくなる雰囲気を一宮青年会議所全体に広げられるよう設営にも工夫を凝らさせて頂きました。1 年間を通じて、多くの会員の皆様のご理解とご協力のもとに本事業を無事に終えることができたことにつき感謝申し上げます。ありがとうございました。

④ 業計画 4 出向者の支援(1 月～12 月)

本年度、渉外委員会は、出向者の立場に立って真に必要なとされる出向者支援を行うべく一年間活動をして参りました。例年行っていることをただ行うのではなく、出向者にとって必要な支援とは何かを真剣に考えて柔軟に対応できるよう心がけました。出向者の皆様の活動内容を会員に伝えることは、その活動をこの一宮に広げる意味があり、また、会員各自が出向者を支援しようとする意識を高めることに繋がると考え、出向者の活動についての情報発信について特に重きをおき活動を行いました。出向者の皆様が無事一年間の出向活動を終えられ、多くの成果を上げられましたことにつき渉外委員会としても我がことのように嬉しく思います。1 年間、本当にお疲れ様でした。そして、私たちの出向者支援活動に対して、多大なるご理解とご協力を賜りました会員の皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑤ 業計画 5 例会の開催 (2 月)

開催場所 ホテル サンプラザシーズンズ体育館
本年度、一宮青年会議所から出向する皆様に対して、一年間を通じて、会員全員で出向者の支援を行っていくことができるよう例会を開催しました。例会では、出向者の皆様から出向に向けた意気込みや目標を語ってもらい、会員全員で出向者支援を行っていくことを確認し合った後、出向者支援のスローガンを決定しました。最後に、出向者の思いと会員の出向者支援の思いを巨大な書道作品として制作し、互いの気持ちを確認し合うことができました。一宮より遠く離れた地で

の開催となりましたが、本当に多くのメンバーにご参頂きましたことにつき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑥ 事業計画 6 第 41 回青年の船「とうかい号」の支援(4 月～8 月)

第 41 回 JC 青年の船「とうかい号」は「未来の創造～一歩踏み出す自身への挑戦」をテーマに、6 月 8 日から 6 月 15 日までの間、寄港地サイパンでの寄港地活動と洋上研修を無事終えて帰港いたしました。乗船者の皆様を 1 週間もの間、「とうかい号」に快く乗船させて頂いた企業様には、心より御礼申し上げます。4 名の乗船者の皆様には、4 月愛知ブロックオリエンテーションから始まり、帰港するまでの 3 ヶ月間お忙しい中、すべての事業に参加して頂くことができました。乗船者の皆様が何事にも前向きに、真剣に取り組まれている姿に大変心打たれました。乗船者の皆様が近い将来、各企業・地域におけるリーダーとして活躍されることを心よりご祈念申し上げます。乗船者を支援するためにご協力頂きました一宮青年会議所の多くの会員の皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑦ 事業計画 7 例会の開催(11 月)

新たな学びと絆を会員間で共有し一宮青年会議所の更なる発展に繋げるために例会を開催しました。例会の前には出向者の皆様にインタビューをさせて頂き、その様子を会員に対して映像にて事前配信しました。また、例会内においても出向者の皆様に一年間の活動を振り返って頂き、今年一年間で学んだことや気づき、出向先での様々な出会いについて、語って頂きました。また、各種大会・会議・事業の様子を映像で振り返りました。最後に、会員全員で次年度以降の出向活動に向けて会員一丸となって行っていくことを確認しました。出向者の皆様及びご参加頂きました多くの会員の美案様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

4. 最後に

2014 年度の渉外委員会は、6 名のメンバーと担当副理事長を含め 7 名で活動させて頂きました。最終年度に委員長を拝命し、一宮青年会議所の理事・委員長としてその責任の重さとやりがいを感じさせて頂いた一年間でした。そして、渉外活動及び委員会運営の難しさを痛感した 1 年でもありました。候補者段階よりスタッフを始め委員会メンバーの皆様には多大なご迷惑をおかけしましたが、皆様の支えがあったおかげで最後までやり遂げることができました。担当副理事長及び委員会メンバーの皆様には、本当に多くの時間を費やして頂いたこと、一年間共に過ごせたことを心より感謝しております。本当にありがとうございました。この貴重な経験を忘れることなく、今後の活動に活かしていきたいと思ひます。

活気あふれる郷土創造委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	野田周平	近藤篤俊
委員長	高月英昭	鈴木強司
副委員長	平松道介	鈴木昌弘
副委員長	後藤 徹	竹山 聡
幹事	星山隼輝	樋田昌泰
委員	池戸英嗣	早川 彰
委員	伊藤尚弘	松田樹直
委員	小松明生	



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回予定者委員会	9月20日	菊 水 会 議 室	① 基本方針案について
第2回予定者委員会	10月2日	一宮市市民会館 第4会議室	① 基本方針案・事業計画案・予算案について
第3回予定者委員会	10月22日	一宮勤労福祉会館 第2会議室	① 基本方針案について ③ 事業計画案について ② 予算案について ④ 事業計画2案について
第4回予定者委員会	11月13日	花 丘 飯 店 会 議 室	① 基本方針案について ③ 事業計画案について ② 予算案について ④ 事業計画2案について
第5回予定者委員会	12月10日	一宮市市民会館 第1会議室	① 基本方針案について ④ 事業計画案について ② 予算案について ⑤ 事業計画2案について ③ 事業計画3案について ⑥ 事業計画3案について
第1回委員会	1月10日	一宮スポーツ文化センター第4会議室	① 組織図、委員会構成員、事業計画、予算について ④ 事業計画1について ② 事業計画2案について ⑤ 事業計画3案について ③ 事業計画4案について
第2回委員会	1月30日	一宮勤労福祉会館 第2会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第3回委員会	2月26日	一宮勤労福祉会館 第2会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第4回委員会	3月27日	一宮市市民会館 第1会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画3について ② 事業計画4について
第5回委員会	4月18日	一宮市生涯学習センター A 会議室	① 事業計画1について ② 事業計画2について ③ 事業計画3について ④ 事業計画4について
第6回委員会	5月19日	一宮市生涯学習センター F 会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第7回委員会	6月27日	一宮スポーツ文化センター第5会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第8回委員会	7月16日	一宮市市民会館 第4会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第9回委員会	8月20日	一宮スポーツ文化センター第7会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4について
第10回委員会	9月25日	産業体育館 第2会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4決算について
第11回委員会	10月14日	高月電気工事 会議室	① 事業計画1について ③ 事業計画2について ② 事業計画3について ④ 事業計画4決算について

第 1 2 回 委 員 会	11 月 28 日	産 業 体 育 館	第 3 会 議 室	① 事業計画 1 について ② 事業計画 3 決算についで	③事業計画 2 について ④事業計画 4 決算について
第 1 3 回 委 員 会	12 月 22 日	高 月 電 気 工 事	会 議 室	① 事業計画 1 について ② 事業計画 3 決算についで	③事業計画 2 について

3. 事業報告

①事業計画 1

一年間を通して会員を増やすために委員会で拡大活動を行ってきました。青年会議所について説明をさせていただきましたが結果としては出てこず拡大の難しさを痛感いたしました。委員会として拡大できたことはうれしく感じております。ありがとうございました。

②事業計画 2

今回各地の青年会議所の方々と話す機会をいただきました。各地の特色を生かし色々な手法で食の祭典を計画していました。地域の産物を使用していくのももちろんですが、本番までの広報の仕方、また食だけではなく来場していただいた方たちにより楽しんでいただける会全体の構成、また地域に広げていけるように地域の人たちとの連携など一宮青年会議所では行っていない手法が数多くありとても刺激を受けました。

地域でおこなっているご当地グルメも調査しました。地域で昔から愛されているグルメを取り上げている地域、自分たちで考案し発展させているグルメなど色々ありました。共通していることは色々な団体の方たちが地域を盛り上げるために企画をし広報などをうまく活用しながら発信を日々おこなっていることだと考えられました。

ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリから誕生したご当地グルメが多くの人たちに浸透し広がっていくように今後の継続事業の計画を立てることは必要だと感じました。

調査研究の内容が今後の ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ事業立案に活用していただきたいと思います。

③事業計画 3

例会の開催

6 月から出店者募集を行い 10 月の本番まで長い時間をかけての事業となりました。

7 月の出店者説明会に向け数多くの店舗の方たちに声をかけることから始めました。出店していただくにあたって説明をさせていただきましたが、露店営業を経験されている方は少なく出店を断られることが多くありました。出店していただくためにより細かく説明をし前向きに考えていただけるような準備が必要だと感じました。その中でもグルメグランプリを知っている方もお見えになり、第 1 回目、第 2 回目と継続して開催している成果が出てきていると実感することもできました。

今回初めての試みとして共催として一宮法人会の方々にもお力添えをいただきました。打合せをさせていただきながら進めさせていただきました。グルメグランプリ当日は大盛況に終わりご用意いただいた景品もグルメグランプリ終了前には完売をしている状況でありました。

一宮市長 谷一夫様をご来賓としてお招きすることができました。当初短い時間でのご出演とのお話ではありましたが、予定より多くの時間いていただくことができ、出店品を試食していただくこともできました。一宮市の代表者に来ていただくことでグルメグランプリを多くの方に発信できたと感じています。

また一宮市の地域活性化にご尽力をされている方々に参加して頂く事もでき、グルメグランプリと一緒にあって盛り上げていただくことができました。野田養鶏園から協賛として卵をいただき会場の方からも喜んでいただきました。また一宮の 37 社の企業様からご協賛をいただき、グルメグランプリを開催させていただくためのお力添えをいただきました。多くの時間をかけて地域の方たちの協力をいただけたことで事業を行うことができまし

た。

当日は晴天にも恵まれ 5000 人以上の方に来場していただけたことは継続事業として地域の方たちに周知していただけている成果だと思います。

一宮の産品を使用し多くの出店品を創作していただき第 3 回 ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリを開催させていただきました。出店品目については偏ることなく色々なジャンルを準備させていただきましたが、結果としては通年とあまり変わりが無い結果になったと感じています。私個人としては今回第 3 回 ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリを経験させていただきましたが準備の段階から多くの方と接する機会の中で、ICHINOMIYA 郷土グルメグランプリ自体が一宮ブランドになってきているのではないかと感じました。多くのことを発信していけるツールとして活用していくことで一宮市を活気あふれる郷土に還元していくことができると感じました。

開催場所:138 タワーパーク イベント広場

③ 事業計画 4

一宮市の中心市街地を活性化するために、本町商店街の近辺に居住ないしは店舗を営んでいる方々を主な対象者として、笑顔溢れる地域となるべく意識改革を目的として例会を開催させて頂きました。例会の内容としましては、岡崎市の商店街で実際に経営され、地域の現状を自分たちの力で良くしていこうと活動されている松井洋一郎氏の講演は非常に分かりやすく、参加していただいた方々に関心を持っていただけた内容であったと感じています。ただ、第 1 部の委員会発表では中心市街地の現状問題点を委員会メンバーで調査・研究を行いました。例会の内容を、商店街の方々、お 1 人ずつに案内をして回った際に、様々な声をいただきました。何だか楽しそうな説明会を行っていただけるのだね。時間ができたら会場も近いし参加してみたいな。内容をもっと細かく教えてなどの興味関心を抱かれる方。逆に、自分たちの商店街は昔から集客等のやり方を変えることなく行ってきたので、自分たちが過去から引き継いできた商売の仕方が正しいので、中心市街地の活性化は必要が無い。私たちの弱みを、この説明会で話しをされるのではないかなと言うような声もありました。例会終了後には参加者から地域づくりの事業を行う際は声かけして欲しいという依頼や、まちゼミを開催する方法、事業内容の問い合わせ等の反響を見る限りでは、地域にインパクトを残せたのではないかと思います。

中心市街地の方たちは、商店街という特別なコミュニティで昔から活動されているので、自分たちの進むべき方向は固まっているという印象を当初は抱いていましたが、自分たちの店舗を切り盛りしながらどのように中心市街地を活性化していくべきか模索しているように感じました。まず話し合い、同じ土俵に立つことが重要だと思います。地域の方たちとともに考え、地域を巻き込んでいくことが中心市街地活性化への道筋になり、地域の方々と活性化への活動を継続していくことにより少しずつ地域が明るい方向へ動き出し、進んでいくのではないかと感じることができました。ありがとうございました。

開催場所:尾張一宮駅前ビル(iビル) 7 階ンビックホール

4. 最後に

本年、活気あふれる郷土創造委員会は、意識改革うながし、また一宮ブランドを立ち上げ発信することで活気あふれる地域を創造することを目的とし活動をして参りました。事業を行っていくにあたり行政の側から尽力されている方、地域で活動されている方、また一宮で経営をされている方など多くの方とお会いし話をさせていただく機会をいただきました。各立場から一宮を活気あふれる地域にするためにはどうすればよいか。とご意見をいただくことができました。

一宮青年会議所だけではなく多くの方々に事業に参加していただき活動できたことで活気あふれる地域に貢献できたと考えています。

今後とも一宮青年会議所の活動を通して一宮の活性化のために貢献していきたいと思います。

一年間活気あふれる郷土創造委員会にお力添えをいただいた多くの方に感謝いたします。

ありがとうございました。

生きる力に満ちた青少年共育委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	安井 祥人	委 員	大宮 有貴
委 員 長	土川 功介	委 員	松村 奈那子
副 委 員 長	加古川 和也	委 員	森 功一郎
副 委 員 長	酒井 真一郎	委 員	安田 敏宏
幹 事	倉田 健嗣	委 員	山崎 義則
委 員	青山 広己	委 員	吉次 和彌
委 員	岩満 誠	委 員	木村 友里



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回予定者委員会	9月20日	菊 水 会 議 室	① 基本方針案について
第2回予定者委員会	10月3日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について
第3回予定者委員会	10月24日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画1案について
第4回予定者委員会	11月19日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について
第5回予定者委員会	12月6日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①基本方針案について ②事業計画案について ③予算案について ④事業計画2案について
第 1 回 委 員 会	1月4日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②組織図について
第 2 回 委 員 会	1月9日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 3 回 委 員 会	1月30日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 4 回 委 員 会	2月24日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 5 回 委 員 会	3月26日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 6 回 委 員 会	4月21日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 7 回 委 員 会	5月27日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第 8 回 委 員 会	6月23日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2について
第9回公開委員会	7月25日	中 野 建 設 (株) 会 議 室	①事業計画2について
第 1 0 回 委 員 会	8月25日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第 1 1 回 委 員 会	9月24日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第 1 2 回 委 員 会	10月28日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について ② 業計画2決算について
第 1 3 回 委 員 会	11月27日	(株) 土 川 油 店 会 議 室	①事業計画1について

3. 事業報告

①事業計画1 会員の拡大（1月～12月）

本年、生きる力に満ちた青少年共育委員会では、生きる力を共育するため、ともに活動する会員を拡大するという目的のもと1年間活動してまいりました。

事業や例会では拡大活動を取り入れて活動することは出来ませんでしたが、毎月の委員会の中で、リストアップ、アプローチ、進捗確認をしっかりと行い活動を展開してきました。

結果として4名の目標に対し3名拡大と目標に達することは出来なかったことは大変残念で、申し訳ない気持ちでいっぱいです。これからも拡大活動の重要性をしっかりと認識して活動を続けていきたいと思います。

②事業計画2（生きる力に満ちた青少年の共育）

子どもたちの生きる力の共育を目的に、『サマーアドベンチャー～夜空にえがく！僕らのシンボル・僕らの想い～』と題した、公開事業、公開例会を開催しました。

子どもたちの生きる力を育むためには、様々な困難にも負けないチャレンジスピリットを育むことによる自らの成長、そして周りの人たちとのつながりの中で思いやりの心を育む、この2つが必要だと考え、キャンプという手法を選択しました。

野外で生活をするということには、普段の生活では感じることはできない様々な困難が有り、自分ひとりでは生きていくことはできないと感じさせられます。だからこそ様々なことに挑戦してもらいたい、周りの人と協力をし、助け合い励ましあいながら生きていくということの大切さを、少しでも参加した子どもたちに感じてもらいたいとの一心から、本事業例会を組み立てていきました。

6月14日（土）に行った公開事業①では、主にチーム作りに主眼を置き、初めて集まった80名の子供たちがこれ方ともに活動するチームの仲間たちと打ち解けられるように、チーム対抗ゲームや、チーム会議を行いました。保護者の方には本事業の趣旨、目的をしっかりと理解していただくため、保護者会を開催しました。

また、日本青年会議所の提供する徳育ゼミナールを参考に、子どもと保護者の方と一緒にやって行こうという思いやりワークを行い、思いやりの心がいつどんなときに生まれるのかを一緒に考えてもらいました。

7月13日（日）に行った公開事業②ではキャンプ当日に向けて、チームの目標作成や、キャンプ初日の夜に向けて、子どもたちのチャレンジと、協力作業の集大成としてのバンブーランタンの作成を行いました。

バンブーランタン作成のため、竹林から竹を切り出し、各チームごとにチームのシンボルマークを3m×1mの竹のキャンバスに絵を描いてドリルで穴を開ける作業を半日かけて行いました。

そして、8月2日（土）～3日（日）にはサマーアドベンチャー本番を迎え、10個のチーム毎に一宮駅を出発し、電車と徒歩で瀬戸の定光寺キャンプ場を目指しました。途中年少の子どもたちの中には荷物を持つことが出来なくなってしまった子供もいましたが、80名全員が無事にキャンプ場まで自力で到達しました。

到着後は、自分たちが寝るテントの設営や食事の準備を行い、そして夜のバンブーランタン点灯に向けて、7月の公開事業で作成したバンブーランタン全チーム分を繋げて、縦3m×横10mの巨大な壁画にして全員の力で立ち上げました。

夜になってから、全員で作成したバンブーランタン、そしてチームごとのメンバーの名前の入ったフレンドツリーの点灯式を行い、このキャンプの思い出や印象をしっかりと焼き付けてもらうとともに、各チーム毎に、チームシンボルにかけた想いや、ここまでの苦労や大変だったことを発表してもらいました。

2日目にはキャンプ場を出発し、途中定光寺に立ち寄り住職さんからお話を聞いた後に事業例会の振り返りをしてもらい、保護者の方から受け取ったメッセージへの返事を書いてもらいました。

2日間という長丁場の例会でしたが、80名全ての子どもたちが大きな怪我等も無く、最後まで活動が続け、様々なチャレンジや、周りの仲間との協力や協同の中で思いやりの心を育んでもらえたことと確信しています。

LOMメンバーの皆様には2日間を通して地域の大人として子どもたちと接していただき、温かく見守りながらも時には厳しく接していただき、メンバーの皆様の協力なくしては目的の達成はなかったと考えております。

体力的にも大変な思いをさせたかとは思いますが、皆様のおかげをもちまして無事に例会を終えることができました。本当にありがとうございました。

開催場所

公開事業① スポーツ文化センター 小ホール

公開事業② 大野極楽寺公園

公開例会 定光寺キャンプ場

4. 最後に

子どもたちの生きる力を共育するという目的のもと、1年4ヶ月活動をしてまいりましたが、こうして振り返ってみると生きる力を育むという点についてはそれなりに達成できたという思いはありますが、共育という点についてはやり残したという気持ちが大きく、反省しなければならない点だと考えています。

青年会議所としての青少年教育ということは何なのかを何度も何度も考えさせられ、非常に学びの多い1年でした。

最後になりますが、基本方針、議案作成、そして事業の準備段階まで、多面に渡りご指導をいただきました安井担当副理事長、ほぼ毎週のように集まって意見を交わし、準備にお付き合い頂きました委員会スタッフ、委員会ではたくさんのご意見をいただき、そして準備や当日の設営にご尽力いただきました委員会メンバーの皆様、議案に対してたくさんのご意見、ご指導をいただきました理事会構成メンバーの皆様、そして事業例会の当日、子ども達とともに大変な活動をしていただきました野杵理事長を始めLOMメンバーの皆様に関心から感謝申し上げます。

そして、今回のサマーアドベンチャーに参加していただいた80名の子ども達に感謝するとともに、今回参加したことが思い出となり、少しでも成長できるきっかけとなっただけなのなら幸いに思います。

本事業例会に携わった全ての方に心から感謝申し上げます。本当に本当にありがとうございました。

経営資質向上委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	服部 良太	委 員	石井 隆史
委 員 長	森 一彦		伊藤 基児
副 委 員 長	大宮 和弘		尾関 利規
副 委 員 長	吉田 悟		馬場 和也
幹 事	今西 達也		村井 伸仁
委 員	足立 洋一		森 大介
	飯盛 好晃		



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容
第1回予定者委員会	9月18日	菊 水 会 議 室	①基本方針案について
第2回予定者委員会	9月30日	森吉通運株式会社 本社会議室	①基本方針案、事業計画案、予算案について
第3回予定者委員会	10月21日	森吉通運株式会社 本社会議室	①基本方針案、事業計画案、予算案について
第4回予定者委員会	11月13日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画2について ②事業計画3について
第5回予定者委員会	12月3日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画2について ②事業計画3について
第6回予定者委員会	12月26日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第 1 回 委 員 会	1月10日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第 2 回 委 員 会	1月29日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第 3 回 委 員 会	2月26日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第 4 回 委 員 会	3月26日	尾張一宮駅前ビル「i-ビル」 小会議室	①事業計画1について ②事業計画2について ③事業計画3について
第 5 回 委 員 会	4月23日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 6 回 委 員 会	5月27日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 7 回 委 員 会	6月23日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 8 回 委 員 会	7月22日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 9 回 委 員 会	8月20日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 1 0 回 委 員 会	9月21日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画3について
第 1 1 回 委 員 会	9月25日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について ③事業計画3決算について
第 1 2 回 委 員 会	10月29日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画2について ②事業計画2決算について ③事業計画3決算について
第 1 3 回 委 員 会	11月28日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について ②事業計画2決算について
第 1 4 回 委 員 会	12月26日	森吉通運株式会社 本社会議室	①事業計画1について

3. 事業報告

①事業計画1 会員の拡大（1月～12月）

事業計画1では、より多くの青年経済人とともに青年会議所活動を行うために、会員の拡大活動を行いました。

しかしながら、委員会メンバーの皆様にもご協力いただき情報収集、勧誘活動等を行ったものの、十分な結果には結びつけることが出来ず、年間を通じて1名のみ拡大となってしまうことは誠に残念でなりません。

取組の不足を反省するとともに、今後は拡大活動にあたって青年会議所の魅力とは何なのか、自らの姿勢をもって示せるよう、一層精進して参りたいと思います。

②事業計画2 未知の可能性を切り開く チャレンジスピリットの養成（4月）

事業計画2では、未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットを養うため、果敢に慣例やしがらみに挑み新たな市場を切り開くことで大きな成功をおさめられた、松井証券株式会社代表取締役社長松井道夫氏をお招きし講演会等の事業を実施いたしました。

本事業は例会当日、参加者の方々に経営分析手法を用いた自己分析を行っていただき、松井氏の体験を踏まえた講演をお聞きいただいた上で、後日参加者ご自身の挑戦へつなげていただくという構成でしたが、例会当日は多数の方にご参加頂き、大きなトラブルもなく盛況のうちに講演会を終えることが出来ました。

一方、その後の追跡調査の段階では、例会に参加いただいた一般参加者様へのインタビューを実施し、挑戦への取組紹介をメール等で配信させていただきましたが、調整不足等により予定通りの事業実施を行うことが出来ませんでした。その結果、最終アンケートの回収率が思わしくなく、事業の内容を実際の挑戦に活かしていただけたかという検証は不十分なものとなってしまう、大きな反省材料を残しました。

しかしながら、本年度最初となった公開例会に多くの一般参加者にご参加いただき、アンケート等でも事業内容に一定に評価をいただけたことは、講師の松井様はもちろんのこと、事業を支えて頂いた委員会メンバーやご協力いただいた会員の皆様のおかげであると深く感謝しております。一連の至らぬ点を反省し今後に生かすとともに、事業にかかわりのあるすべての皆様に感謝申し上げます。

開催場所 尾張一宮駅前ビル「i-ビル」7F
シビックホール

③事業計画3 西尾張6JC 合同例会（講演会）の開催（9月）

事業計画3では、困難に負けない強い青年経済人を育成するために株式会社大創産業創業者で現社長矢野博丈様をお招きし講演等の事業を行いました。

本事業では、地元企業の実態を知るとともに、矢野社長様の体験を踏まえたご講演とアドバイスをいただくことで、我々青年経済人が様々な困難にどう立ち向かっていくべきかを学ぶという構成で実施しました。

また本例会は西尾張6JC 合同例会として、一宮青年会議所が主管となって事業を行いました。西尾張エリアの他青年会議所の所属企業を知るという意味も込め、事前にエリア内6青年会議所の所属メンバー企業への実態調査インタビューを行い、例会当日に発表をさせていただきました。

当日は多数の西尾張エリア青年会議所の皆様にお越しいただきましたが、一方で一般の方参加者数は伸び悩み、計画員数には至りませんでした。また、講師の方の講演が若干予定していた内容にそぐわない部分もあった点が悔やまれるところです。

しかし、平素なかなか講演をされることのない矢野社長様の貴重なご経験をお聞きする機会を得られ、また他青年会議所の所属メンバーの方のご協力で意外と知る機会の少ない他エリアのメンバー企業の実態をご紹介することができ、参加者の方からは為になった等のお声もいただくことが出来ました。

至らない点も数多くありましたが、なんとか事業を行うことが出来たのも、講師の矢野社長様をはじめ、インタビューをお引き受けいただいた各地青年会議所の皆様、当日ご参加いただきました多くの皆様、そして最後まで私を支えて頂きました委員会メンバーとスタッフ、すべての皆様のおかげかと思えます。本当にありがとうございました。

開催場所 尾張一宮駅前ビル「i-ビル」7F
シビックホール

4. 最後に

本年、経営資質向上委員会は、挑戦と強い青年経済人の育成をテーマに一年間活動を行ってまいりました。

思い返せば、昨年末に委員長の職をお受けしてから、長いようであつという間の1年間だったように感じます。次年度役員紹介の総会の後で、前任の森功一郎委員長から花束を頂いた際、身の引き締まる思いで、傍から見ているのと責を負って実行するのはおおきな違いだと感じます、とご挨拶させていただいたことを覚えています。まさにそれを実感する一年となりました。

まちのためという高い志を持つ青年会議所の事業だからこそ、実務的な準備や対応はもちろんのこと、自分自身の意識の高さや情熱など、ある意味では泥臭いと思えるほどにひたむきに一生懸命取り組まなければ、達成することは難しいのだと感じました。

もっとこうしておけばよかったと感じる点は数え上げればきりがありませんが、そのような反省の中でも、時に厳しくも暖かく指導し委員会を導いていただきました服部担当副理事長、こちらからの指示を待つだけではなく自ら積極的に動いてくれた大宮副委員長と吉田副委員長、そしてブロックアカデミーへ出向し大いに活躍しながらも委員会の為にしっかりと動いてくれた今西幹事という優秀なスタッフに恵まれたこと、また、その若く経験の少ないスタッフを足立委員、飯盛委員、石井委員、伊藤委員、尾関委員、馬場委員、村井委員、森大介委員という委員会メンバーの皆さんが支えて頂いたことは本当にありがたく、ほかにも一年間多くの方に支えられて委員会の活動が行えたことは感謝の念にたえません。

一年間の至らなかった点を反省し今後に生かすとともに、本年関係したすべての皆様から頂戴しました「御陰様」を、わずかなりとも皆様にお返しできるよう、その時々々の立場で全力をもって取り組んでまいりたいと思います。

一年間、誠にありがとうございました。

アカデミー委員会

1. 委員会構成メンバー

担当副理事長	服部 良太
委員長	久保 辰也
副委員長	大島 航
副委員長	福田 晋也
幹事	広瀬 和義
委員	加藤 武志
委員	塚本 浩成



2. 委員会開催報告

内容	月日	場所	内容	
第1回予定者委員会	9月18日	菊水会議室	1 基本方針案について	
第2回予定者委員会	10月3日	名古屋避雷針工業会議室	1 基本方針案について	2 事業計画案について
第3回予定者委員会	10月24日	名古屋避雷針工業会議室	1 基本方針案について 3 予算案について	2 事業計画案について 4 事業計画2案について
第4回予定者委員会	11月13日	名古屋避雷針工業会議室	1 基本方針案について 3 予算案について	2 事業計画案について 4 事業計画2案について
第5回予定者委員会	12月11日	名古屋避雷針工業会議室	1 基本方針案について 3 予算案について	2 事業計画案について 4 事業計画2案について
第1回委員会	1月7日	名古屋避雷針工業会議室	1 予算案について	2 事業計画1について
第2回委員会	1月28日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画3について	2 事業計画2について
第3回委員会	2月26日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画3について	2 事業計画2について
第4回委員会	3月25日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画3について 5 事業計画5について	2 事業計画2について 4 事業計画4について
第5回委員会	4月23日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画4について	3 事業計画2について 4 事業計画5について
第6回委員会	5月27日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画4について	2 事業計画2について 4 事業計画5について
第7回委員会	6月24日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画5について	2 事業計画4について 4 事業計画3決算について
第8回委員会	7月16日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について	2 事業計画5について
第9回委員会	8月27日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画6について	2 事業計画5について 4 事業計画2決算について
第10回委員会	9月24日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画6について	2 事業計画5について
第11回委員会	10月24日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画6について	2 事業計画5について
第12回委員会	11月25日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について	2 事業計画6について
第13回委員会	12月18日	名古屋避雷針工業会議室	1 事業計画1について 3 事業計画6決算について	2 事業計画5決算について

3. 事業報告

①事業計画 2

上期オリエンテーションの開催(1月～6月)

まずは、野杵理事長をはじめとする全てのメンバーの皆様、上期予定者に対して暖かいご指導ご鞭撻、そして仲良くして頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます。

第1回目では、マナーを中心に一宮青年会議所を感じてもらい、2回目では脈々と受け継がれる崇高なる志を感じ取っていただき、3回目には崇高なる志で作られた議案を元にロバート議事法を学び、4回目ではロバート議事法を身に付けると同時に2014年度の崇高なる志を確かなものにし、5回目で能動的に活動をしなければ何もつかめない、何も学べない事を知り、上期同士の友情を育みました。そして6回目で、今まで培ってきた物を確かなものにし、情熱あふれるメンバーへと成長をしたと確信をしております。

しかし、未熟な私ですので、現役の諸先輩方から素晴らしくも厳しい意見を頂きました。例えば、「まだまだ気遣い気配りが足りないのではないか。」「お山の大将になって気持ちよくなっているだけではないのか。」「マナーマナーと言いつつも、自らが出来ていない部分があるのではないか。」等のご指摘を頂いております。そのお言葉を真摯に受け止め下期オリエンテーションにつなげていこうと考えておりますし、上期のメンバーも正会員になったとはいえ、まだまだ未熟でありますので、継続して崇高なる志と能動的に活動をする事の大切さを伝え、情熱あふれるメンバーへと導いてまいります。

最後に、委員会メンバーへ、今年度は公益法人格取得へ向けての公益事業比率から組織図も変わり、委員会メンバーが私を合わせて6名でありました。6名であるメリットやデメリットはありましたが、本当に力を合わせて、車の配車や、受付や、遅参者への対応など、なんとか委員会メンバーだけで乗り切る事が出来ました。そして、いつもそばにいてくれる委員会メンバーには本当に感謝をしております。これからも宜しくお願いいたします。ありがとうございました。

②事業計画 3

例会の開催(5月)

当日はPM6時50分という分りにくい時間帯の開会にもかかわらず、多数のメンバーの皆様にご参加を頂きまして、誠にありがとうございました。例会の趣旨・目的を理解し委員会メンバーにお伝えしたうえで、参加の要請をしていただいた委員長の皆様にも感謝をしております。ありがとうございました。例会においても、真剣にセミナーを受けて頂いているメンバーの皆様を御見受けする事も出来ました。本当に参加をしていただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。

例会の内容ですが、良かった点悪かった点あったかと思えます。良かった点では、アンケート結果にもありましたが、多数の皆様は、「常に目的意識を持ち、その目的を遂行するための決断こそがリーダーとしての資質で最も重要である。」という事を分かって頂けた部分でございます。

しかし悪かった点といえば、私が伝えたいことをトレーナーの皆様と打ち合わせを重ねてきたつもりではありますが、やはり私の勉強不足な部分や、時間に追われていることもあり、より濃い綿密な打ち合わせができず、例会の時間がおしまい、十分に伝えきる事が出来なかったことでございます。タイムスケジュールも含めた打ち合わせをして最後までこのプログラムをやりきれば参加したすべてのメンバーに「常に目的意識を持ち、その目的を遂行するための決断こそがリーダーとしての資質で最も重要である。」ということを理解していただけたのではないかと反省しております。準備はどれだけしても足りないと感じました。この経験を次のオリエンテーションや

卒業例会に必ずや活かして行きたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

それから、アカデミー委員会に卒業例会以外の例会を持たせていただいた、野杵理事長には本当に感謝をしております。議案を作成する大変さや、審議可決を頂くまでの道のりなど、自分自身が再確認をさせて頂きましたし、それをアカデミー委員会の委員長として、2014年入会のメンバーにしっかりと伝えていくことができる材料となりました。本当にありがとうございました。

そして当日参加をしてくれた野杵理事長をはじめとするメンバーの皆様、ご参加ありがとうございました。

最後に、議案の立案からこれまでの間、力をくれた委員会メンバーの皆様には、感謝でございます。ありがとうございました。

③事業計画 5

下期オリエンテーションの開催(7月～12月)

まずは、野杵理事長をはじめとする全てのメンバーの皆様、下期予定者に対して暖かいご指導ご鞭撻、そして仲良くして頂きましたこと、厚く御礼を申し上げます。

第1回目では、上期同様マナーを中心にオリエンテーションを開催し、2回目では崇高なる志を感じ取っていただき、3回目で更に崇高なる志を感じると共にロバート議事法を学び、4回目でロバート議事法を確かなものにし、5回目で上期も下期も今一度、JCについてや、セレモニーの事等を確かなものにするべくVMVセミナーを実施し、最後の6回目では理事長講話で、今まで学んだ事を確実にし、情熱あふれるメンバーへと導いて行けたのではないかと確信をしております。

下期オリエンテーションに関しましては、上期の問題点を活かし、もっとよりよいオリエンテーションに出来るつもりではいしましたが、蓋を開けてみると、上期よりも大変であったと覚えております。8月から次年度が始まってくる。12月度例会の為に、7月から入会したばかりのメンバーに負担をかけなくてはいけない。等の事が重くのしかかり、出席をしていただく事が最優先になっていた事を思い出します。私の気持ちは「共に頑張っていこう。」「共に活動をしたい。」「共に懇親会で楽しく過ごしたい。」という気持ちで接してはいましたが、やはり気持ちだけでは難しく、下期のメンバーの心を掴むことが出来なかったと思い、それが出欠に直結をしていたと感じております。

しかし、中身に関してはメンバー自身が率先して理解をしてくれようとしておりましたので、上期での事を活かしたオリエンテーションが展開できたと実感しております。

最後に、本当にタイトなスケジュールの中、オリエンテーションに出席をしていただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。並びにほぼ私抜きで設営をしていただいたアカデミー委員会のメンバーの皆様、内容を理解しスムーズな運営をしていただきまして、本当に感謝をしております。ありがとうございました。

事業計画 6

例会の開催(12月)

まずは、本年ご卒業されました1974年生まれの皆様、ご卒業おめでとうございます。

そして野杵理事長を始めいたしますメンバーの皆様、

それから予定者に関しては、やはり大変苦勞をしました。JCに入会しましたが、JCの優先順位が低い事や、JCをやっているとセオリーになってくる事が、まだセオリーで無い事などで、JCへの意識が私たちとは全く違う点で、苦勞

をしました。でもそれを教えていく事や、それを克服していく事がアカデミーの担いなんだと、分かってはいたつもりですが改めて痛感させられました。PM4 時開会という、早い時間からの例会でしたが、多数のメンバーにお集まりを頂き誠にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、無事滞りなく卒業生の皆様を気持ちよく送り出すことが出来ました。本当にありがとうございました。

思い出されることは、アカデミー委員会として最大の担いである例会であるといっても過言ではない卒業例会でしたが、議案の立案に際して、オリエンテーションや 5 月度例会においては、様々な案が私の頭の中に駆け巡っていたのに、この卒業例会だけは凄く慎重になりすぎていたのか分かりませんが、案が湧いてこなかった事を思い出します。

なぜそうだったのか今思い起こしますと、きっと私の中に変えてはいけないものという思いが強く、どのようにしたら今までと同様ながらも、久保カラーを出せるのか、という事ばかりを考えていたからだと思います。

しかし今一度原点に立ち返り、基本方針を読み返すと共に、卒業例会は誰のためにあるのかという事を考え、議案に取り組みました。自分が卒業生なら、どうしてほしいのか。どのような卒業式なら悔いなく卒業できるのか。という観点から、変えてはならない例会でありながらも、今までにない事を取り入れさせていただきました。「感謝の儀」や「退場時のアーチ」等を取り入れると共に、先輩のお祝い映像等は無くし、全てアカデミーで考え作成した現役メンバーが分かる物ばかりとさせていただきました。

その意図としては、卒業例会は卒業生と現役メンバーの物であると考えたからでございます。

卒業生には、OB メンバー様からの映像などがいないため、寂しい思いをされた方もいらっしゃるかもしれませんが、2 次会や 3 次会において、多数の先輩方にお越しを頂いたことで、その思いも解消されたのではないかと感じております。

上記の文章では誤解が生じそうですので、改めて記述しますが、卒業例会は卒業生の為の例会であります。次に卒業生の皆様にとってかけがえのない、OB メンバー様との触れ合いの場でもあります。ですので現役メンバーとの最後の触れ合いの場と OB メンバー様との触れ合いの場を、しっかりと区切りをつけて懇親を計ってもらいたいという気持ちから、今回のような例会にさせていただき、沢山の先輩方に来ていただきたく、伝統である 2 次会 3 次会を設営させていただきました。

それから、2014 年入会メンバーへは、この卒業例会に向けて本当に時間とお金と知恵を出し合い、濃い時間を過ごしていただきました。中には「もうやめたい。」「何のためにやるの。」等の言葉が出ておりましたが、卒例を理解して頂き、なんとかやり切ってくれました。本当に大変だったと思います。2014 年度入会メンバーへ心から感謝しております。ありがとうございました。そしてアカデミー委員会メンバーの皆様にも助けていただきました。心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

4. 最後に

本年、アカデミー委員会は、上期・下期のオリエンテーション、そして卒業例会に加え 5 月度例会を担わせていただきました。様々な学びや気づきを与えていただいた野杣理事長を始めメンバーの皆様に感謝を申し上げます。本年は私を含め 6 名でのスタートとなりました。委員会の運営面や、例会などの設営面においても、様々な困難な事が発生したのを覚えております。しかし終わってみますと委員会出席率は 1 度も 100%を下回ったことはありませんし、例会においてもほとんどの事を 6 名でこなせたと思っております。全てにおいて自分自身の担いを理解して行動をしていただいたこと、感謝を申し上げますと共に、アカデミー委員会として、予定者に背中を見せて行けたのではないかと思っております。

上期においては 14 名を迎えての活動となり、様々な事がありながらも、心を 1 つにしてやっていけたと感じております。私の力不足で 14 名中 13 名と、1 名を正会員にすることが出来ませんでした。

そんなことを踏まえ下期に突入をしたのですが、下期は想像を絶する苦勞が待ち受けておりました。7 月から入会した方からすると、入会してすぐに 6JC 合同オリエンテーションや総会、各種事業も佳境を迎えていたり、それに付け加えサマーコンファレンスも実施されるとあって、2~3 回くらいだよと言われて入会したメンバーにとっては、「あれもこれも出てください。」というのに嫌気がさした方も多かったのではないのでしょうか。しかし、そんなことに屈しているわけにはいきません。なんとか委員会メンバーと上期とで呼びかけの日々を過ごすわけですが、なかなか出席をしてくれないメンバーがいたり、電話すら出してくれないメンバーがいたり、委員会メンバーで頭を悩ませました。以上のようなことは、アカデミーではありがちな事とは聞いてはおりましたが、上期ではそのような事があまりありませんでしたので、下期の方へのフォローをする事に全力を注いだ感じが私の中ではありました。

しかし、そんな中でも時間を作って出席してくれる下期メンバーへは、本当に感謝の気持ちで一杯でありました。そんなメンバーが私の折れそうな心を支えてくれました。でもアカデミー委員会の力をもってしても、20 名を受け入れましたが、最終的には 13 名しか正会員にすることが出来ませんでした。本当に拡大をしていただいた皆様、そして LOM メンバーの皆様、大変申し訳ありませんでした。私は達成できませんでしたが、次年度の安田アカデミーでは、予定者を 100%正会員へと導くために、アカデミー経験者としてフォローさせていただく事をお誓いさせていただきます。

最後に、アカデミー委員会メンバー、2014 年度入会メンバーへ。みんなは私の誇りでございます。みんなとの絆を胸に 2015 年以降も邁進をしてまいります。本当にありがとうございました。最高のアカデミー委員会でした。本当にありがとうございました。

監 事 所 感



外部監事

小川勝之



外部監事

尾関栄司



監事

木村亮一



監事

横田公一

「変革～新たな時代の創造に向けた挑戦～」

このスローガンのもと、野杵晃充理事長の所信に掲げられた「活気あふれる^{ふるさと}郷土の創造」「生きる力」に満ちた青少年の共育」「青年経済人の資質の向上」「活力あふれる LOM の創造」「新たな運営組織の確立」の 5 本柱を中心に活動してきた 2014 年度を振り返りたいと思います。

【総務局】

野田敏弘局長のもと、定款諸規定の管理運営及び理解促進と LOM の基盤となる情報の整備管理を中心に事業を展開して頂きました。特に 1 月の賀詞交歓例会や 9 月の西尾張 6J C 合同例会（式典の部）においては総務局を中心に財務局、広報局とともに、メンバーが少ないにも拘らず、一般社団法人一宮青年会議所として対外的にも恥ずかしくない素晴らしい設営をして頂いたことに心より感謝申し上げます。野田局長におかれては、わからないことや失敗も多々あったことと思いますが、この貴重な経験を次年度以降に活かして頂ければと期待しております。

【財務局】

卒業年度の今井拓也局長のもと、適正かつ適時な財務の運営管理と「公益法人格」の取得に向けての様々な活動を展開して頂きました。「公益法人格」の取得に際してはメンバーの意識向上を目指した様々な取り組みと県との様々な折衝のおかげをもって、2015 年より「公益社団法人一宮青年会議所」として新たなステージを踏むことができました。メンバー一人一人が改めて、「公益法人格」の取得の重みを感じてもらえたことだと思います。この過程における今井局長、山岡次長の御尽力に改めて敬意を表します。

【広報局】

坂井田純子局長のもと、我々の展開する様々な活動の情報をタイムリーに発信するとともに、一宮青年会議所の存在感

を高める未来に向けた広報基盤の構築に向けて様々な活動を展開して頂きました。残念ながら、費用対効果を含めてより効果的な広報活動について一つの指針を指し示すまでには至りませんでした。公益性を帯びた事業が主流になるこれからにおいて、広報活動そのものがより効果のあるものが求められていく中で、とかく軽視しがちになる広報活動の重要性を再認識させて頂くきっかけとなる活動であったと思います。

【拡大・交流委員会】

眞野尚人委員長のもと、活力あふれる LOM の創造を実現するために、会員に拡大の大切さを伝え、全会員による会員拡大を目指して、率先して活動頂きました。結果として上期 20 名下期 6 名の合計 26 名を拡大できたことで、会員一人一人に会員拡大の重要性と大切さを認識して頂けたと思います。また、交流活動においては、会員同士の友情や絆を一層深めることを目的とした様々な事業を展開して頂きました。6 月例会やテグカング青年会議所との交流を通じて、設営の難しさなど様々な御苦労があったこととは存じますが、公益事業が主流となっていく中で、交流事業が青年会議所全ての事業の原点ともいえる大切な事業であることにメンバー一人一人が少し気づいて頂けたのではないかと思います。

【渉外委員会】

卒業年度の野村一磨委員長のもと、出向者の立場に立った真に必要なとされる出向者支援・協力と各種大会・事業・会議に積極的参加して頂けるよう様々な事業を展開して頂きました。出向者が一番うれしいのは、出向先で「一宮青年会議所」のメンバーが応援に来て頂いていることだと思います。その点

において出向者の立場に立った素晴らしい出向者支援・協力ができたと思います。そして、2 月例会、11 月例会を通じて、出向の意義、素晴らしさ、楽しさをメンバーに伝えて頂けたと思います。また、各種大会・事業・会議においては、登録参加者が少なかったことは残念でしたが、参加してくれたメンバーに対して、野村委員長のカラーのよく出た様々なしつらえもあり、素晴らしかったと思います。

【活気あふれる^{ふるさと}郷土創造委員会】

高月英昭委員長のもと、^{まち}地域の人々とともに笑顔あふれる^{まち}地域と活気あふれる^{ふるさと}郷土の創造を目指し、様々な事業を展開して頂きました。7 月例会においては、「中心市街地再生～地域活性への鍵～」のテーマのもと、「まちゼミ」という手法を紹介しながら、^{まち}地域の人々と共に中心市街地再生について今一度考えるきっかけ作りができたと思います。また、第3回目となる10月のICHINOMIYA^{ふるさと}郷土グルメグランプリでは、過去2回を踏まえた新たな形を目指すべく、様々な趣向を凝らした結果、過去最高の参加店舗数と来場者数に恵まれ、活気あふれる^{ふるさと}郷土の創造の一助になったと思います。このメイン事業を1年間担当して頂いた高月委員長には初年度委員長にも拘らず、大変貴重な経験をして頂きました。特に ICHINOMIYA^{ふるさと}郷土グルメグランプリは継続事業として2015年度も開催されるので、今年の反省点等をきちっと次年度以降に引き継いで頂きたいと思います。また、正直、各事業や委員会運営において様々な部分において、コミュニケーション不足、勉強不足などから生ずる反省点が多々見受けられ、もっと出来たのではないかとと思うことが多々あったことは非常に残念なことだったと思いますが、経験上の反省点を活かして、次年度以降頑

張って頂きたいと期待致しております。

【経営資質向上委員会】

森一彦委員長のもと、未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットを養うとともに、経営資質を高めこれからの地域経済を担う「強い青年経済人」を育成することを目指し、様々な事業を展開して頂きました。松井証券株式会社の松井社長を講師に招いた4月例会を皮切りに展開された「未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成」では未知の可能性に立ち向かうチャレンジスピリットの重要性を改めて感じる事ができた事業であったと思います。今の自分たちの足元を見つめつつ、新たな可能性を求めて立ち向かう必要性を改めて感じました。また、9月の西尾張6JC合同例会では、株式会社大創産業の矢野社長を講師に迎えてのご講演では数多くの失敗の体験に裏打ちされた経営観の素晴らしさを感じることができ、不安に打ち勝つ術を学ばせて頂くきっかけを頂けた事業であったと思います。しかし、事業の過程において準備不足、勉強不足を否めないことが多々あったことは残念であったと思います。担当した事業に対してもっとチャレンジスピリットをもって、取り組んで頂ければ、本来伝えたいことが、もっと伝わったのではないかと思います。森委員長には反省すべきことは謙虚に反省し、次年度以降に活かして頂きたいと思います。

【生きる力に満ちた青少年教育委員会】

土川功介委員長のもと、子どもたちの「生きる力」を共育することを目指し、様々な事業を展開して頂きました。6月からの2回の公開事業と8月の集大成である「サマーアドベンチャー～夜空にえがく！ 僕らのシンボル・僕らの想い～」の事業においては、どんなことにも立ち向かうチャレンジスピリットを育み、自分たちを成長させること、また、周り人と人のつながりの中で思いやりを育むことの大切さを80名の子どもたちに伝え、勇気を持って生きることの素晴らしさを子どもたちとともに育むことができたと思います。ひとつのことを成し遂げたときの子どもたちの笑顔は本当に素晴らしかったですし、我々大人も学ぶべきものが多々あった事業であったと思います。

【アカデミー委員会】

久保辰也委員長のもと、情熱あふれる次世代の会員を育成するとともに、メンバーのリーダーとしての資質向上を目指し、様々な事業を展開して頂きました。上期下期オリエンテーションでは上期予定者14名下期予定者20名総勢34名の予定者の大所帯をまとめて頂きました。残念ながら、全員正会員になることはできませんでしたが、26名の情熱あふれる正会員を輩出することができたことに深く敬意を表します。また、5月例会においては「visual future」の手法を用いて、人々を惹きつけ牽引するために必要な「決断力」を養うきっかけ作りができました。JCメンバーとして地域を社会を牽引していくリーダーとして必要な考え方を学びました。とかくメンバー向けの研修事業が少なくなっている中で、久しぶりに新鮮に感じました。そして、12月例会は崇高なる志を継承して頂けた素晴らしい卒業例会であったと思います。準備段階から大変なご苦労があったことだと思いますが、11名の卒業生が清々しい気持ちで卒業できたのも、アカデミー委員会メンバー及び下期予定者の皆様のおかげだと改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

【事務局】

浅田佳寿優局長のもと、野杵理事長に常に同行して頂き、また、毎回の理事会においては理事会の設営はもちろん、資料の取りまとめ、アジェンダの作成など目に見えない部分まで多くのことを行なって頂きました。議案に対してシビアにより理解し、御苦労のあった1年間だったと思います。浅田事務局長、大野事務局次長ともこの貴重な経験を活かして、次年度以降活躍されるのを期待します。

【副理事長】

理事長の補佐としての副理事長の役割、理事長と理事・委員長局長のパイプ役としての室長の役割を果たすべく、青年会議所活動に奔走して頂いた1年間であったことと思います。

大変お疲れ様でした。また、主体的に一般社団法人一宮青

年会議所を主体的に導いて頂いたことに改めて深く感謝申し上げます。本年度は初年度理事も多く、様々な問題課題がありました。皆さんもまた、初年度の副理事長兼室長として知らないことや勉強しなければならないことが多々あったことでしょう。委員長とうまくいかなかったことも多々あったことと思います。この貴重な経験を次年度以降様々な面に活かして頂き、素晴らしい公益社団法人一宮青年会議所にして頂くことをお願い申し上げます。

【専務理事】

理事長の補佐としての専務理事の役割、正副理事長会議の調整、理事会での調整、監事との折衝等本当に大変な1年間であったと思います。もしかすると「専務理事とは何か？」を今一度考えることもあったかもしれませんが、しかし、こうして2014年度が無事終わったのも野田一郎専務理事の役割が大きかったと思います。今度はこの経験を活かしつつ、2015年度理事長として歴史あるこの公益社団法人一宮青年会議所のためにもう一つ広い視野でメンバーを導いて頂くことを切に願います。ありがとうございました。

【結びに】

本年度は野杵晃充理事長の明快な所信のもと、理事長を筆頭に各副理事長、各理事が時には迷走？しながら、各々の目的に対して真剣かつ真摯に取り組んで頂いた1年間であったと思います。目的に達した部分、達しなかった部分様々あるかと思いますが、青年会議所の経験にマイナスは決していないと思います。理事会構成メンバーの皆さんが2014年度に経験したこと全てが、貴重な財産だと思います。終わってみて今気づかなくとも、いずれふと振り返る時が必ず来ます。そのくらい素晴らしい経験を皆さんがされたこと、何より、この一宮青年会議所の副理事長、専務理事、理事・委員長局長を経験したことを誇りに、これからもがんばって頂きたいと思います。そしてなにより、我々の組織は2015年度より「公益社団法人一宮青年会議所」として、新たなステージを迎えます。今後ともこの経験を糧に、公益性が求められる青年会議所活動を牽引して頂くことを願ってやみません。野杵理事長をはじめとする全てのLOMメンバーの皆様1年間本当にお疲れさまでした。特に野杵理事長には「変革」というキーワードの下に、率先して我々を引っ張って頂きました。理事長の理想とする「変革」までは往かなかったかもしれませんが、少なくともLOMメンバーの意識は「変革」に対して、少しずついい方向に変わってきているということを最後書き添えさせていただきます。結びに、このような監事という大役を務めさせて頂いた理事長をはじめとする全てのLOMメンバーに感謝申し上げるとともに、次年度以降も「変革」を進めるべく、素晴らしい青年会議所活動を展開することを御祈念申し上げ、監事所感とさせていただきます。ありがとうございました。

じゃがいもクラブ

部会長 青山 広己



1.事業報告

①2014 年度第 1 回さといも・じゃがいもゴルフコンペ並びに定時総会の開催

4 月 24 日(木)午前 9 時 30 分より、春日井カントリー(西コース)において、第 1 回さといも・じゃがいもゴルフコンペを開催しました。また午後 6 時 30 分より一宮市の日本料理江美にて前年の事業報告、決算の承認と本年度の事業計画予算及び役員の紹介を行いました。

②2014 年度西尾張 6JC 合同じゃがいもゴルフコンペの開催

5 月 21 日(水)午前 8 時よりナガシマカントリークラブにて、西尾張 6JC 合同じゃがいもゴルフコンペを開催しました。

③2014 年度第 2 回さといも・じゃがいもゴルフコンペ並びに定時総会の開催

10 月 22 日(水)午前 9 時 20 分より、犬山カンツリー倶楽部において、第 2 回さといも・じゃがいもゴルフコンペを開催しました。またゴルフコンペ後に定時総会を開催し、次年度の役員の選任を行い、次年度会長より心強い挨拶をいただきました。

2.まとめ

2014 年度 じゃがいもクラブ部会長を務めさせていただきました青山広己です。まずは本年無事に活動を終えることができましたのも、野杵理事長をはじめとする一宮青年会議所の皆様、先輩諸兄の皆様ののおかげであり、心より厚く御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

私自身、両親がゴルフ好きということもあり、15 歳の頃からゴルフを始めていまして、ゴルフというスポーツは老若男女、初心者、上級者を問わず、1 日楽しめるスポーツであると思っていますので、この部会長という役は楽しみな担いという認識でいました。しかし、よく思い返したら、ゴルフコンペの設営をお手伝いした経験はあっても、コンペ運営をした経験がなく、いろいろな面で勉強になりました。事前の配車、組合せでは、野田副理事長、木村監事にご指導いただき、また景品や設営では伊藤、大野両副部会長に手助けをいただき、本当に助かりました。

また、6JC さといもじゃがいもゴルフコンペ前の事前練習ラウンドを行い、6JC さといもじゃがいもゴルフコンペ 3 連覇を果たせたことは、大変嬉しく思いました。私自身、次年度も選手に選ばれるよう精進し、4 連覇、5 連覇と繋げていきたいと思えます。

最後になりますが、次年度はじゃがいもクラブ監事という立場で、さといも・じゃがいもゴルフコンペに関わっていきま

すので、1 人でも多くメンバーの参加とゴルフのルール・マナーについても伝えていきたいと思います。

1 年間、本当にありがとうございました。

3.事業報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
①前年度繰越金	47,205	①賞品代	512,136
②部会費さといも(23 名)	115,000	②通信・印刷費	3,246
③部会費じゃがいも(27 名)	135,000	③備品代	28,000
④コンペ参加費	267,000	④日本 JC じゃがいもクラブ登録料	20,000
⑤懇親会参加費	300,000	⑤懇親会費	283,365
		⑥次年度繰越金	17,458
収入の部合計	864,205	支出の部合計	864,205

建設部会

部会長 東 賢吾

1.事業報告

①2014 年度第 1 回建設部会総会の開催

2 月 10 日(月)午後 6 時 30 分より、一宮市住吉町ベルコルノ会議室において、第 1 回建設部会を開催しました。前年の事業報告、決算の承認と本年度の事業計画予算及び役員の紹介を行いました。

②研修会の開催(愛知建設クラブ)

6 月 26 日(木)午後 7 時より名古屋市中村区野村證券名古屋駅前支店 3 階ホールにて、講師に野村證券株式会社の品田氏をお迎えし、建設業界に重点をおいた「当面の経済展望」と関した研修会へ参加し、今後の建設業界の展望を学ぶとともに同業種による名刺並びに情報交換を行いました。

③2014 年度第 2 回建設部会総会の開催

12 月 2 日(火)午後 6 時 30 分より、一宮市下田二丁目 JipangDining 会議室において、第 2 回建設部会を開催しました。次年度の役員の選任を行い、次年度会長より心強い挨拶をいただきました。

④日本青年会議所建設部会及び愛知建設クラブへの支援

2014 年度は、日本青年会議所建設部会へ飯盛好晃君が日本建設クラブ全国部会員大会運営委員会委員長として出向され、10 月 25 日(土)において名古屋の地にて全国部会員大会を成功に導き、また愛知建設クラブ副会長として安井祥人君が出向されました。それに伴う各種事業への出席及び支援をさせていただきました。

2.まとめ

2014 年度、伝統ある一宮青年会議所建設部会部会長を務めさせていただいて誠にありがとうございました。第 1 回総会では私自身初めての経験ばかりで色々な不手際がありましたことをお詫び申し上げます。この総会では諸先輩の皆様や現役会員の交流をメインと考え立食形式とさせていただきました。皆様の温かいご協力もあり、お陰様で建設部会の真の目的であるビジネスでの交流ができたのではないかと考えています。また 6 月の交流会ではなかなか経済の専門家が建設業界のことを分析したことを学ぶ機会がない中で、大変貴重な経験をし、また日頃出会うことができない愛知県の建設関係者との情報交換やビジネス交流ができました。10 月の全国部会員大会では飯盛好晃君が委員長として出向をされており、そのサポートをさせていただき、志を同じくする同志との意見交換をさせていただきました。ただすべての私の力不足で member 全体での思うような交流ができなかったことを深くお詫び申し上げます。

最後になりますが、この建設部会が先輩方と現役メンバーとの business の交流の場として、さらには人々の安心安全な生活の下支えをし、そして笑顔で「築く」担いをして益々発展することを祈念致しまして、まとめとさせていただきます。

1 年間ありがとうございました。

3.事業報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
①部会費	135,000	①日本青年会議所	100,000
②前年度繰越金	1,334	愛知建設クラブ負担金	
		②第1回総会	10,000
		③第2回総会	16,000
		④通信費及び雑費	9,371
		⑤次年度繰越金	963
収入の部合計	136,334	支出の部合計	136,334

ファッション交流部会

部会長 福田晋也



1.事業報告

①2014 年度第 1 回ファッション交流部会総会の開催

9 月 26 日(水)午後 6 時 30 分より、アソビックスびさい会議室において、第 1 回ファッション交流部会総会を開催しました。前年の事業報告、決算の承認と本年度の事業計画予算及び役員の紹介を行いました。また総会后に先輩と現役との交流としてボーリングを行いました。

②2014 年度第 2 回ファッション交流部会総会の開催

12 月 2 日(火)午後 6 時より、JipangDining 会議室において、第 2 回ファッション交流部会を開催しました。次年度の役員の選任を行い、次年度会長より心強い挨拶をいただきました。

2.まとめ

2014 年度加藤貴恭担当副理事長のもとファッション交流部会の部会長を務めさせていただきました。

ファッションと名が付きますがこの部会に年々繊維の業を営まれる会員が減少し今ではゼロとなってしまいました。それと同時にこの部会も先輩との交流という色のほうが濃くなってきたかと思われます。

この一般社団法人一宮青年会議所は 3 年未満会員の割合が高まり、伝統と新しい考え方が混ざり合う形となってまいりました。そこでこの先輩との貴重な交流の場を通してより深いコミュニケーションをとっていただくことで私たちメンバーも先輩から一宮青年会議所が一宮青年会議所たる所以や一宮青年会議所としての考え方や行動を学べる良い機会になると考えました。

9 月に部会を行い、第 1 部では先輩と現役を混ぜボーリングをすることでよりリラックスした環境でコミュニケーションをとることができ、第 2 部では懇親会を設けさせていただくことで更に深い交流を図ることができました。この交流を通して一宮青年会議所にとって変えてはいけないものを変えていかなければならないものを正確に判断できる一助となったと思います。

12 月の部会に関しましては建設部会と合同で懇親会を行うことで色々な先輩と交流を図ることができ、先輩の後輩に対する思いや大切にしてきた伝統など改めて再発見させていただくことができました。

そしてこの一年の活動を行うにあたって副部会長の伊東大徳君や部会員の石黒秀幸君、加古川和也君、平松道介君には色々な面で助けていただきました。心より感謝申し上げます。本当に自分ひとりでは何もできないことを痛感しました。

最後になりますが部会長としてご案内から設営まで多々至らぬ点があったことを深くお詫び申し上げます。

この経験を活かし少しでもこの一宮青年会議所、そして一宮のために力になれるよう活動していきたいと思います。この

一年、部会長として活動できたことを心より感謝申し上げます。

3.事業報告

第1回ファッション交流部会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
①第一回登録料(3,000 円×32 名)	96,000	①ボーリング代金(1,458 円×32 名)	46,656
		②景品代一式	24,000
		③印刷代一式	973
		④通信費(郵送代)一式	9,371
収入の部合計	96,000	支出の部合計	81,000

余剰金 15,000

第2回ファッション交流部会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
①第一回繰越金	15,000	①建設部会支払	15,000
収入の部合計	15,000	支出の部合計	15,000

公益社団法人日本青年会議所

人財グループ 拡大委員会に出向して



会計幹事 森功一郎

2014 年度は公益社団法人日本青年会議所 人財グループ 拡大委員会に会計幹事として出向させて頂きました。初めに支援していただいた野杵理事長を始めとする LOM メンバーのみなさまに感謝申し上げます。

まずは出向した経緯ですが、最初に野杵理事長と野田専務から日本 JC の拡大委員会に幹事として出向して欲しいとのお話がありました。私は愛知ブロックと東海地区には出向経験がありましたので日本にもいづれ行ってみたいと思っていたのですが、さすがに委員会スタッフとしての出向となると全国各地で行われる委員会やスタッフ会議には必ず出席しないといけないということもあり半端な気持ちでは出来ませんので少々考えました。しかし自分に出来ない役目は回って来ない、修行だと思ってやるだけやってみようという想いで快諾させて頂きました。

この一年を振り返ってみると拡大委員会として本当に多くの担いがありました。大きなものとしては京都会議の上田先輩をメインとした拡大セミナー、サマコンのブロック会長テーブルディスカッション、全国大会松山大会の拡大褒賞授与式とブロック会長をメインとした拡大セミナーなどです。これらの議案を私が直接作成するということはありませんでしたが、どの議案もチェックはさせて頂き副委員長さんに色々と意見はさせて頂きました。各事業を組み立てるにはスタッフは膨大な時間を費やします。そして日本本会では正副、財審、理事会といった場で厳正なる協議審議が行われます。目に見えない部分も考えると大きな大会で一つの事業を実行するまでに関わる人たちの数は本当に多いということが分かりました。

拡大というテーマについてもこの一年色々考えました。始めは拡大というと単に会員勧誘というイメージでしたが、新美委員長のまずは自分がやっている JC 運動に自信を持ってそれを身近な人たちに丁寧に説明していくことが重要であるというお話を幾度となく聴くうちに拡大というのは JC 運動の拡大であって運動そのものであることに気付かされました。

また飯盛好晃君におかれましては卒業年度にも関わらず私と一緒に出向して頂いたことで日本出向が初めての私にとって経験豊富な飯盛委員と一緒にいてくれたことは大変心強く、また会計幹事経験者としてのアドバイスもして頂きとても助かりました。ありがとうございます。

最後になりますが、今年一年出向先で真剣に指導していただいた新美委員長始めとする日本 JC 拡大委員会スタッフのみなさま、そして野杵理事長を始めとする一宮青年会議所のみなさま、特に 11 月 1 日に山形県酒田市で行われた全国拡大フォーラムにも駆けつけていただいた野村委員長を始めとする渉外委員会のみなさまには大変お世話になりました。本当に感謝しております。

次年度は LOM の拡大・交流委員会の担当副理事長をさせていただきますので今年の日本での経験を活かし、少しでも多くの新しい仲間と活動できるように頑張っていきます。

公益社団法人日本青年会議所

人財グループ 拡大委員会に出向して



委員 飯盛好晃

本年度は、公益社団法人日本青年会議所 人財グループ 拡大委員会へ出向をさせていただきました。出向を支援いただいた野杵理事長をはじめとするメンバーの皆様には感謝しております。また、渉外委員会の皆様には、委員会メンバーが少ない中での支援活動には、頭が下がる思いです。ありがとうございました。

2014 年の本年度は現役最終年度ということで、何処に出向しようか考えていたところ、森功一郎君からの声かけがあり、拡大委員会へ出向することを決めました。まさか昨年に続き2年連続で同じ委員会に出向することになると思っていなかったのですが、委員会名は同じであっても、委員長が違う、スタッフが違う、集まってくる委員も違うということで、全く違う出向になることは予想していました。そして新しい出会いに期待して本年度も日本青年会議所を楽しんできました。

本年度は本会とは別に建設部会（業種別部会）に出向しており、出席できないことも多かったため森君には気苦労をかけたことも多かったと思います。また、彼が会計幹事ということで、自身の経験で彼を助けることができればと思うこともあったのですが、結局のところは、彼の力で乗り越えていってくれたようでした。この一年間の苦労は彼にとっての糧になってくれていることを願います。

拡大委員会では昨年に引き続き、多くのことを教えていただきましたが、同時に「青年会議所とは」を考える機会を与えていただきました。最後の二年間で青年会議所とは何だろうと考える時間が多く持てたことは、自分にとって何か意味があったのかもしれません。ただ結局のところ、結論は出ていません。結論が出ないことが結論なのかもしれません。本当に奥が深い団体だと思います。

2003 年に入会して、2004 愛知 BC ブロックアカデミー委員会へ出向してから、2010 年を除き出向を繰り返してきました。愛知 BC へは 2004、2006、2011。東海 DC へは 2006、2007、日本 JC 本会へは 2005、2008、2009、2012、2013、2014。この中で役職出向は 2007DC 副委員長と 2008NJC 会計幹事の2回です。本年度も公募メンバーとして出向してきましたが、多くの出会いに感謝しております。そして知らない間に多くの気づきと成長をさせていただいていると思います。人は人でしか磨かれないという言葉がありますが、出向することでその機会を引き寄せることが出来ると思いま

す。

出向という機会を与えていただいた一宮青年会議所に感謝しております。

そして毎年のようにエントリーシートに印を押していただいた歴代理事長に感謝しています。

いままで、本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所

国際グループグローバルネットワーク確立会議に出向して



委員 野々垣総一郎

2014年度の出向で6回目となりました出向も、野杵理事長をはじめとする一宮青年会議所、LOM メンバーのおかげをもちまして無事に終了することができました。本当にありがとうございました。

グローバルネットワーク確立会議の担いは主に、国連ミレニアム開発目標の UNMDGs 認知向上プログラムを各地、青年会議所、学校で開催すること、JCI JAPAN 少年少女国連大使、ナッシングバッドネッツ運動マラリア蔓延防止撲滅運動の三つとなります。

私が所属した小委員会は長野青年会議所より出向された、和田副議長率いる小会議体となり、ナッシングバッドネッツ運動を担いました。
全国各地での PR や募金活動は元より、寄付した蚊帳がどのような工場で作られ、どのような場所で使われているかの調査など、移動がとても多い担いとなりましたが、最終的にはナッシングバッドネッツ運動の功績を JCI から表彰されるまでとなり成果を残せたのではないのでしょうか。

愛知ブロック1回、日本青年会議所5回（内国際グループ4回）の私の出向経験の中でも本年は一般委員ということでやるべきことは限定されておりましたが、タンザニアへの蚊帳工場の視察に始まり、ドイツライプチヒ世界会議など国際色あふれる一年となりました。

最後の大阪での会議においては本年ご卒業される藤重議長の男泣きを見ることができ非常に感慨深い会議後懇親会となり一年を締めくくることができました。

私も2015年度で卒業となりますが、最後の最後まで自己成長と、仲間への貢献ができるよう今後も精進したいと思います。
一年間、ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所

災害・復興支援委員会に出向して



委員 石川佳照

まずは、野杵理事長はじめ LOM のメンバーの皆様には出向を支援していただきましたこと本当に感謝しております。日本青年会議所に初めての出向となりましたが、全国各地から出向されていますが、この災害・復興支援委員会にはとりわけ、東日本大震災に被災された、東北地区のメンバーが多く出向されておりました。今もなお、避難警戒区域 LOM メンバーは家に戻れず、他の地域で青年会議所活動を行っていると聞きました。地域がある私たちは当たり前のように感じておりますが、そんな仲間の声を聞くと、自分の地域がどれだけ幸せかと感じます。

3 月の災害復興フォーラム、歌のチカラプロジェクトなど様々な事業がありましたが、私にとって最も印象的なのが、福島第二原子力発電所視察でした。青年会議所だからこそ、ここに行くことができたこと本当に感謝しております。行く道中多くの未だ手のつかない廃墟、誰もいない中美しく咲く桜並木、一つ一つが大きな衝撃でした。また発電所内では、核融合が行われているプラント内にも入りました。生命が生存できないエリアで働く人々との対話をしているときは、メディアとのギャップを大きく感じました。震災が起きて 3 年経ち、風化しつつある震災ですが、これからが本当の復興になっていくと思います。子供たちの未来のために私たちができる事を一つずつ行っていきたいと感じる次第です。10 年後に大人になったこともたちの為にも復興の想いをこれからも持ち続けていきたいと思っています。

また、私たちの住む地域もいつ起こるかもわからない、南海トラフ沖地震にも備えていく必要がある事大いに感じました。青年会議所だからできる事をこれからも発信していけたらと思います。

東海地区協議会

力強いつながり確立委員会に出向して



小松明生

本年度、日本青年会議所東海地区協議会力強いつながり確立委員会への出向をお許しいただきました、野杵理事長をはじめとするLOMメンバーの皆様には本当に感謝しております。

出向のお話をいただいたとき、出向経験が少ないので辞退しようと思いましたが、樋田昌泰君、鈴木強司君の後押しもあり出向を決めました。あまり主体性の無いところからのスタートでしたが、一宮青年会議所の看板を背負って出向するからにはと、独りで緊張していたことを憶えています。私が出向した委員会は防災危機管理に係る委員会で、青年会議所の防災への取り組みを関係諸団体に知っていただき、平時、災害発生時のパートナーとしての関係を築くことを目的としていました。

各地で開催される委員会の前には開催地理事長及びLOMメンバーが出席され、理事長が挨拶されるので、LOMの委員会とは違った緊張感に包まれていました。何れのLOMでも理事長が地域の特色を分かりやすく説明され、地域の産品のおもてなしをいただきました。

担当委員会の事業としては、東海フォーラムに於いて起震車の体験ブースと、東海地区のLOMで開催された事業のポスター展示及び説明がありました。私には事業のポスターを来場者に説明する役割がありました。一般の方に説明することは初めてでしたので、かなり緊張しましたが、ポスターの前で数回の説明を繰り返すと、来場者との交流も楽しめるようになりました。一般来場者の中には小学生の保護者の方がみえ、是非とも事業に参加したいとのうれしいお声もいただきました。一般来場者の方々が防災、減災に関心が高く、機会があれば進んで知識や技能を身に付けたいと考えていることが、体験を通して知ることが出来ました。

もう一つ事業として、「東海地区防災危機管理サミット in 静岡」と題し東海4県の関係諸団体の方々に出席いただき、基調講演で広域防災の協働連携のありかたについて講師にお話しいただきました。東日本大震災のように県を跨って発生する災害に備えるには平時より、「顔の見える関係性を築く」ことが重要であるご講演いただきました。また、ご講演を通じて青年会議所に求められることがあり、全国に展開されているLOMの機動力は非常に重要であること、そして復旧、支援が滞ることなく被災地の救済が出来るようにするには専任者を常設すべきとのことでした。言うまでも

なく青年会議所は単年度制の制約があります。また、災害発生時の担当窓口を専務理事が代行する割合が高く、防災担当委員会を毎年 置くLOMは少数です。各団体が連携を取る難しさはありますが、得意、不得意をお互いに補い合うことが重要だと感じました。

最後になりますが、出向先では以前に出向された一宮青年会議所メンバーのお話を聞くことができ、他LOMの方々から「一宮さんにはお世話になりました」と言われて誇らしく思いました。私が胸を張って言えるようなことはありませんが、出向先の委員会メンバーと共に活動し時間を共有したことが次に繋がれば幸いです。

出向をさせていただきましたLOMメンバーに皆様には、重ねて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

東海地区協議会

力強いつながり確立委員会に出向して



委員 樋田昌泰

本年度、東海地区力強いつながり確立委員会に出向させて頂きました。2009年度に続き、東海地区への出向は二度目となります。といっても出向自体が二度目で、当初からお声掛けを頂き出向したわけではなく、5月頃に野田副理事長を通じて野田専務よりお声掛けを頂き出向させて頂くこととなりました。LOM からの出向者は同じ委員会・卒業年度の小松明生君、同じ委員会の鈴木強司君と3人での出向となりました。先輩からは卒業年度に LOM の委員としての活動だけでは少し寂しいと言われていたもので、結果として良かったと思います。

出向後最初の委員会は、既に第4回全体会議で5月に名古屋での開催でしたが、出向を決めた直後でしたので、都合により参加できませんでした。続いて6月の第5回全体会議は副委員長のお膝元である富士宮での開催で、野村渉外委員長にも同行して頂き、片道3時間以上かけてのドライブでちょっとした旅行気分を楽しむことが出来ました。いざ全体会議に参加してみると、一週間後の7月5日に開催される東海フォーラムでしっかりと役割が与えられており、大丈夫かなと思った反面、委員にもしっかりと事業に参加してもらおうという委員長の気遣いを感じました。そして、四日市ドームで開催された東海フォーラムでは、過去の自然災害時における青年会議所の活動をパネル展示し、一般の方々や JC 関係者への説明や三重県の地震体験車で震度7までの地震体験をして頂きました。また、当日は多くの LOM メンバーにも駆け付けて頂き、心より感謝申し上げます。

8月の第7回全体会議は副委員長のお膝元である伊勢での開催で、伊勢 JC 会館(もともと百五銀行の支店として使われていたもので、大きな金庫がありました。)で行われ、9月21日に開催される防災危機管理サミットin静岡についての確認を行いました。そして、静岡商工会議所で開催された防災危機管理サミットでは、JC の他に愛知、岐阜、三重、静岡の東海四県の行政、社協、生協、日赤、NPO の方々にお集まり頂き、国土交通省の方の講演に続き、参加して頂いた各種団体の災害時における横の連携について、活発な議論が交わされました。

このように、4ヶ月あまりの出向でしたが、東海地区への出向ということで色々な地域に行き、色々な LOM の方とお話をし、他の LOM のことを知るとともに、LOM は違うが、同じ JC の仲間が他の地域にもいることを改めて感じる事が出来ました。

最後になりますが、いつも運転をかっていただいた鈴木強司君に感謝申し上げるとともに、このような出向の機会を与えて下さいました野杻理事長をはじめとする LOM メンバーの皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロック大会運営委員会に出向して

副委員長 小寺浩至

本年度は公益社団法人日本青年会議所東海地区愛知ブロック協議会に、ブロック大会運営委員会の副委員長として出向させていただきました。

まずは、出向活動にお声をかけていただきました野杵理事長、また出向活動にころよく送り出させていただきました野村渉外委員長、ありがとうございました。

そして、ご支援、ご協力していただきました理事の皆様、LOM メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

本年度、ブロック大会運営委員会の副委員長としてブロック大会の全体調整と連絡、式典が与えられた大きな役割でした。式典においては過去 46 回の歴史ある大変重要で厳粛な式典の責任者として式典の進行や映像、各項目に使われる楽曲、そして新たな試みに挑戦する事が西岡委員長からの担いでした。

そのこともあり、自分の一年の出向活動を「挑戦」と掲げ一年活動させて頂きました。

挑戦への道のりは非常に難しく何度も心折れましたが、一緒に LOM から出向していただきました、伊藤君、平松君、加古川君に大変救われました。また、LOM メンバーにも温かい言葉、厳しいお言葉を沢山いただき感謝しております。

皆様のおかげで第 47 回目に一部ですが内容を変更する事ができたのだと思います。

自分にとって本年度の出向活動は非常に意義のあり、沢山の経験を得た出向活動でした。

また、大会の連絡調整については各委員長、スタッフの方々と会場のどこを使うか何を用意するか控室を何時まで使うかなど、その他いろいろな事を打ち合わせしていきました。こちらは本年度、連絡調整会議を設けさせていただき、各委員会スタッフを交えて意見交換をさせていただきました。何回も開催させていただき連携がとれたことで、当日様々な問題もありましたが、歴史に残る第 47 回愛知ブロック大会にできたと思います。

本年度の出向活動を振り返りますと、本当に有意義な活動になり、沢山の経験をさせていただけた出向活動でした。

そして最後まで副委員長として担いをこなせたのも、全てのつながりある方々がいて出来た事だと感じます。

1 年間、関わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロック大会運営委員会に出向して



委員 伊藤基児

まず、私が出向に前向きになれましたのは、前年に出向させて頂きました愛知ブロックアカデミーで JC の楽しみが少しだけ分かった事からでした。

出向先の委員会も知らず、副委員長職が決まっていた小寺副委員長にお願いし出向が決まりました。

「愛知ブロック大会運営委員会 第2小委員会 式典」自分には似つかわしくないような厳粛な雰囲気の中で執り行われる式典を設営する事を担いとした委員会が配属先と決まり、LOM でも何かを担った事のない自分が果たして最後までやり通せるか不安でいっぱいの中、初めての全体会議を一宮設営で行ない、幾度となく会議を重ね、ブロック大会当日を無事終えた時に感じた安堵感と高揚感はい言表す事の出来ないような体験でした。

理事長はじめ LOM メンバーの支えの中で活動させてもらえたことを感謝いたします。
ありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロック大会運営委員会に出向して



委員 平松道介

私は 2014 年度に愛知ブロック大会運営委員会の委員として出向させていただきました。
同じ一宮青年会議所メンバーの小寺浩至君が愛知ブロック運営委員会の副委員長として出向されることになり、小寺浩至君より是非委員として出向して欲しい。と連絡を受け、私としても是非小寺浩至君の力になりたいと思い、伊藤基児君と加古川和也君とともに出向させていただきました。

2015 年度一宮青年会議所理事長が理事長所信で掲げております「あいつのためにおれはやる」を心に伊藤基児君と加古川和也君とともに小寺浩至君の為に頑張って参りました。

愛知ブロック大会運営委員会では式典の担当を担い、一宮青年会議所では経験できない経験をさせていただきました。

昨年出向させていただいたブロックアカデミー委員会でも、とても実りある出会いがありましたが、今年度の愛知ブロック大会運営委員会ではとても大きな事業の中で、苦楽をともにし、人としての成長だけではなく、自分自身を成長させてくれる仲間との出会いがあり、自分自身の交流関係が広くなりました。

人との出会いを大切にしたい私としては、一宮青年会議所だけではなく、愛知県のすべての青年会議所より出向によって構成される愛知ブロック協議会が自分自身をとても高められる場であると思っております。2015 年度であった仲間達との出会いも今以上に大切にしていきたいと考えております。

また、式典中の私の役目は、スクリーンの映像を操作しました。大変大きな大会であり、ミスは許されず、リハーサルでは何度も練習してきました。事前の準備がとても重要であることを身に染みて実感しました。

2015 年度は一宮青年会議所で拡大・交流委員会の委員長という大役を拝命させていただきました。愛知ブロック大会運営委員会で学んだことを一宮青年会議所に還元するという意味で、委員会運営の中で、スタッフメンバーや委員の皆様の一つでも多くのことを伝えていき、また個人個人の成長を促し、一宮青年会議所の発展につなげていければと考えております。

2015 年度に出向を検討されている方は、愛知ブロック協議会ではとても自分自身の成長、人の

出会いなど実りの多い場であると思っております。少しでも出向について悩まれているのであれば、
勇気を持って一步踏み出してみてください。自分では考えてもみなかったような世界を経験できます。
またその経験を一宮青年会議所に持ちかえり、一宮青年会議所の発展に力を注いでください。

愛知ブロック協議会

ブロック大会運営委員会に出向して



委員 加古川和也

私は本年度、愛知ブロック協議会ブロック大会運営委員会へ出向させていただきました。野杵理事長をはじめとする LOM メンバーの皆様、出向する機会を与えて頂き本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。また、出向へ快く送り出して下さいました安井副理事長、土川委員長をはじめとする生きる力に満ちた青少年共有委員会メンバーの皆様本当にありがとうございました。また、名古屋会議からブロック大会当日まで全力で支援をして下さいました野村委員長をはじめとする渉外委員会の皆様、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。そして、出向のお声掛けを下さいました小寺副委員長、出向の機会を与えて頂き本当に感謝しております。一年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私はブロック大会運営委員会の式典を担当する小委員会へ委員として配属され、「志」と「情熱」が未来を切り拓く～土と炎のまち瀬戸から再びの開花期へ～のスローガンの基、歴史に残るブロック大会を目指し活動をして参りました。式典の担当ということで、ブロック大会の中でも最も厳粛な式であることから、徹底したタイムスケジュール、導線、来賓アテンド、場内警備など絶対にミスの無いよう様々な面で何度も何度も確認と準備を行い、当日のイメージ像を最大限に描きながらリハーサルに取り組みました。来場者数や来賓者数など自分が設営した式の中では最も規模の大きい厳粛な式であったことから、当日は勿論、準備の段階から様々な経験をさせていただき、多くの気づきと学びを得ることが出来ました。これらは今後の社業、JC活動に活かせる部分が多々あったと感じております。また、「公」の大会として開催運営を行う上で、出向活動中はJC3信条の中でも「奉仕」の部分に重きを置き、意識しながら取り組んでまいりましたが、大きな目的達成までの道のりの中に本当に多くあった「修練」、そして同じ目的へ向かい仲間と共に協力し合い、切磋琢磨し合い、いつの間にか育まれた「友情」も得ることが出来ました。今回の出向では自分の考えていた以上にLOMを超えたJC3信条をすべて肌で感じ、得ることが出来たと感じております。この様な経験をいただけたことに本当に感謝の言葉しかありません。

最後になりますが出向を通じ本当に多くの経験、気づき、学び、そしてその時間を共に過ごした仲間というかけがえのない友情の絆を得る事が出来ました。繰り返しになりますが、この様な良い経

験をいただきました事と、出向を最後まで見守り支援下さいました LOM メンバー皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知ブロック協議会

組織連携推進委員会に出向して



副委員長 青山広己

2014 年度 愛知ブロック協議会 組織連携推進委員会 副委員長として出向させていただきました青山広己です。まずは本年無事に活動を終えることができましたのも、野杵理事長をはじめとする一宮青年会議所の皆様、先輩諸兄の皆様ののおかげであり、心より厚く御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

2014 年度は愛知から会頭が出向される特別な年であり、日本青年会議所との連携を密に取る絶好の機会であり、会頭所信からなる運動の理念と方針に対し積極的にコミットし 32 青年会議所との架け橋となるべく、3 本の運動論を担うことになりました。1 つは私が担当した実働可能な防災ネットワークの拡充・強化、JC-AID の配備、2 つ目は一緒に出向してくれた加藤委員が先生役まで受け持ってくれた「選挙体験 みらいくの事業」、公開討論会、e-みらせん、3 つ目は、これも私が担当させて頂いた UN-MDGs 認知向上プログラムと皆さん御存知の JCI NOTHING BUT NETs キャンペーンによるマラリヤ撲滅に向けた運動であります。

2013 年に野杵理事長より、お話を頂いた際に大変担いの多い委員会ですけど、頑張ってくださいと言われたのは今でも覚えています。実はその時は全く理解しておらず、2013 年度ブロックアカデミー委員会同塾(松本塾)の竹内君が総括幹事を受けていて、できればもう一年一緒に活動しようと話していたので、2014 年度も出向できればいいなと軽い気持ちでしかありませんでした。2014 年度の活動が始まり、野杵理事長の言葉がやっと理解でき、本当に担いの多い委員会であり、自分が副委員長という役職には、まだまだ知識量、経験値ともに不足していることに気づきました。しかし、藤井委員長を始めするスタッフの皆さんや委員さんに助けて頂き、毎月のように開催した公開委員会の前日まで毎回勉強する機会を頂き、LOM では経験のすることの少ない日本青年会議所が発信している運動論を知ることができ、たくさんのかげきを得ることができました。講師をして頂いた日本青年会議所メンバー、委員会メンバー、参加いただいた32LOM のメンバー全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の出向では、たくさん絆ときづきがありましたが、やはり一番のかづきは組織の連携の大切さ重要さ、また組織の力の強さです。特に防災に関してですが、中越大震災を経験した長岡青年会

議所は平時から顔の見えるつながりを大切にしているからこそ、非常時に公設・民営・協働・連携の中で本当に実働可能なものにしています。そして愛知防災ボランティア連絡会では 15 の団体で構成しており、その中での青年会議所の役割、期待感は想像より大きいものでした。この経験を LOM に持ち帰り、行政、他団体の組織との連携や一宮青年会議所という組織内の連携にも生かしたいと思います。

最後になりますが、1 年間の感謝を次年度はお返しのできるよう努めますので、今後とも宜しくお願い致します。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 山岡大介

本年度、愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会に出向させていただきました。まずは、出向の機会を与えていただいた野杵理事長をはじめとする LOM メンバーの皆様に御礼申し上げます。特に、公益法人格の取得という大きな担いに、局長、局次長という二人体制で臨まんとする中、私の出向を快くお許しいただき、また、背中を押していただいた今井財務局長には心より感謝申し上げます。

さて、私は、ブロックアカデミー委員会細川塾に配属され、様々な事業に参加させていただきました。全体事業としては、水野塾主催のビーチバレー大会、金海塾主催の運動会、細川塾主催のオリエンテーリング等に参加させていただき、インドア派の私にとっては、近年になく体を動かした一年となりました。体力的には苦しい一年でしたが、得がたい経験をさせていただきました。

また、細川塾限りの塾事業でしたが、私が配属されたチームの事業として、休耕田を使用しての泥んこアスレチック大会を企画、設営させていただきました。細川塾では、塾長が「与えられる側から与える側へ」というテーマを掲げ、様々な事業に取り組んで参りました。そのような中で、最初、休耕田で、廃タイヤをソリの代わりにして、皆で引いたら面白いのではないかと、という企画を耳にしたときには、正直耳を疑ったところもありました。しかしながら、塾生皆が真剣に、どうしたら参加者を楽しませることができるのかという課題に取り組む姿を見るうち、いつしか自分も引き込まれ、気がつけば、泥まみれになってタイヤを引いておりました。こういった活動を通じて、皆で事業を作り上げていくことの難しさ、楽しさに僅かながらも触れることができたように思います。泥んこアスレチック大会が開催された日は、ちょうど LOM のサマーアドベンチャーの 1 日目と重なり、早朝から知多半島に出向き、事業が終われば泥まみれの状態で車に乗って、知多半島から一宮に戻り、泥を洗い流してそのまま瀬戸へ、そして、一人徒歩でキャンプ場へ、という日程になったことも、今ではいい思い出です。

また、ブロックアカデミー委員会での活動を通じて、得がたい仲間を得ることもできました。特に、同じ西尾張 6JC に所属する、丹羽青年会議所、江南青年会議所、海部津島青年会議所の仲間ができたことは、大変心強く思います。彼らとの間では、現在も LINE などでのやりとりがあり、次年度の活動の愚痴やら、苦労話やらを目にします。そういったやりとりを目にするたび、皆それぞれ頑張っ

ているのだなと思うとともに、私の励みにもなっています。

最後になりましたが、1月の開校式から9月の閉校式まで、私どもを力強くサポートして下さいた野村委員長率いる渉外委員会の皆様に、厚くお礼申し上げます。振り返ってみますと、皆様に支えていただいたおかげで、何とか閉校式を迎えることができたように思います。ありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 今西達也

この度、ブロックアカデミーに出向させて頂きまして、まことにありがとうございます。

私は水野塾に配属となり、せっかく出向させて頂いたので何か役を受けようと思い、チームリーダーに立候補してチームリーダーの役を受けました。

チームリーダーとして、取り組むにあたり一番実感させられたのは、人をまとめる事の難しさでした。最初に一宮でチーム会議を設営した際には、土地柄というか、どうしても他のLOMとは雰囲気も違ってしまい、ちょっとした問題になってしまいLOMの方々にご迷惑をおかけしました。

また、チーム会議を重ねていくうち参加人数が集まらない時もあり、最後までチームメンバー全員が揃うことはありませんでした。

しかしながら、毎回参加してくれるメンバーもいてくれた為、参加すればする程、付き合う時間が長くなれば長くなる程、色々協力して頂き、不甲斐ないチームリーダーの私を支えてくれました。

7月には自分たちのチームが設営して、困難に立ち向かう強い志を養う為に、ラフティングを行いました。当日は色々リハーサル不足により音響の不備や、セレモニー会場の場所変更といったトラブルに遭遇しました。しかしながらチームメンバーの協力があり何とか無事に終える事が出来ました。参加して頂いた塾長、塾幹事、他塾生にも、ほんと良い塾会議だったね、と言われた時には涙が流れるくらい嬉しかったです。

他のチーム会議にもオブザーブで参加する事も増え、気付いたら愛知県内を色々飛び回っていた時期もありました。そのおかげかチーム以外、水野塾以外の塾生とも仲良くなれました。

2月から始まったブロックアカデミーでしたが気付いた時にはもう9月、閉校式を迎えていました。出向期間は7か月と短いかもしれませんが、ブロックアカデミーに出向する事が出来たことをありがたく思います。

愛知ブロック内に数多くの友人もできましたし、今後もJC活動をしていくうえでかけがえのない貴重な体験、経験を積ませて頂きました。1人力では限界がありますが、人数が集まれば何でも出来るそう、そんな気持ちにもなりました。

この度は野杵理事長をはじめとします一宮青年会議所メンバーに気持ち良く出向させて頂いたこ

とを心の底より感謝しつつ、これからの JC 活動において、少しずつ LOM に還元、恩返しが出来ればと思います。

この度はありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 大野陽平

愛知ブロック協議会のブロックアカデミー委員会、委員として出向させていただきました大野陽平です。まずは本年無事に活動を終えることができましたのも、野杵理事長をはじめとする一宮青年会議所の皆様、そして浅田事務局長のおかげです。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ブロックアカデミー委員会はJC歴の浅いメンバーが愛知県32のLOMから集まり勉強する場です。私は本年度LOMでは事務局次長をやらせていただき委員会に所属していなかったため委員会の一員になれることが楽しみで出向させていただきました。塾では様々な学びや気づきがありました。たくさんの会議を重ね色々な意見を出し合い一つのものを作り上げていくという事が本当に楽しくやりがいがあり充実した9か月でした。私のチームでは絆を深めるという事でペイントボールを行いました。7人ぐらいのチームに分かれ作戦を立て役割分担をしてみんなが自分の役割を果たし見事優勝することができました。全体会議では塾リンピックという大運動会を企画しました。これも私たちの塾の団結力の強さから優勝することができ、より一層塾生の絆が深まったと思います。塾では例会の設営や運営の仕方を学ぶことができました。そして何よりLOMにいただけでは感じられなかったことが肌で感じることができ、他LOMの現状や歴史、そして一宮青年会議所を外から見て気づく事がたくさんありました。この経験をこれからは一宮のために生かしていきたいと思います。たった9か月の活動でしたが中身が濃く素晴らしい経験ができ、たくさんの一生の友達が愛知県中にできたことは私の財産になったと思います。これからは一宮に戻り人として地域のリーダーとして魅力のある人間になるために色々と勉強していく所存です。

最後になりますが出向を通じ本当に多くの経験、気づき、学び、そしてその時間を共に過ごした仲間というかけがえのない友情の絆を得る事が出来ました。繰り返しになりますが、出向を最後まで見守り支援下さいましたメンバーの皆様に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 岩田祐治

初めに、ブロックアカデミー委員会に出向をさせていただき、ありがとうございました。短い期間でしたがとても実りのある期間だったと思います。

私自身の活動としては、正直、すべて参加することができず、後悔もしています。今思えばもっと参加したかったと思います。入会間もない青年会議所のメンバーがたくさん集まり、それぞれの LOM の性格や業種、その人の個性など普段接することのない人にも会うことができ、仲良くなれるというのはブロックアカデミーだからだと思います。入会一年目のメンバーにはぜひ参加して、LOM で学ぶこと以外のことを学んでいただきたいと思います。

私自身はこのブロックアカデミーで課題となったのは、出席することもちろんですが「自分の殻を破る」というのが課題でした。やはり最初はあまり積極的に関われずに一歩引いた感じになってしまいました。その時に塾幹事から、「岩田君は殻を破ることが課題だよ」と言われました。それから自分はどのように殻を破るのかを考えながら参加をしていました。場をおちやらけて盛り上げればいいのか、一所懸命真面目にやって全てに参加するようなメンバーになればいいのかなどいろいろと考えました。しかし、どれも違って思えました。その正解を探すために自分が参加できるものは参加するようにしました。塾会議でビーチバレーやラフティングをしたり、運動会をして塾ごとを競わせたり普段の LOM では行わないことを多く体験できたと思います。その中で自分の役割やどのように行動するかなどを自分で考えることができるようになり、一歩引いていた自分が積極的に行動できるようになったのではないかと思います。私は今までは人に後についていく姿勢だったのを、自分で積極的に行うようになるというのが「殻を破る」という課題だったのではないかと思います。もちろんその時々によっては場を盛り上げるような役割も照れずにすることもそこに含まれていたと思います。

振り返ってみますと、参加は少なかったかもしれませんが、本当に学びのある出向をさせていただいたと思います。自分が今後どのように変わるのかは、これからの青年会議所活動によると思いますが、このブロックアカデミーで学んだことは青年会議所活動の基礎として今後も自分の中で生き続きますと思います。ブロックアカデミーで課題となった「殻を破る」ことを、今後も答えを探して自

分なりにもがきながら青年会議所活動の励みにしていきたいと思います。そして学んだことを LOM に還元をしてきたいと思います。最後に改めて、野杢理事長を初めとして LOM の皆様、快く出向をさせていただいた野村委員長にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 広瀬和義

本年度は、愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会に出向させて頂き、誠にありがとうございました。このような機会を与えて頂きました野杵理事長、久保委員長をはじめ、LOM の皆様には大変感謝しております。ありがとうございました。

昨年の秋、久保委員長から出向のお話を頂いた際には、出向する気持ちはほとんどありませんでした。出向した方がいいと思う気持ちはあるものの、仕事とプライベートの両立を考えると、とても出向に前向きな気持ちにはなれませんでした。しかし、出向について、坂倉先輩、久保委員長をはじめ多くの方にブロックアカデミーについて話を聞くうちに、自分にどれだけ出来るかどうかわからないけど、とりあえず出向してみよう。と思うようになり、出向を決意しました。

出向した1年を振り返ると、自塾メンバー、特に自チームであったチームWaku2のメンバーには、広報幹事という役を受けたにもかかわらず出席率が低く、大変迷惑をかけしました。せめて自塾の塾会議にはすべて参加したいと思って出向しましたが、プライベートで結婚という大きな節目を迎えた事、仕事が土日中心だった事もあり、思っていた以上に参加できませんでした。それでも、参加した時には温かく、快く迎えてくれたメンバーにはありがとうと伝えたいです。

ブロックアカデミーの中での思い出は、やはり自チームで設営した7月塾会議とブロック大会前に開催した9月全体会議です。7月塾会議ではサバイバルゲーム、9月全体会議ではブロックアカデミー出向メンバー100%出席を目指し、オールナイトボーリングを行いました。

サバイバルゲームでの思い出は、設営も大変でしたが、それ以上に銃口を向けられた時に、「これが本物の銃だったら・・・。」と恐怖を感じた事を鮮明に覚えています。塾会議の目的とずれているかもしれませんが、サバイバルゲームを通し戦争の怖さを肌で感じられた気がしました。こういう経験が出来るのもブロックアカデミーの良さではないでしょうか。

オールナイトボーリングでは、営業後から翌朝までボーリング場を貸し切って行うという、「JCはこんな事も出来る！！」を、身をもって体験出来ました。未だかつてない100%出席目指した為、たくさんの打ち合わせや準備が必要でした。残念ながら達成は出来ませんでしたが、企画を打ち出した塾リーダーの思い、それに賛同し実行するメンバーの思い、そしてここで経験した事は、今後の

JC 活動に、仕事に、生かしていきたいと思います。

短く濃厚な約 8 カ月でした。ブロックアカデミーの出向を通して、多くの仲間と出会い、ひとつの事をなす事の難しさ、大変さ、相手への思いやりや助け合う気持ちを学び、そして仲間との絆が築けたと思っております。

出向させて頂き本当にありがとうございました。

愛知ブロック協議会

ブロックアカデミー委員会に出向して



委員 倉田健嗣

まず愛知ブロックアカデミーへ出向する機会を与えていただきました野杵理事長はじめ一宮青年会議所の皆様、本当にありがとうございました。

私にとって出向とは一言で表しますと“フィルター”です。

配属された塾はメンバーの大半が三河方面ということもあり、結果的には 4 割程度しか行けませんでした、少なからず行ったなりに学んだのではないかと思います。

まず一番に学んだことと言えば、“行かなければ分からない、行ったからには真剣に”これが私なりに学んだことと言えます。出向者で成り立つブロックはいろんな青年会議所から集まるからこそまとまらず、まとまる為には意見を出し意見を聞き意見を合ったメンバーで一つの事業を上げることが最も重要でした。やらされている感を持って取り組めば何も得られず、振り返ればただ大変な出向となってしまいます。そんな中各青年会議所での文化的な違いや、経験値による見方の違いを感じながら、各場面で意見を出し合いました。ですが 4 割程度の出席では 4 割程度の意見力と存在感しか得られないと気付いたのは 8 月も終わりのころでした。閉校式の設営が所属する塾の担いでしたが、私なりにこうした方が良いのでは、と感じることも受け入れてもらえず少しずつ苛立ちも感じました。

閉校式も迫った 9 月頭にチームで集まったときに、チームリーダーからこんなことを言われました。“倉ちゃん苛立つのは分かるよ。でも俺たちは正しい意見が欲しいのではなくてブロックアカデミーに必死で取り組んだ集大成を上げるための意見が欲しいだけだよ。4 割程度の出席では 4 割程度しか響かないでしょ”

本当に納得しました。正しい意見ではなくて筋の通った意見、その為の取り組んだ姿勢に比例する意見力。

私が何を学んだかは明確には言えませんが、ブロックアカデミーというフィルターを通ったことにより、LOM での取り組み方も少し変化を持てたと自分なりに感じています。

また本年度の愛知ブロック協議会会長の杉田さんが閉校式にて言われた言葉にこんな言葉があり

ました。“面倒くさいことをド真剣に！！”とてもシンプルでとてつもなく重い言葉でした。そもそも青年会議所活動は面倒くさいことが大半とっております。ですが、そんな活動をド真剣に取り組むことにより、本当の自己啓発に繋がるのではないかと考えます。社業や日常でもそれは同じではないかと思います。

入会から予定者期間を含め 4 年と半年しかありませんが、この期間に青年会議所活動、社業、日常とどう過ごすかでそれ以降の人生が大きく変わると思います。

そのことを念頭に置き、次年度以降の青年会議所活動に取り組んでいきます。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



飯盛好晃

2003年の1月に正会員予定者として一宮青年会議所に足を踏み入れてから、12年間お世話になりました。よく続いたものだと思います。12年間は本当に多くを学ばせていただきました。そして多くの方々との出会いに感謝しております。青年会議所にお世話になって、本当に良かったと思います。

文章で伝えられることは少ないと思いますが、今までの経験をいくつか紹介したいと思います。

2005年に日本JC財政特別委員会(現:財政審査会議)に水谷英一郎先輩と出向いたしました。ここで日本青年会議所の議案とは何かを肌で感じる事が出来ました。この時の委員会では最年少で、先日、10年目の同窓会で卒業を祝っていただきました。メンバーに恵まれた初日本JC本会出向でした。

2006年に「とうかい号」に広報記録委員会メンバーとして乗船しました。とうかい号の1週間で1年分以上の出向委員会活動を経験したと感じています。短く濃いJC活動を体感できました。これは乗船しないと分からないことだと思います。少し無理すれば何とかなるぞと思えるのであれば、乗船して損はないと思います。この年は渉外委員会委員長として、初理事を経験しました。2004に事務局次長として理事会、正副理事長会議を体験していましたが、やはり責任ある立場での理事会は違いましたし、委員会を背負うことの意味を一年かけて感じる事が出来ました。

2008年に日本JC公益法陰核取得推進会議に会計幹事として出向しました。この時の経験は、その後の出向に大きく影響がありました。2005の財特委員会経験があったため、会計幹事はやり易い役職だったと思います。この時の議長が前年度会計監査人G代表ということもあり、いろいろと内部事情に長けていたため、会議運営方法の手本を一年間体験させていただいた気持ちでした。

2010年、副理事長兼専務理事を仰せつかった年ですが、はっきり言って、ほとんど覚えていません。次々に来る出来事を何とか捌いていたと思います。正しかったのか、間違っていたのかは分かりませんが、検討している時間が勿体ないという状況で対処していたという記憶です。この一年間で即決判断することの大切さ。ほっておくと勝手に進んでいくことの怖さを経験しました。

2014年の最終年度に日本青年会議所建設部会へ全国部会員大会運営委員会の委員長として
出向しました。建設部会はシニア含めて約1500名のネットワークです。そしてビジネス主体です。
今までビジネスと青年会議所を直結していませんでしたが、業種別部会は完全ビジネスでした。本
会と全く違う世界ですが青年会議所のネットワークがフル活用されています。一度、覗いてくださ
い。違う青年会議所が出てくること間違いなしです。

12年間、多くの場所と多くの人に出会う機会を与えてくれた青年会議所に感謝しています。

一人でも多くの人が、その限りない数の機会を有効にしていきたいと思います。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



今井拓也

3 年間の JC 活動は、JC 会員としては短いものではありませんが、私にとっては充実した 3 年間でした。最初は誰も思うように、なんという団体に入ってしまったんだ、という思いでいっぱいでした。結局は、頭で考えるより行動で覚えるということでしょうか、すっかり慣れてしまい、無事に卒業をすることができました。JC に限らずではありますが、人の縁というものは不思議であり、とても人生において大切なものです。その縁をどう捉えるかによって、その後が大きく変わってくると思います。さて、JC における縁とはなんでしょうか。まず、入会に至るまでの縁があり、そこで知り合った方々との交流があります。ただ、その時点では、単なる機会というにすぎず、縁というまでのものではないのかもしれませんが。そこから何をするか、によって物事が大きく変わるということを学ばせていただきました。では、時間をかければいいのか、というそれだけではないのかもしれませんが。ひとりひとり関わり方は違うでしょうか、しっかりと向き合うということが大事なのだらうと思います。1 年目の最初はなぜここまで時間を取られるか、と思いましたが、辞めるならしっかり見てから辞めてやろうと思い、できる限り、必要と言われる時間を委員長に言われるとおりに費やしました。その結果として、そこで人とのつながりが深まりました。事業の達成もうれしいことですが、個人的にはそちらがうれしいことでした。2 年目は委員として、活動しましたが、委員長によくしていただき、その縁で 3 年目に局長をやらせていただきました。本来は存在しなかったポストであるので、まさにやらせていただいた役職でした。理事職は、会社経営者はもちろん、特に会社形態でない事業者にとっては、多くの時間を費やさなければならない役職のためいろいろとやりくりが大変だと思います。しかし、もし選択権があるなら、つまり誘われたならやってみようよ、というのが結局のところやらせていただいたうえの私の結論です。違う世界を見てみるというのは、非常に経験としては素晴らしいものです。そして、JC における違う世界というのは、他にはない世界であると思います。比較できる団体を思いつきません。

3 年にわたり在籍の間に、いろいろと学ばせていただきましたが、最終年度を経て特に感じるのは、感謝の気持ちです。この 3 年の間に関わったすべての方に感謝いたします。本当にお世話になりました。そして、特に身近な存在である家族に感謝をしています。学んだことをこれからに活か

し、さすが JC 出身だ、と言われるようにこれからも社業に家庭にそのほかの活動に邁進していきたいと思います。ありがとうございました。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



小松明生

卒業例会では、私を卒業生として送っていただきまして、野杵理事長をはじめとする一宮青年会議所のメンバーの皆様には本当に感謝しております。

私は2009年度の下期に入会し、一宮青年会議所には5年間お世話になりました。在籍中は社業のこともあり、例会や事業に出席することがやっとなったように思います。サイン帳に名前を書いて、例会には参加せず会社に戻ったことが何度もありました。名前だけでも書きに行く、そんな行動に意義を見出すことが無意味に思えましたし、なにより例会を担当しているメンバーには、本当に申し訳なかったと思います。

JC活動を振り返るといくつかの出来事が思い浮かびます。辛いことや恥ずかしいことばかり思い出しますが、私にとっては大切な思い出なので紹介させていただきます。

ひとつは、副委員長をさせていただいた時のことです。当時はそのようなつもりは無かったのですが、私は当たり前のように会社を空けてJC活動をしていました。あるとき、信頼する社員から「会社とJCのどちらが大切なのか」と言われたとき、愕然としました。敢えて苦言を言うことは辛いことだと思います。ましてや、親しい間柄であればなおさらではないでしょうか。しかしながら、それは同時に感謝すべきことだと思いました。傍に自分を戒めてくれる人がいるありがたさを実感した瞬間でもありました。

もう一つは、友人とお酒を飲んだ時のことです。彼とは一宮青年会議所で知り合い、2人で飲むのは初めてでした。社業やJCのことを話しているうちに、私は彼の前で涙を流していました。彼に共感したことも一因ですが、結局は思い入れがあったのだと思います。JCに対する思い入れというよりも、どんな対価を払って活動してきたのか、お金や時間或は、誰の何かを犠牲にしてここまで来たのか。そんなことを考えてのことだったと思います。彼自身、大変な状況だったにも係わらず、私の問いに真摯に答えてくれたことは、本当にありがたく忘れられない出来事でした。

最後になりますが、本当にあっという間のJCライフでした。正直、やり過ぎたい日もありましたが、絶望的なことがあっても次の日はやって来ました。多くの金言を知ってはいても、なかなか実感、実行するに至りませんでした。課題を繰り越すように私のJCライフは終わりますが、少しでもこの地域のためにという気概をもってこれからを全うします。

一宮青年会議所でお世話になった皆様には本当に感謝しております。
ありがとうございました。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



樋田昌泰

思い起こせば2003年の12月に入会申込書を提出し、2004年の上期から予定者として参加させて頂きました。右も左も分からないまま、1月の賀詞交換例会では寒空のなか、真清田神社の参集殿の玄関前で先輩方のお出迎えをし、同じ1月に商工会議所で開催された通常総会では上期予定者紹介で自己紹介をしたのを思い出します。そして、無事に入会基準である出席率をクリアし、下期からはアカデミー委員会に配属されました。また、その年の12月には、入会同期のメンバーで卒業生への贈り物として学ランを着て、卒業生へエールを送ったのを思い出します。ちょうど10年後の2014年の12月に、同じ商工会議所で今度は自分が卒業生としてスピーチ送られる側になるとは、とても感慨深いものがありました。入会当初の自己紹介の際には大変広く感じられたホールが、卒業例会のスピーチの際にはあまり広くは感じませんでした。なぜなのかと自問自答してみると、11年間の JC 在籍で慣れたのもあるでしょうが、気心の知れた仲間に送り出してもらえるという安心感があったのだと思います。もし、許されるなら、もう少し一緒に活動したいというのが正直なところです。現役時代は、思いもしなかったことを、卒業を意識し始めてからは感じるようになりました。今までは普通にあって、優先順位が低くなりがちだった委員会、例会、懇親会も卒業後はなくなってしまうので、現役メンバーの皆さんは、仕事、家庭、JC 活動と大変だとは思いますが、40歳までの限られた期間ですので悔いのないように精一杯活動して頂きたいと思います。

改めて11年間の JC 活動を振り返ってみると、本当に色々なことがありました。29歳で入会した青年が40歳になってしまったわけですから。2005年は総務・広報委員会のセクレタリーとして、開催案内の発送、委員会メンバーの出席確認、お弁当の手配、議事録の作成、預託金の管理、そして年末には LOM の決算と一年を通してやるべきことがありました。2006年は事務局・総務委員会の副委員長でしたが、LOM の決算はあったものの、総務委員会という特性なのか、あまり副委員長としての役割を果たすことが出来なかったと反省しております。2007年は青少年こころの創造委員会の委員として、これまでの二年間と違い子供たちと一緒に竹馬を作ったり、美浜でキャンプをするという事業でしたが、キャンプには参加できずとても残念でした。2008年は総務・広報委員会の委員長を務めさせていただきました。委員長としての役割を甘く考えていたため、担当副理事長、

副委員長、セクレタリー、委員会メンバーの皆様には大変ご迷惑をお掛けし反省するとともに、委員長として色々なことを経験させて頂けたことへの感謝の一年でした。2009年は経営開発委員会の委員で、東海地区へ出向したことで、前年の反動で随分楽をしてしまい反省しております。2010年は過去三年の総務委員会の経験者としての実績をかわれてか、総務委員会の副委員長をさせて頂きましたが、この年も LOM の決算ぐらいしか協力できず反省しております。2011年は会員拡大・交流員会の委員として、大邱江北 JC との交流、伊吹山登山、クリスマス家族会の事業があり、徐々に活動に復帰し始めた一年でした。2012年は経営力開発委員会の委員として、勉強会の講師をさせて頂くという貴重な経験をさせて頂きましたし、初顔合わせで委員長と約束をした100%出席を果たすことが出来ました。2013年は渉外委員会の委員として、京都会議、名古屋会議、サマーコンファレンス、全国大会(奈良)の各種事業に参加することが出来ました。また、委員長がしっかりと委員会をまとめ、事業の際には渉外委員会として色々な余興を行い楽しい一年でした。2014年は活気あふれる郷土創造委員会の委員で、主に第3回グルメグランプリがメインの事業でしたが、最初から最後まで大変な委員会で、グルメグランプリ前夜に箸の袋詰めをしたのがとても印象に残っています。

このようにあまり積極的に参加していなかった自分でも、この11年間の記憶は、JC の記憶がない年はないと言っても過言ではありません。仕事と JC との両立が大変で退会したいと思った時、でも自分で決めたからには途中で投げ出すわけにはいきません。また、ある時は、JC より仕事や家庭を優先し一生懸命に活動しているメンバーに申し訳ないと思い、事業が気になって仕方なかった時、今となっては反省です。

とりとめのない内容になってしまいましたが、11年間の JC 在籍中、先輩方、現役メンバーの皆様には大変お世話になりありがとうございました。この場をかりて、改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



野村一磨

私は、2011年度、稲葉委員長の下でアカデミー委員会の委員として、2012年度、服部委員長の下で総務・広報委員会のセクレタリーとして、2013年度、加藤委員長の下で総務・広報委員会の副委員長として、そして、2014年度は渉外委員会委員長としてJC活動を行わせて頂きました。また、2012年度には愛知ブロック協議会ブロックアカデミー委員会へ塾生として、2013年度は、坂倉委員長の下、ブロックアカデミー委員会へ会計幹事として出向させて頂きました。ここでお名前を上げさせて頂いた方以外にも、本当に多くの方にご指導頂き、最終年度までJC活動を全うできたことを心より感謝し御礼申し上げます。

JCに入会して以降、毎年、各役職で多くの学び、気づきがありましたが、とくに最終年度に委員長を経験させて頂き、本当に多くのことを学ばせて頂きました。JCでの人間関係は、利害関係のないフラットな関係ですので、いかにスタッフや委員会メンバーに自分の考えを伝え、実際に行動に移してもらうかという点は非常に難しく、一年間本当に苦労しました。私は、社業においては事務所のトップではありましたが、他人に動いてもらうことは普段から上手くできていなかったのだと思います。このような気づきを得てから現在では少しずつではありますが、社業に活かせるよう努めております。私のJC活動は、約4年間と大変短い期間ではありましたが、振り返れば、大変楽しく、また充実した期間を送らせて頂きました。JCに入会する前の私は、仕事を中心の毎日でした。入会後も仕事を中心であることに代わりはありませんが、気づけばJC活動が仕事と同じくらい重要なもう一つの中核となる存在になっていました。一つ一つのことのどこが楽しいのかははっきりと言えませんが、仕事ではできない様々な経験をさせて頂き、些細なことでも新たな発見が多々ありました。ただやらされるのではなくなぜやっているのかを考えて行動すること、何かを持ち帰ってやろうという姿勢でJC活動に臨むこと等、多くの先輩方にアドバイス頂き、自分なりに実践できたことがよかったのだと思います。JC活動を振り返り、多大な時間と労力を費やしたことについて、現在、一切の後悔の念がないことは自分でも嬉しく思います。卒業を迎え一抹の寂しさはありますが、自分自身としては新たなスタート地点に立ったと感じており、また、一宮青年会議所の今後についても現役会員の皆様のお力を信じておりますので全く不安は感じておりません。現役会員の皆様のご活躍を

ご祈念申し上げ、卒業のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2014 年度 卒業生

JC 活動を振り返って



安井祥人

天然パーマで、花粉症で、おまけにメガネでうまく名古屋弁が話すことができないので、引きこもりがちだった僕が 2007 年を転機によく外出をするようになりました。
そうです。一宮青年会議所に入会をしたのです。

僕がやっぱり思ったのが、ありきたりですがこの団体は学び舎です。無知の無知から始まり、人間力やリーダーとは？など学べ、いろいろなことが経験できます。ある友が言っていたけど、社会の縮図とっていいです。

まずJC入ると時間の管理がうまくなるといわれます。確かに本当にやることが多い。メンツにこだわりすぎるが挙句無駄なくらいに。でもこなさなきゃならない時もある。だから時間の管理をすることになるのだけど、これは自分の管理をすることです。そもそも決めたのは自分だから。

JCイヤイヤ病という治療法は己次第という病にかかったこともあったけど、妻に泣かれ子どもに抱っこもさせてもらえなかった時期もあったけど、でもやっぱりやってよかった。そんなJCだから、やっぱりJCしかないと思をはっている団体であってほしいです。

学び教えあう、どこの団体もそれはできるのかもしれないけど、青年会議所は手段を限定しない団体です。志を忘れなければなんでもできるし、何やってもいい。(機会と少し無理がききそうならあるなら理事は受けてください。)失敗はしないほうがいいけど、当然結果にもこだわる必要はあるけど、一番の失敗はチャレンジをしないことです。能動的に動いてください。情熱で動かせないものはない。この手でなさずして何が志か。ときには創造的破壊も必要かもしれません。そんな気持ちでJCを創り上げてください。

同年代で尊敬に値する友との出会いもあり、それがまた刺激にもなります。人は人のみに感化さ

れ成長する生き物です。そんな奴らと志を同じくして力を合わせ行動し、時には口論となるくらい JC の話をしたり、家族、仕事、たわいのないことの話をしたりするのは、この学び舎の最大の魅力です。

偉そうなこといっても、僕は留年のある学校ならもう一年(以上)やらなきゃいけないくらいです。もっとやりたいけど、もうお腹いっぱいです。

JCに入会してからの 7 年間一番よく言った言葉は、「ありがとう」と「せやな(注:「そうだがや」の意)」です。たまに「やっさんは、心がこもっていない」といわれますが、確かにそんなときもあります。一宮青年会議所のメンバーであったことを誇りに思います。思い出が詰まりすぎています。これからもお付き合いお願いします。そしてこれからのJCのご活躍を楽しみにしています。僕の不在をこらえてくれた職場の人、JC を通じて出会ったすべての人、支えてくれた家族、本当にありがとうございました。

一般社団法人一宮青年会議所役員及び兼任

理事長	野 杵 晃 充
副理事長	加 藤 貴 恭（総務室兼任）
副理事長	尾 上 宜 正（活力あふれるLOM 創造室長兼任）
副理事長	野 田 周 平（社会開発室長兼任）
副理事長	安 井 祥 人（青少年共育室長兼任）
副理事長	服 部 良 太（研修室長兼任）
専務理事	野 田 一 郎
理 事	浅 田 佳 寿 優（事務局長）
理 事	野 田 敏 弘（総務局長）
理 事	今 井 拓 也（財務局長）
理 事	坂 井 田 純 子（広報局長）
理 事	眞 野 尚 人（拡大・交流委員長）
理 事	野 村 一 磨（渉外委員長）
理 事	高 月 英 昭（活気あふれる郷土創造委員長）
理 事	土 川 功 介（生きる力に満ちた青少年共育委員長）
理 事	森 一 彦（経営資質向上委員会）
理 事	久 保 辰 也（アカデミー委員会）
外部監事	小 川 勝 之
外部監事	尾 関 栄 司
監 事	木 村 亮 一
監 事	横 田 公 一

2014 年度公益社団法人日本青年会議所出向メンバー

拡大委員会	会計幹事	森 功一郎
拡大委員会	委員	飯盛 好晃
新・日本風景論創造委員会	委員	木村 亮一
グローバルネットワーク確立委員会	委員	野々垣 聡一郎
災害・復興支援委員会	委員	石川 佳照

2014 年度東海地区協議会出向メンバー

力強いつながり確立委員会	委員	鈴木 強司
力強いつながり確立委員会	委員	樋田 昌泰
力強いつながり確立委員会	委員	小松 明生

2014 年度愛知ブロック協議会出向メンバー

ブロック大会運営委員会	副委員長	小寺 浩至
ブロック大会運営委員会	委員	伊藤 基児
ブロック大会運営委員会	委員	平松 道介
ブロック大会運営委員会	委員	加古川 和也

組織連携推進委員会	副委員長	青山 広己
組織連携推進委員会	会計幹事	加藤 武志
組織連携推進委員会	委員	塚本 浩成
組織連携推進委員会	委員	石川 佳照
組織連携推進委員会	委員	大宮 有貴
ブロックアカデミー委員会	委員	今西 達也
ブロックアカデミー委員会	委員	岩田 祐治
ブロックアカデミー委員会	委員	大野 陽平
ブロックアカデミー委員会	委員	倉田 健嗣
ブロックアカデミー委員会	委員	中窪 一誠
ブロックアカデミー委員会	委員	広瀬 和義
ブロックアカデミー委員会	委員	山岡 大介

賛助会員名簿

いちい信用金庫	理事長	高橋 明夫
尾西信用金庫	理事長	木村 孚男
㈱三菱東京 UFJ 銀行一宮支社	支社長	小林 克成
学校法人一宮女学園	理事長	吉田 収蔵
一宮商工会議所	会 頭	豊島 半七

2014 年度の会員異動

◎上期正会員予定者

青木俊宏、青山直生、伊藤孝根、大森一輝、小川哲矢、
神本義浩、河尻祐志、神林 亮、窪 照明、倉橋和之、
坂野伸悟、丸目礼子、三嶋啓一郎、溝下雄士

◎上期正会員予定者への入会承認者

青木俊宏、青山直生、伊藤孝根、大森一輝、小川哲矢、
神本義浩、河尻祐志、神林 亮、窪 照明、倉橋和之、
坂野伸悟、丸目礼子、三嶋啓一郎

◎下期正会員予定者

秋田雅之、伊藤 匠、上原栄司、小橋一慶、下口貴彦、
白木文章、鈴鹿晋也、曾布川敬至、高村拓也、谷口一尊
出口善英、富永秀男、西岡信幸、野杵洋平、光樂朋尚、
水野高宏、空野広太、森 彩樹、山田崇紘、吉田修平

◎下期正会員予定者への入会承認者

秋田雅之、伊藤 匠、小橋一慶、白木文章、鈴鹿晋也、
西岡信幸、野杵洋平、光樂朋尚、※水野高宏、空野広太、
森 彩樹、山田崇紘、吉田修平 ※〇〇は辞退者

◎2015 年度正会員予定者

浅野大介、杉村泰地、曾我優樹、田中克和、藤岡啓貴、
横山将志

◎退会者

伊藤尚弘、神本義浩、倉橋和之、近藤篤俊、松村奈那子、
吉次和彌

◎休会者

木村友里、馬場和也

◎特別会員

稲葉 崇、梅谷朋志、小川勝之、尾関栄司、川島達司、
木村憲彦、坂倉慶信、玉田秀志、土川正夫、戸松稔貴、
林 輝暢

正副理事長					要出	アテン	欠席	出席率	活気あふれる郷土創造委員会					要出	アテン	欠席	出席率	アカデミー委員会					要出	アテン	欠席	出席率									
44	野村 晃充	37	0	0	100.0%	38	高月 英昭	50	0	0	100.0%	46	久保 辰也	45	0	0	100.0%	26	木村 亮一	33	0	4	89.2%	36	鈴木 強司	28	0	4	87.5%	103	伊藤 孝根	0	0	17	0.0%
66	安井 祥人	50	0	0	100.0%	30	後藤 徹	7	0	25	21.9%	24	福田 晋也	30	0	2	93.8%	70	横田 公一	37	0	0	100.0%	37	鈴木 昌弘	24	0	8	75.0%	104	大森 一輝	15	0	2	88.2%
22	尾上 宜正	51	0	1	98.0%	55	平松 道介	1	0	1	50.0%	28	大島 航	32	0	0	100.0%		AVG				94.6%	39	竹山 聡	20	0	12	62.5%	105	小川 哲矢	1	0	16	5.9%
51	服部 良太	51	0	0	100.0%	58	星山 隼輝	4	0	28	12.5%	55	広瀬 和義	29	0	3	90.6%		専務理事	要出	アテン	欠席	出席率	42	樋田 昌泰	25	0	7	78.1%	106	神本 義浩	0	0	17	0.0%
46	野田 周平	50	0	0	100.0%	5	池戸 英嗣	0	0	32	0.0%	6	加藤 武志	30	0	2	93.8%	45	野田 一郎	37	0	0	100.0%	53	早川 彰	20	0	12	62.5%	107	神林 亮	8	0	9	47.1%
24	加藤 貴恭	50	0	0	100.0%	10	伊藤 尚弘	1	0	31	3.1%	23	塚本 浩成	27	0	5	84.4%		AVG				100.0%	59	松田 樹直	21	0	11	65.6%	108	河尻 祐志	10	0	7	58.8%
	AVG				99.7%	31	小松 明生	22	0	10	68.8%	101	青木 俊宏	5	0	12	29.4%		事務局	要出	アテン	欠席	出席率		AVG				49.1%	109	窪 照明	7	0	10	41.2%
	監 事	要出	アテン	欠席	出席率	32	近藤 篤俊	0	0	32	0.0%	102	青山 直生	11	0	6	64.7%	2	浅田 佳寿優	40	0	0	100.0%		AVG					110	倉橋 和之	6	0	11	35.3%
26	木村 亮一	33	0	4	89.2%	36	鈴木 強司	28	0	4	87.5%	103	伊藤 孝根	0	0	17	0.0%	18	大野 陽平	19	0	3	86.4%	41	土川 功介	50	0	0	100.0%	111	坂野 伸悟	15	0	2	88.2%
70	横田 公一	37	0	0	100.0%	37	鈴木 昌弘	24	0	8	75.0%	104	大森 一輝	15	0	2	88.2%		AVG				93.2%	23	加古川 和也	31	0	1	96.9%	112	丸目 礼子	11	0	6	64.7%
	AVG				94.6%	39	竹山 聡	20	0	12	62.5%	105	小川 哲矢	1	0	16	5.9%		総務局	要出	アテン	欠席	出席率	33	酒井 真一郎	31	0	1	96.9%	113	三嶋 啓一郎	8	0	9	47.1%
	専務理事	要出	アテン	欠席	出席率	42	樋田 昌泰	25	0	7	78.1%	106	神本 義浩	0	0	17	0.0%	47	野田 敏弘	49	0	1	98.0%	28	倉田 健嗣	30	0	2	93.8%		AVG				59.6%
45	野田 一郎	37	0	0	100.0%	53	早川 彰	20	0	12	62.5%	107	神林 亮	8	0	9	47.1%	43	中窪 一誠	13	0	19	40.6%	1	青山 広己	31	0	1	96.9%		下期正会員予定者	要出	アテン	欠席	出席率
	AVG				100.0%	59	松田 樹直	21	0	11	65.6%	108	河尻 祐志	10	0	7	58.8%		AVG					16	岩満 誠	17	0	15	53.1%	201	秋田 雅之				88.9%
	事務局	要出	アテン	欠席	出席率		AVG				49.1%	109	窪 照明	7	0	10	41.2%		財務局	要出	アテン	欠席	出席率	20	大宮 有貴	18	0	14	56.3%	202	伊藤 匠				88.9%
2	浅田 佳寿優	40	0	0	100.0%		生きる力に満ちた青少年共育委員会	要出	アテン	欠席	出席率	110	倉橋 和之	6	0	11	35.3%	13	今井 拓也	50	0	0	100.0%	60	松村 奈那子	21	0	11	65.6%	203	上原 栄司				12.5%
18	大野 陽平	19	0	3	86.4%	41	土川 功介	50	0	0	100.0%	111	坂野 伸悟	15	0	2	88.2%		AVG				93.2%	23	加古川 和也	31	0	1	96.9%	112	丸目 礼子	11	0	6	64.7%
	AVG				93.2%	23	加古川 和也	31	0	1	96.9%	113	三嶋 啓一郎	8	0	9	47.1%		総務局	要出	アテン	欠席	出席率	33	酒井 真一郎	31	0	1	96.9%		AVG				59.6%
	総務局	要出	アテン	欠席	出席率	33	酒井 真一郎	31	0	1	96.9%	113	三嶋 啓一郎	8	0	9	47.1%	47	野田 敏弘	49	0	1	98.0%	28	倉田 健嗣	30	0	2	93.8%		AVG				59.6%
47	野田 敏弘	49	0	1	98.0%	28	倉田 健嗣	30	0	2	93.8%		AVG				59.6%	43	中窪 一誠	13	0	19	40.6%	1	青山 広己	31	0	1	96.9%		下期正会員予定者	要出	アテン	欠席	出席率
	AVG					16	岩満 誠	17	0	15	53.1%	201	秋田 雅之				88.9%		AVG					16	岩満 誠	17	0	15	53.1%	201	秋田 雅之				88.9%
	財務局	要出	アテン	欠席	出席率	20	大宮 有貴	18	0	14	56.3%	202	伊藤 匠				88.9%		財務局	要出	アテン	欠席	出席率	20	大宮 有貴	18	0	14	56.3%	202	伊藤 匠				88.9%
13	今井 拓也	50	0	0	100.0%	60	松村 奈那子	21	0	11	65.6%	203	上原 栄司				12.5%	68	山岡 大介	32	0	0	100.0%	64	森 功一郎	32	0	0	100.0%	204	小橋 一慶				70.0%
	AVG					67	安田 敏宏	16	0	16	50.0%	205	下口 貴彦				40.0%		AVG					67	安田 敏宏	16	0	16	50.0%	205	下口 貴彦				40.0%
	広報局	要出	アテン	欠席	出席率	69	山崎 義則	17	0	15	53.1%	206	白木 文章				75.0%		広報局	要出	アテン	欠席	出席率	69	山崎 義則	17	0	15	53.1%	206	白木 文章				75.0%
34	坂井田純子	50	0	0	100.0%	72	吉次 和彌	1	0	31	3.1%	207	鈴木 晋也				70.0%	34	坂井田純子	50	0	0	100.0%	72	吉次 和彌	1	0	31	3.1%	207	鈴木 晋也				70.0%
	AVG				100.0%	73	吉村 友里	20	0	12	62.5%	208	曾布川 敬至				6.0%		AVG				100.0%	73	吉村 友里	20	0	12	62.5%	208	曾布川 敬至				6.0%
	拡大・交流委員会	要出	アテン	欠席	出席率		AVG				71.4%	209	高村 拓也				56.3%		拡大・交流委員会	要出	アテン	欠席	出席率		AVG				71.4%	209	高村 拓也				56.3%
61	眞野 尚人	51	0	0	100.0%		経営資質向上委員会	要出	アテン	欠席	出席率	210	谷口 一尊				12.5%	61	眞野 尚人	51	0	0	100.0%		経営資質向上委員会	要出	アテン	欠席	出席率	210	谷口 一尊				12.5%
8	石川 佳照	24	0	9	72.7%	63	森 一彦	51	0	1	98.1%	211	出口 善英				6.3%	8	石川 佳照	24	0	9	72.7%	63	森 一彦	51	0	1	98.1%	211	出口 善英				6.3%
54	東 賢吾	25	0	8	75.8%	19	大宮 和広	32	0	1	97.0%	212	富永 秀男				12.5%	54	東 賢吾	25	0	8	75.8%	19	大宮 和広	32	0	1	97.0%	212	富永 秀男				12.5%
49	野村 和弘	31	0	2	93.9%	71	吉田 悟	32	0	1	97.0%	213	西岡 信幸				87.5%	49	野村 和弘	31	0	2	93.9%	71	吉田 悟	32	0	1	97.0%	213	西岡 信幸				87.5%
35	下村 圭司	12	0	21	36.4%	14	今西 達也	31	0	2	93.9%	214	野村 洋平				88.2%	35	下村 圭司	12	0	21	36.4%	14	今西 達也	31	0	2	93.9%	214	野村 洋平				88.2%
48	野々垣 聡一郎	22	0	11	66.7%	3	足立 洋一	18	0	15	54.5%	215	光樂 朋尚				94.7%	48	野々垣 聡一郎	22	0	11	66.7%	3	足立 洋一	18	0	15	54.5%	215	光樂 朋尚				94.7%
	AVG				74.2%	4	飯盛 好晃	29	0	4	87.9%	216	水野 高宏				70.0%		AVG				74.2%	4	飯盛 好晃	29	0	4	87.9%	216	水野 高宏				70.0%
	渉外委員会	要出	アテン	欠席	出席率	6	石井 隆史	1	0	32	3.0%	217	奎野 広太				70.0%		渉外委員会	要出	アテン	欠席	出席率	6	石井 隆史	1	0	32	3.0%	217	奎野 広太				70.0%
50	野村 一磨	50	0	0	100.0%	12	伊藤 基児	18	0	15	54.5%	218	森 彩樹				70.0%	50	野村 一磨	50	0	0	100.0%	12	伊藤 基児	18	0	15	54.5%	218	森 彩樹				70.0%
9	石黒 秀幸	26	0	6	81.3%	21	尾関 利規	31	0	2	93.9%	219	山田 崇紘				83.0%	9	石黒 秀幸	26	0	6	81.3%	21	尾関 利規	31	0	2	93.9%	219	山田 崇紘				83.0%
11	伊藤 大徳	26	0	6	81.3%	52	馬場 和也	10	0	23	30.3%	220	吉田 修平				72.0%	11	伊藤 大徳	26	0	6	81.3%	52	馬場 和也	10	0	23	30.3%	220	吉田 修平				72.0%
15	岩田 祐治	24	0	8	75.0%	62	村井 伸仁	3	0	30	9.1%		AVG				57.7%	15	岩田 祐治	24	0	8	75.0%	62	村井 伸仁	3	0	30	9.1%		AVG				57.7%
7	石川 昌臣	29	0	3	90.6%	65	森 大介	23	0	10	69.7%							7	石川 昌臣	29	0	3	90.6%	65	森 大介	23	0	10	69.7%						
29	小寺 浩至	21	0	11	65.6%		AVG				65.7%							29	小寺 浩至	21	0	11	65.6%		AVG				65.7%						
	AVG				82.3%														AVG				82.3%												

貸借対照表
2014年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,972,288	39,357,064	1,615,224
未収金	182,132	502,046	△ 319,914
前渡金	8,000	7,962	38
流動資産合計	41,162,420	39,867,072	1,295,348
2. 固定資産			
(3) その他固定資産	140,188	262,647	△ 122,459
その他固定資産合計	140,188	262,647	△ 122,459
固定資産合計	140,188	262,647	△ 122,459
資産合計	41,302,608	40,129,719	1,172,889
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
前受金	57,000	162,000	△ 105,000
預り金	9,570	14,360	△ 4,790
流動負債合計	66,570	176,360	△ 109,790
負債合計	66,570	176,360	△ 109,790
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	41,236,038	39,953,359	1,282,679
正味財産合計	41,236,038	39,953,359	1,282,679
負債及び正味財産合計	41,302,608	40,129,719	1,172,889

正味財産増減計算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

(単位:円)

科 目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1	他1			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	0	0	720,000	0	720,000
受取入会金			720,000		720,000
受取会費	0	0	11,599,750	0	11,599,750
正会員受取会費			9,184,102		9,184,102
予定者登録料			1,920,648		1,920,648
賛助会員受取会費			55,000		55,000
特別会員受取会費			440,000		440,000
事業収益	0	0	1,606,690	0	1,606,690
登録料収益			796,690		796,690
協賛金収入			810,000		810,000
受取補助金等	0	0	586,000	0	586,000
受取地方公共団体補助金			586,000		586,000
雑収益	0	0	440,410	0	440,410
受取利息			6,408		6,408
雑収益			434,002		434,002
経常収益計	0	0	14,952,850	0	14,952,850
(2) 経常費用					0
事業費	6,152,738	1,123,959		0	7,276,697
会場設営費	2,247,968	295,695			2,543,663
講師関係費	1,393,337	48,564			1,441,901
印刷製本費	48,019	569,726			617,745
懇親会費	0	0			0
旅費交通費	122,980	0			122,980
広報費	2,033,420	127,140			2,160,560
参加記念品	68,462	38,169			106,631
通信費	0	1,968			1,968
保険料	47,824	12,727			60,551
雑費	190,728	29,970			220,698
管理費			4,865,038	0	4,865,038
会議費			95,300		95,300
地代家賃			1,230,650		1,230,650
光熱水料費			36,000		36,000
給与手当			1,200,000		1,200,000
旅費交通費			0		0
福利厚生費			0		0
通信運搬費			228,799		228,799
消耗品費			72,212		72,212
印刷製本費			204,000		204,000
賃借料			361,532		361,532
減価償却費			122,459		122,459
会計監査手数料			491,100		491,100
国内国際渉外費			96,320		96,320
慶弔費			205,572		205,572
交際費			63,000		63,000
雑費			458,094		458,094
負担金			1,528,436		1,528,436
JCI負担金			97,524		97,524
日本JC負担金			465,462		465,462
国際協力資金			156,950		156,950
東海地区協議会負担金			182,500		182,500
愛知ブロック協議会負担金			534,500		534,500
その他負担金			91,500		91,500
経常費用計	6,152,738	1,123,959	6,393,474	0	13,670,171
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,152,738	△ 1,123,959	8,559,376	0	1,282,679
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,152,738	△ 1,123,959	8,559,376	0	1,282,679
当期一般正味財産増減額	△ 6,152,738	△ 1,123,959	8,559,376	0	1,282,679
一般正味財産期首残高	0	0	39,953,359		39,953,359
一般正味財産期末残高	△ 6,152,738	△ 1,123,959	48,512,735	0	41,236,038
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 6,152,738	△ 1,123,959	48,512,735	0	41,236,038

予算比較正味財産増減計算書
2014年 1月 1日 から2014年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予算	決算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	420,000	720,000	300,000
受取入会金	420,000	720,000	300,000
② 受取会費			0
正会員受取会費	9,381,000	9,184,102	△ 196,898
予定者登録料	1,419,000	1,920,648	501,648
賛助会員受取会費	55,000	55,000	0
特別会員受取会費	520,000	440,000	△ 80,000
受取会費計	11,375,000	11,599,750	224,750
③ 事業収益			0
登録料収益	762,000	796,690	34,690
協賛金収入	800,000	810,000	10,000
事業収益計	1,562,000	1,606,690	44,690
④ 受取補助金等			0
受取地方公共団体補助金	400,000	586,000	186,000
受取補助金等計	400,000	586,000	186,000
⑤ 雑収益			0
受取利息	25,000	6,408	△ 18,592
雑収益	230,000	434,002	204,002
雑収益計	255,000	440,410	185,410
経常収益計	14,012,000	14,952,850	940,850
(2) 経常費用			0
① 事業費			0
会場設営費	2,431,855	2,543,663	111,808
講師関係費	1,298,240	1,441,901	143,661
印刷製本費	1,026,245	617,745	△ 408,500
懇親会費	0	0	0
旅費交通費	2,000	122,980	120,980
広報費	2,218,060	2,160,560	△ 57,500
参加記念品	145,000	106,631	△ 38,369
通信費	96,300	1,968	△ 94,332
保険料	110,000	60,551	△ 49,449
雑費	876,300	220,698	△ 655,602
事業費計	8,204,000	7,276,697	△ 927,303
② 管理費			0
会議費	97,100	95,300	△ 1,800
地代家賃	1,293,000	1,230,650	△ 62,350
光熱水料費	36,000	36,000	0
給与手当	1,200,000	1,200,000	0
旅費交通費	0	0	0
福利厚生費	30,000	0	△ 30,000
通信運搬費	400,000	228,799	△ 171,201
消耗品費	30,000	72,212	42,212
印刷製本費	280,000	204,000	△ 76,000
賃借料	331,215	361,532	30,317
減価償却費	122,459	122,459	0
会計監査手数料	494,100	491,100	△ 3,000
国内国際渉外費	400,000	96,320	△ 303,680
慶弔費	200,000	205,572	5,572
交際費	120,000	63,000	△ 57,000
雑費	400,000	458,094	58,094
管理費計	5,433,874	4,865,038	△ 568,836
③ 負担金			0
JCI負担金	91,350	97,524	6,174
日本JC負担金	471,000	465,462	△ 5,538
国際協力資金	182,500	156,950	△ 25,550
東海地区協議会負担金	562,500	534,500	△ 28,000
愛知ブロック協議会負担金	158,775	182,500	23,725
その他負担金	41,500	91,500	50,000
負担金計	1,507,625	1,528,436	20,811
経常費用計	15,145,499	13,670,171	△ 1,475,328
当期経常増減額	△ 1,133,499	1,282,679	2,416,178
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
雑損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,133,499	1,282,679	2,416,178
一般正味財産期首残高	39,953,359	39,953,359	0
一般正味財産期末残高	38,819,860	41,236,038	2,416,178
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	38,819,860	41,236,038	2,416,178

委員会事業収支決算書

(単位:円)

事業内容		予 算 の 部				決 算 の 部			備 考		科 目											明 細				
		内部予算額	流用余剰金	外部収入予算額	総予算額	内部決算額	外部収入額	総決算額	余剰金額	本会計私費額	会場設置費	講師関係費	資料作成費	報告書作成費	懇親会費	旅費交通費	広報費	参加記念品	通信費	保険料	雑費	合計				
総務局																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	賀詞交歓例会の開催(1月)	350,000			350,000	319,416		319,416	30,584	30,584	101,355		90,861	8,140			119,060					319,416				
事業計画 3	総務の管理運営(1月～12月)	0			0																					
事業計画 4	定款諸規程の理解の促進(1月～12月)	0			0																					
事業計画 5	2013年度年会報及び2014年度LOM基本資料の発行・発送(3月)	142,000			142,000	140,500		140,500	1,500	1,500			140,500									140,500				
事業計画 6	LOMの基盤となる会員情報の整備(6月～12月)	0			0																					
事業計画 7	西尾張6JC合同例会(式典)の開催(9月)	40,000		90,000	130,000	40,000	90,000	130,000	0	0			130,000									130,000				
事業計画 8	2015年度LOM基本資料の作成(9月～12月)	0			0																					
事業計画 9	出席率100%及び優秀会員の表彰(12月)	20,000			20,000	17,980		17,980	2,020	2,020			215					17,765				17,980				
事業計画 10	2014年度年会報の作成(12月)	0			0																					
小 計		552,000	0	90,000	642,000	517,896	90,000	607,896	34,104	34,104	101,355	0	361,576	8,140	0	0	119,060	17,765	0	0	0	607,896				
財務局																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	財務の管理運営(1月～12月)	0			0																					
事業計画 3	公益法人格取得の仕組みづくり(1月～12月)	0			0																					
事業計画 4	公益法人格取得に関する会員の知識と理解の向上(1月～12月)	0			0																					
小 計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
広報局																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	未来につながる広報基盤の構築(1月～12月)	0			0																					
事業計画 3	ホームページ及びFacebookの管理・更新(1月～12月)	105,000			105,000	105,000		105,000	0	0							105,000					105,000				
事業計画 4	JCだよりの発行(9月)	50,000			50,000	50,000		50,000	0	0			50,000									50,000				
小 計		155,000	0	0	155,000	155,000	0	155,000	0	0	0	0	50,000	0	0	0	105,000	0	0	0	0	155,000				
拡大・交流委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	拡大活動の支援(1月～12月)	70,000			70,000	70,000		70,000	0	0			70,000									70,000				
事業計画 3	姉妹JCとの交流(1月～12月)	0			0																					
事業計画 4	例会の開催(3月)	20,000			20,000	17,800		17,800	2,200	2,200	4,800	6,580	6,420									17,800				
事業計画 5	例会の開催(6月)	50,000			50,000	43,845		43,845	6,155	6,155	11,200		8,500							12,727	11,418	43,845				
小 計		140,000	0	0	140,000	131,645	0	131,645	8,355	8,355	16,000	6,580	84,820	0	0	0	0	0	0	12,727	11,418	131,645				
渉外委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	第41回JC青年の船「とうかい号」乗船者募集(1月～3月)	3,000			3,000	0		0	3,000	3,000												0				
事業計画 3	各種大会・事業・会議への案内及び参加の促進(1月～12月)	4,000			4,000	3,780		3,780	220	220			280								3,500	3,780				
事業計画 4	出向者の支援(1月～12月)	0			0																					
事業計画 5	例会の開催(2月)	50,000			50,000	39,170		39,170	10,830	10,830	32,210		980					5,980				39,170				
事業計画 6	第41回JC青年の船「とうかい号」乗船者支援(4月～8月)	35,000			35,000	23,024		23,024	11,976	11,976						8,080				14,944		23,024				
事業計画 7	例会の開催(11月)	60,000			60,000	57,126		57,126	2,874	2,874	20,610		29,940					4,500	1,968		108	57,126				
小 計		152,000	0	0	152,000	123,100	0	123,100	28,900	28,900	52,820	0	31,200	0	0	0	8,080	10,480	1,968	0	18,552	123,100				
活気あふれる郷土創造委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	一宮郷土グルメグランプリの調査研究(4月～12月)	0			0																					
事業計画 3	一宮郷土グルメグランプリの開催(6月～10月)	1,750,000		1,200,000	2,950,000	1,406,442	1,396,000	2,802,442	343,558	343,558	881,972	125,737	18,943				1,561,680	24,462			189,648	2,802,442				
事業計画 4	例会の開催(7月)	700,000			700,000	637,416		637,416	62,584	62,584	162,090	345,600	1,386				128,340					637,416				
小 計		2,450,000	0	1,200,000	3,650,000	2,043,858	1,396,000	3,439,858	406,142	406,142	1,044,062	471,337	20,329	0	0	0	1,690,020	24,462	0	0	189,648	3,439,858				
生きる力に満ちた青少年共育委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																					
事業計画 2	生きる力に満ちた青少年の共育	1,080,000		160,000	1,240,000	966,594	160,000	1,126,594	113,406	113,406	742,800	20,000	20,590			122,980	128,400	44,000		47,824		1,126,594				
小 計		1,080,000	0	160,000	1,240,000	966,594	160,000	1,126,594	113,406	113,406	742,800	20,000	20,590	0	0	122,980	128,400	44,000	0	47,824	0	1,126,594				
経営資質向上委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																	0				
事業計画 2	未知の可能性を切り開くチャレンジスピリットの養成(4月～8月)	750,000			750,000	742,096		742,096	7,904	7,904	186,856	470,000	4,700				80,000				540	742,096				
事業計画 3	西尾張6JC合同例会の開催(9月)	215,500		512,000	727,500	187,190	512,000	699,190	28,310	28,310	234,250	432,000	2,400				30,000				540	699,190				
小 計		965,500	0	512,000	1,477,500	929,286	512,000	1,441,286	36,214	36,214	421,106	902,000	7,100	0	0	0	110,000	0	0	0	1,080	1,441,286				
アカデミー委員会																										
事業計画 1	会員の拡大(1月～12月)	0			0																	0				
事業計画 2	上期オリエンテーションの開催(1月～8月)	35,000			35,000	30,370		30,370	4,630	4,630	16,500	3,240	10,630									30,370				
事業計画 3	例会の開催(5月)	38,000			38,000	36,282		36,282	1,718	1,718	11,200	23,732	1,350									36,282				
事業計画 4	西尾張6JC合同オリエンテーションの開催(7月)	0			0																					
事業計画 5	下期オリエンテーションの開催(7月～12月)	45,000			45,000	39,612		39,612	5,388	5,388	14,000	15,012	10,600									39,612				
事業計画 6	卒業例会の開催(12月)	132,000			132,000	105,054		105,054	26,946	26,946	83,820		11,310					9,924				105,054				
小 計		250,000	0	0	250,000	211,318	0	211,318	38,682	38,682	125,520	41,984	33,890	0	0	0	0	9,924	0	0	0	211,318				
合 計		5,744,500	0	1,962,000	7,706,500	5,078,697	2,158,000	7,236,697	665,803	665,803	2,503,663	1,4,														

余剰金計算書(案)

自2014年1月1日 至2014年12月31日

本年度余剰金	41,236,038円
上記金額を下記の如く処分する。	
次年度繰越金	41,236,038円

固定資産台帳

2014年12月31日現在

管理 番号	備品名	数量	取得日	取得価額	耐用 年数	期末帳簿 価額	減価償却 累計額
1	エアコン	1	2011/12/1	630,000	6	112,209	517,791
2	パソコン	1	2012/9/6	134,295	4	27,979	106,316
	合計			764,295		140,188	624,107

備品リスト

2014年12月31日現在

管理 番号	備品名	数量
44	電話加入権	1台
49	会議用テーブル(大理石)	1個
68	スチール製書庫	1組
85	ファクシミリ用電話回線	1式
86	特別会員用ネームプレート	1組
98	交通安全宣言及び宣言文ボード	1式
106	プレジデンシャルリース	1個
111	ファイルユニット	1台
113	理事長椅子	1脚
114	コンピューター	1式
117	無線機	1式
123	ファックス	1台
125	例会用看板	1個
129	エアコン	1式
133	テグカング横断幕、日の丸・韓国旗	1式
144	シュレッダー	1台
138	テント	1式
139	プレジデンシャルリース(JCI)	1個
140	AED	1個
141	バランスマン	1個
142	理事長バッヂ1・監事バッヂ3・副理 事長バッヂ5・専務バッヂ1・理事長 経験者バッヂ・理事バッヂ7	1式
143	例会用看板	1個
144	スクリーン	1個
145	国旗用ポール・スタンドセット	1式
146	会計ソフト(弥生会計13)	1式
147	例会用看板	1個
148	オリエンテーション看板	1個
149	掃除機	1個
150	テプラ	1個
151	ポット	1個

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1)「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁 連絡会議申し合わせ)を採用している。

(2)消費税の会計処理等

税込処理を採用している。

(3)固定資産の減価償却の方法

工具器具備品の減価償却は、定率法を採用している。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	764,295	624,107	140,188
合計	764,295	624,107	140,188

財産目録
2014年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産		0	
現金		329,120	
預金			
三菱東京UFJ銀行一宮支店 普通預金	2,999,313		
三菱東京UFJ銀行一宮支店 普通預金	3,000,000		
いちい信用金庫一宮支店 普通預金	3,052,731		
尾西信用金庫本店営業部 普通預金	1,967,017		
三菱東京UFJ銀行一宮支店 定期預金	9,000,000		
いちい信用金庫一宮支店 定期預金	10,000,000		
尾西信用金庫本店営業部 定期預金	10,000,000	40,019,061	
前渡金			
京都会議事前登録料		8,000	
未収入金			
総務局 事業計画3	2,020		
渉外委員会 事業計画3	220		
活気あふれる郷土創造委員会 事業計画3	147,558		
アカデミー委員会 事業計画5	5,388		
アカデミー委員会 事業計画6	26,946	182,132	
流動資産合計			40,538,313
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0		
(2) 特定資産			
尾西信用金庫本店営業部 普通預金	624,107		
特定資産合計		624,107	
(3) その他固定資産			
エアコン	112,209		
パソコン	27,979		
その他固定資産合計		140,188	
固定資産合計			764,295
資産合計			41,302,608
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金			
LOM基本資料 丹羽喜代次様	3,000		
LOM基本資料 早川一三様	3,000		
LOM基本資料 土田直樹様	3,000		
LOM基本資料 二ノ宮道彦様	3,000		
LOM基本資料 柴田達也様	3,000		
LOM基本資料 桑原英寿様	3,000		
LOM基本資料 浅井宏昌様	3,000		
LOM基本資料 山口雅志様	3,000		
LOM基本資料 森幹昇様	3,000		
2015年度年会費 早川彰	30,000	57,000	
預り金		9,570	
流動負債合計			66,570
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			66,570
III 正味財産			41,236,038

収支計算書

2014年 1月 1日 から2014年 12月 31日 まで

(単位：円)

科 目	決 算 額
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
①入会金収入	
入会金収入	720,000
②会費収入	
正会員会費収入	9,184,102
予定者登録料	1,920,648
特別会員会費収入	440,000
賛助会員会費収入	55,000
会費収入計	11,599,750
③事業収入	
登録料収入	796,690
協賛金収入	810,000
事業収入計	1,606,690
④補助金収入	
補助金収入計	586,000
事業収入計	586,000
⑤雑収入	
受取利息収入	6,408
雑収入	434,002
雑収入計	440,410
事業活動収入合計	14,952,850
2. 事業活動支出	
①事業費支出	
総務局	607,896
広報局	155,000
拡大・交流委員会	131,645
渉外委員会	123,100
活気あふれる郷土創造委員会	3,439,858
生きる力に満ちた青少年共育委員会	1,126,594
経営資質向上委員会	1,441,286
アカデミー委員会	211,318
公開討論会	40,000
事業費支出計	7,276,697
②管理費支出	
会議費支出	95,300
地代家賃支出	1,230,650
光熱水料費支出	36,000
給料手当支出	1,200,000
旅費交通費支出	0
福利厚生費支出	0
通信運搬費支出	228,799
消耗品費支出	72,212
印刷製本費支出	204,000
賃借料支出	361,532
会計監査手数料	491,100
国内国際渉外費	96,320
慶弔費	205,572
交際費支出	63,000
負担金支出	1,528,436
雑支出	458,094
管理費支出計	6,271,015
事業活動支出合計	13,547,712
事業活動収支差額	1,405,138
II 事業活動外支出	0
III 固定資産取得支出	
1. 投資活動収入	0
投資活動収入合計	0
2. 投資活動支出	
①特定資産取得支出	
減価償却引当資産取得支出	122,459
投資活動支出計	122,459
当期収支差額	1,282,679

前期繰越収支差額	39,953,359
次期繰越収支差額	41,236,038

2014年度財務諸表等適法性確認報告書

一般社団法人 一宮青年会議所

2014年理事長 野杵 晃充殿

作成年月日 2015年1月5日

名古屋市熱田区大宝三丁目9番10号

税理士法人 さくら

社員税理士 陣田裕司



当税理士法人は、一般社団法人一宮青年会議所の2014年1月1日から2014年12月31日に係る貸借対照表及び収支計算書並びにその付属明細書並びに財産目録、併せて、正味財産増減計算書について通常必要とされる財務諸表の適法性確認手続きを実施し、また当税理士法人が必要と認めたその他の確認手続きを実施しました。

この財務諸表等は依頼者が自ら起票した伝票に基づき、コンピュータ処理により作成した、仕訳帳、総勘定元帳、試算表、固定資産台帳等に基づき作成されております。

日々の取引に関する記録や領収書等はコンピュータ処理により整然と処理され、摘要も詳細に記載されており、疑義を挟む余地のない水準で処理されております。

記帳は事実に基づいて真実性、適時性、網羅性の要件を満たしたものであり適法に処理されていると認めます。

2015 年 1 月 6 日

公益社団法人一宮青年会議所

理事長 野田 一郎 殿

公益社団法人一宮青年会議所

監事 木村 亮一 

監事 横田 公一 

監事 服部 良太 

監査報告書

私たち監事は、2014 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日までの事業年度の事業報告書並びに貸借対照表、損益計算書(正味財産増減計算書のことをいい、正味財産増減計算書内訳表を含む。)、その附属明細書及び財産目録(以下、「財務諸表」という。)に関する監査をいたしました。また、併せて公益目的支出計画実施報告書に関する監査をいたしました。

監査意見

(1) 事業報告の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

(2) 財務諸表の監査結果

財務諸表は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。